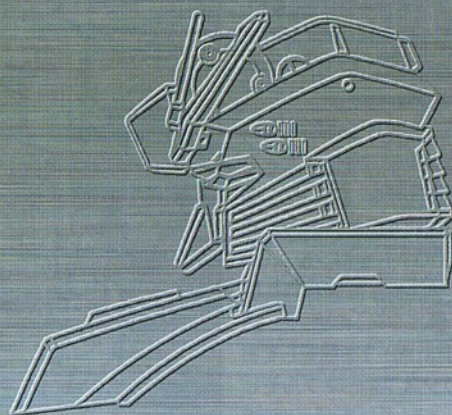




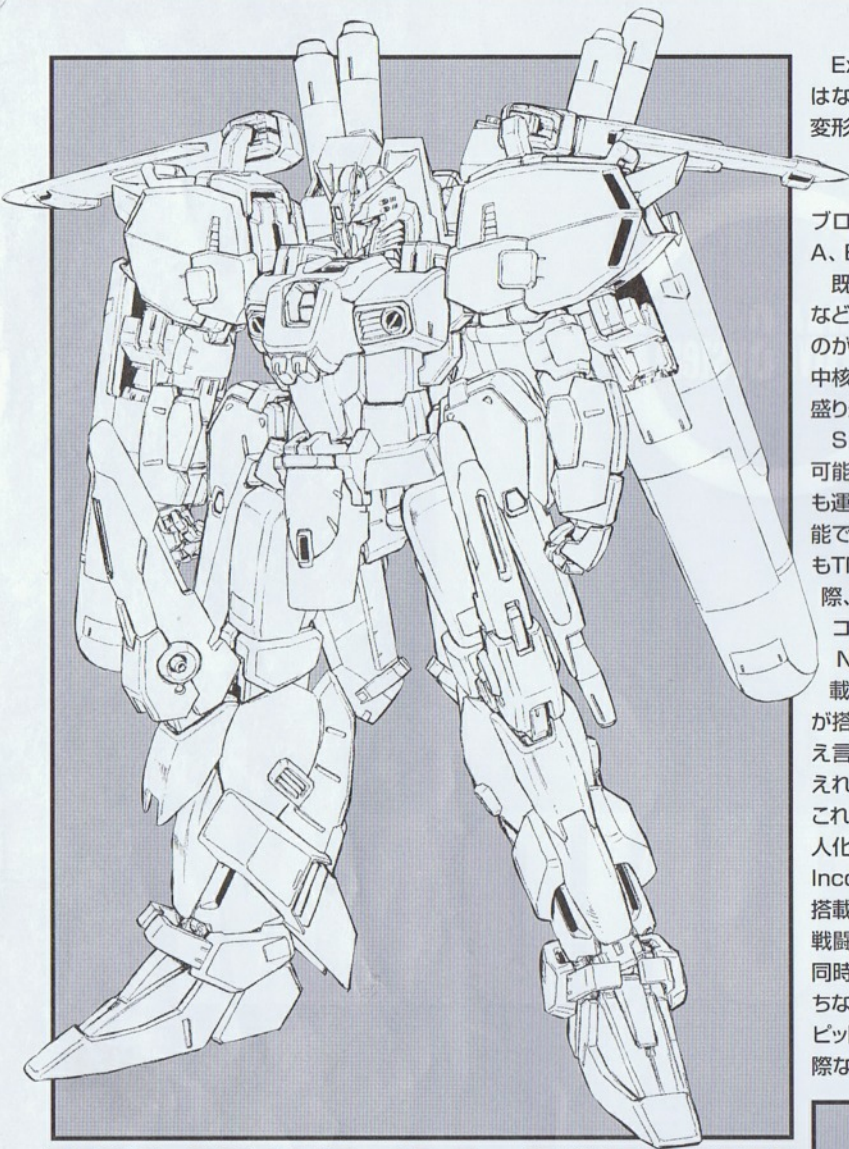
MOBILE SUIT
MSA-0011(Ext)

EX-S GUNDAM

E.F.S.F. PROTOTYPE
TRANSFORMABLE MOBILE SUIT



地球連邦軍(α任務部隊)
可変型試作モビルスーツ重装仕様
MSA-0011(Ext)「Ex-Sガンダム」
1/100スケール
マスターグレードモデル



MSA-0011[Ext] Ex-S GUNDAM

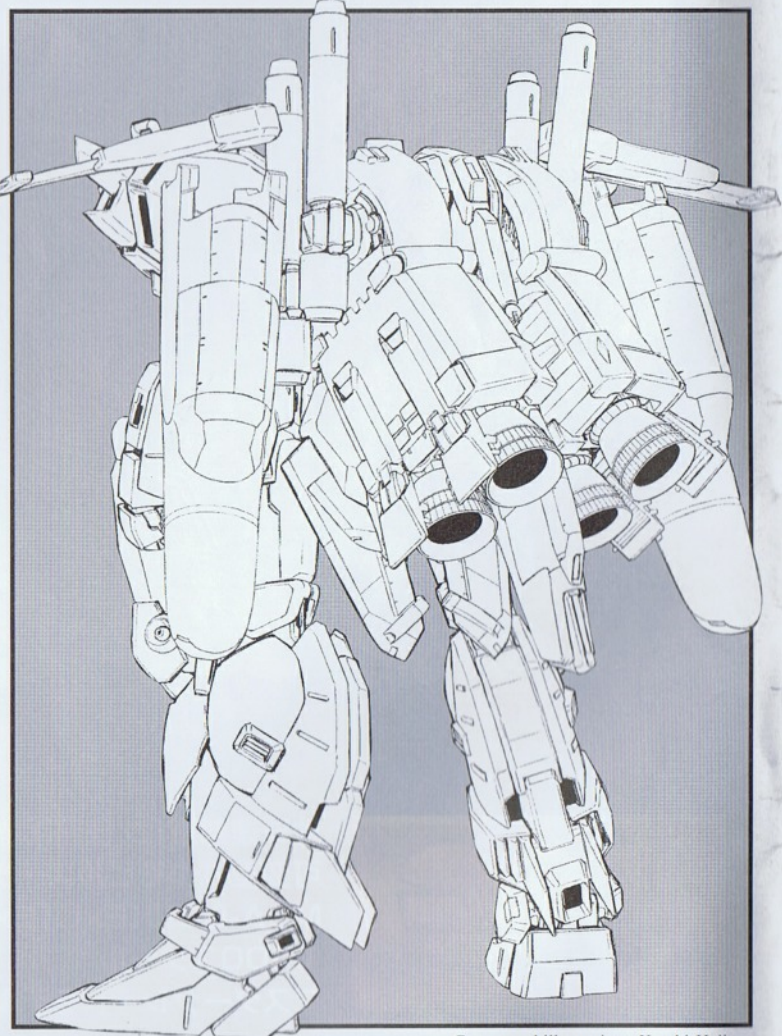
U.C.0087年11月16日、クワトロ・バジーナことシャア・アズナブルによる《ダカール宣言》を経て、連邦軍はエゥーゴ主導のもと再編されつつあった。翌0088年1月25日のティターンズ総帥ジャミトフ・ハイマンの死亡を受け、同月28日、小惑星ベズンを拠点とする教導団の一部青年将校がエゥーゴ主導による連邦軍への恭順を拒否。ND(ニューディサイズ)の名で徹底抗戦を表明した。連邦軍は対抗措置として急速“α任務部隊”を編成。サラミス改級4隻とアーガム級2番艦“ベガサスⅢ”を旗艦とする艦隊を派遣した。MSA-0011 Sガンダム(通称:スベリオル・ガンダム)は、他の試作MSと共にこのベガサスⅢに配備された機体である。この時期、エゥーゴはAE(アナハイム・エレクトロニクス)の協力で《Zプロジェクト(ティターンズに対抗するための高性能MS開発計画)》を展開しており、ノンオプションで大気圏への再突入が可能なTMS(トランスフォーマブルモビルスーツ)MSZ-006 Z(ゼータ)ガンダムやMSZ-010 ZZ(ダブルゼータ)ガンダムなどを開発、実戦投入していた。

Sガンダムもまた《Zプロジェクト》による機体のひとつとして“i(イオタ)ガンダム”のコードネームで開発されていた試作MSである。コア・ブロック・システムの採用や機体が3機に分離して運用できる点など、基本的なコンセプトはZZガンダムと似ているが、機体設計はもとより追加兵装やオプション装備などが高度にシステム化されており、MS単体として以上に、コア・ブロックやMS本体を核とした壮大な兵器体系として設計、構築されている。最大の特徴は、AパーツのGアタッカー、BパーツのGボマー、CパーツのGコアそれぞれのユニットにパイロットが搭乗したままMSへの合体が可能なこと、MS形態時には全てのコクピットがコア・ブロックに集約され、緊急時には3人のパイロットを安全圏へと脱出させることが可能である。これらすべてのユニットが結合した状態で巡航形態のGクルーザーモードへの変形も可能で、その場合には8つの装備の追加、交換が前提とされ、その状態をEx-S(イクスエス)モード、MS形態をEx-Sガンダムと呼ぶ(ちなみに[Ext]はExtraordinary=異常な、驚くべき、などの意)。

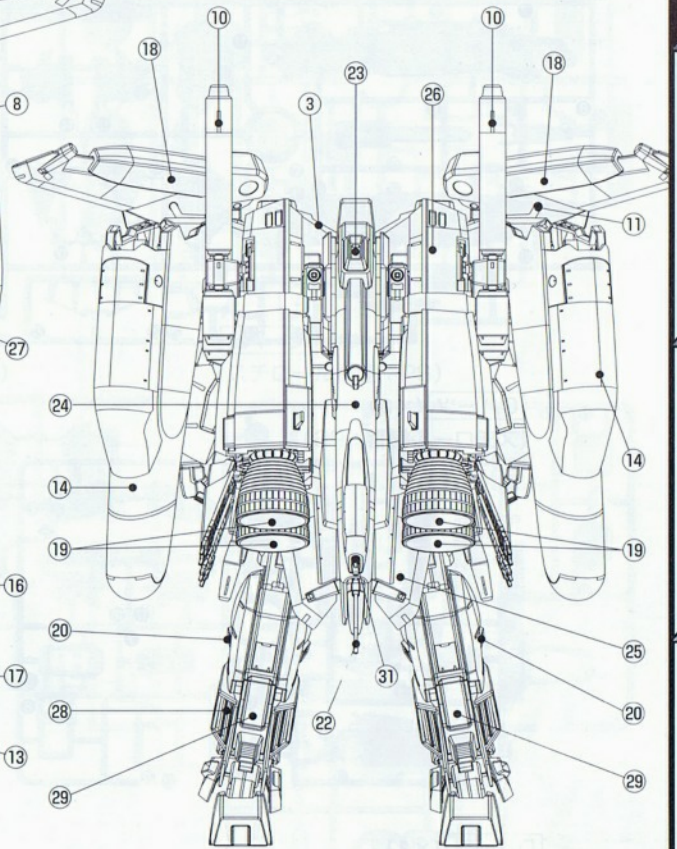
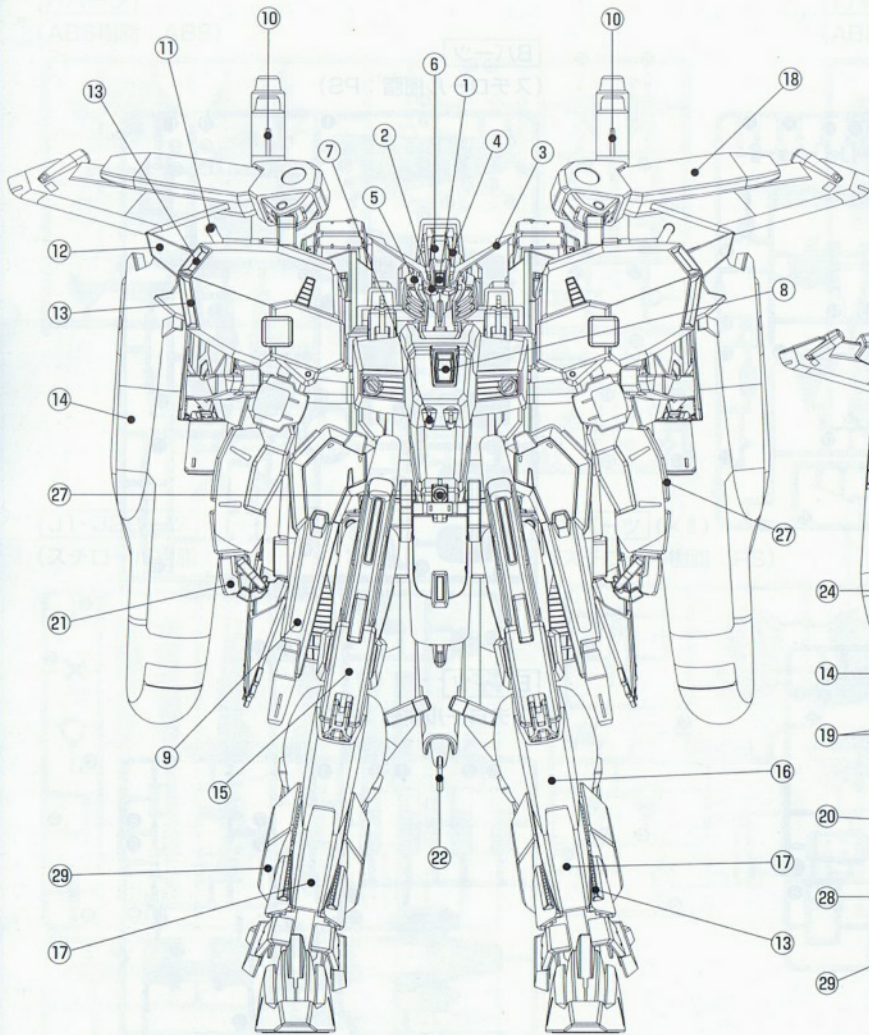
Ex-Sガンダムは、単体としてのSガンダムをそのまま“強化”しただけの機体ではなく、全く異なる機体だといっても過言ではない。それがもっとも顕著なのが変形機構で、SガンダムにExtパーツを取り付けると、変形のための可動・脱着機構が根本的に変更、改変される。つまり“Sガンダム”は、そのままの状態ですべてクルーザーモードに変形することはできず、逆に“Ex-Sガンダム”が3つのブロックに分離・変形することは(不可能ではないが)想定されていない。無論、A、BパーツやExtパーツを“排除”しての分離・変形や“脱出”は可能である。

既存の、いわゆる“MS強化案”において、装甲・装備の換装や変形機構のオミットなどで“用途”を変更した機体はいくつか存在するが、素体となる機体の仕様そのものが変更された例はほとんど存在しない。ところが、Sガンダム(あるいはGコアを中核とする兵器システム)は、この“仕様変更”そのものが機体開発当初から設計に盛り込まれていたのである。

Sガンダムは、Extパーツを取り付けるだけで即座にEx-Sガンダムとしての運用が可能となる。さらに、居住性さえ考えなければ、超長距離侵攻用の航空戦闘艇としても運用でき、スペック的には月面降下・離脱および地表面からの大気圏脱出さえも可能であると言われている。Ex-S形態は、Sガンダムが持つ兵装バリエーションの内でもTMSとして最強のモードであると言われ、近接戦闘においても威力を発揮する。実際、この機体は多種多様な武装に加え、頭部のインコムや両脚のリフレクターインコムといった準サイコミュデバイスを複数使用した際の独特の挙動など、いわゆるNT(ニュータイプ)専用機に匹敵する戦闘能力を持っている。それらを管制する搭載コンピューターの優秀さと相まって、例えば、戦闘経験のほとんど無いパイロットが搭乗した場合でも、百戦錬磨のベテランパイロットと互角に戦うことが可能だとも言われている。本来、この機体の運用には3人のパイロットが必要であることを考えれば、このコンピューターシステムがいかに優秀であるかが判るというものだろう。これらの複雑な兵装システムや追加デバイスを管制するため、SガンダムはMSの無人化を最終目標とするオペレーティングシステム“ALICE(Advanced Logistic&Inconsequence Cognizing Equipment=発展型論理・非論理認識装置)”を搭載しており、戦闘時の高度な状況判断能力や搭乗者へのアドバイス、あるいは自動戦闘や自律行動すら可能であると言われている。投入可能範囲の広大さと合わせ、同時期における“最強のMS”との評価も、あながち根拠のないものではないだろう。ちなみに、ALICEのシステムは単体のユニットではなく、機体の各所に分散し、コクピット以外にも配置されていた。そのため、3機への分離やコア・ブロックでの脱出の際など、やむを得ず「封印(接続遮断)」されていたようだ。



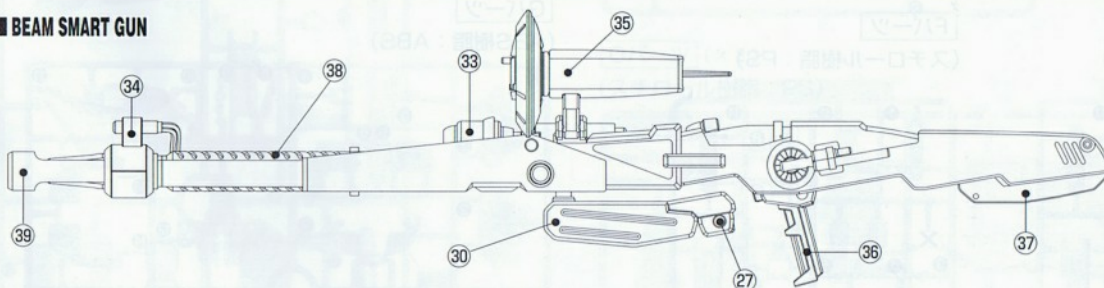
Conceptual illustration : Katoki-Hajime



- | | | | | |
|-----------------|---------------------------|--------------|---------------------|-------------|
| ①メインカメラ | ⑨腰部ビーム・キャノン | ⑬カウリング | ⑮リアアーマー/ウイングユニット | ⑲センサーユニット |
| ②デュアルカメラ | ⑩大口徑ビーム・キャノン | ⑭ウイングユニット | ⑯ブースターパック | ⑳サブセンサー |
| ③ブレードアンテナ | ⑪ホイスト・フック | ⑰メインスラスタノズル | ⑱マウントラッチ | ㉑ディスクレドーム |
| ④ロッドアンテナ | ⑫ラジエーター | ⑲ベンチレイトダクト | ㉒ダクトデッドフィン | ㉓メイングリップ |
| ⑤60mmバルカン | ⑬ダクト/スラスタ | ㉑マニピュレーター | ㉒プロペラント/ブースターユニット | ㉓エネルギーバック |
| ⑥インコムユニット | ⑭プロペラントユニット | ㉒ファイアリングセンサー | ㉓エネルギーサプライ/サポートユニット | ㉔バレル |
| ⑦シーカー | ⑮リフレクター・インコムユニット/サーベルホルダー | ㉑リアセンサー/モニター | ㉒レーザーセンサー | ㉓メガ粒子偏向ユニット |
| ⑧Iフィールド・ジェネレーター | ⑯ニーフレームカバーアーマー | ㉒テールスタビレーター | ㉓STOL/アイドリングインターク | ㉔ビーム・サーベル |

注) MSA-0011 [Ext] Ex-S (イクセス) ガンダムは、ND (ニューディサイズ) 討伐のため編成されたα任務部隊に配備された試作MSである。パイロットはリョウ・ルーツ少尉。Sガンダムのシステムは、Ex-Sモードで運用した場合、重力下においても優れた降下および上昇性能、航続距離を持つため、主に月面のエアーズ市を巡る攻防において多用された。

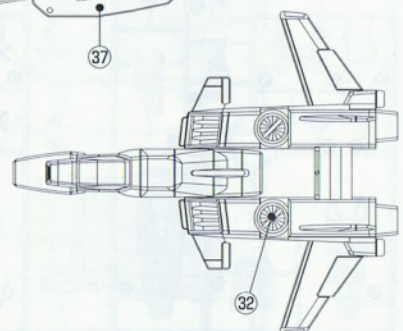
■ BEAM SMART GUN



■ BEAM SABER



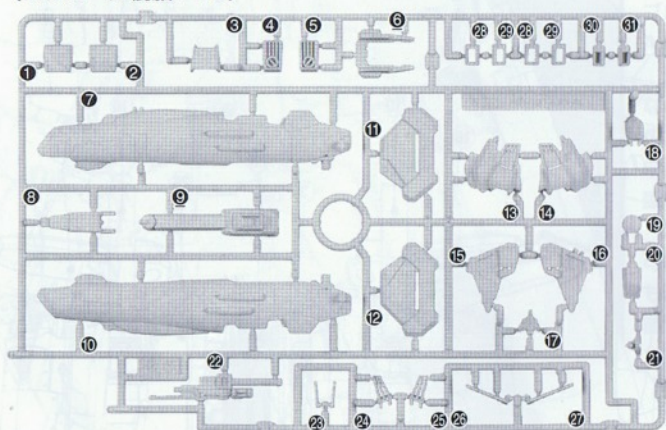
■ G-CORE



パーツリスト

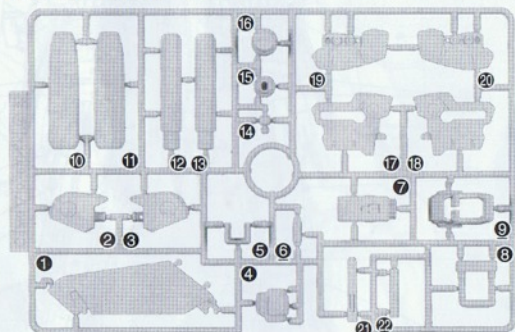
Aパーツ

(スチロール樹脂: PS)



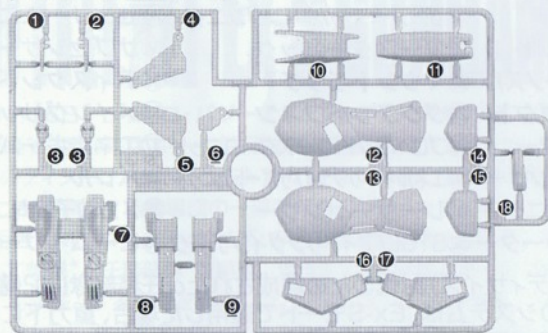
Cパーツ (×2)

(スチロール樹脂: PS)



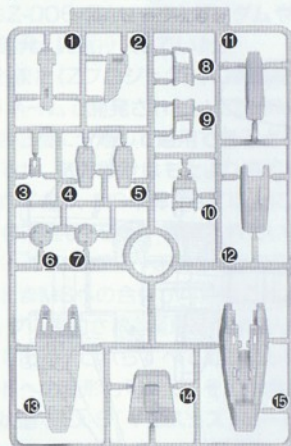
Dパーツ (×2)

(スチロール樹脂: PS)



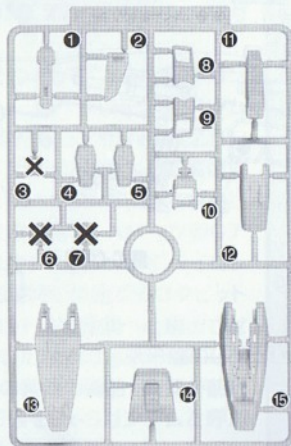
Fパーツ

(スチロール樹脂: PS)



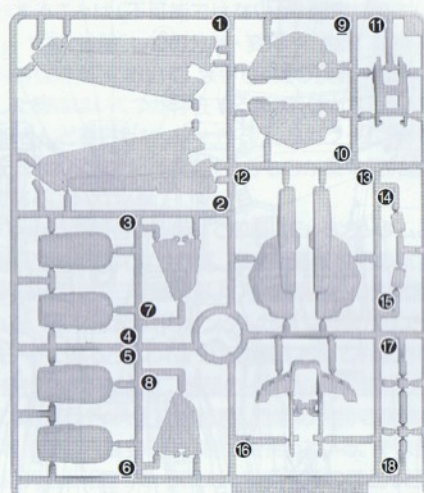
Fパーツ

(スチロール樹脂: PS)



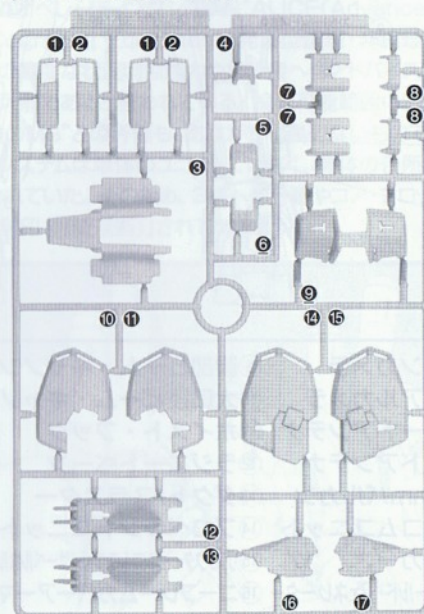
Bパーツ

(スチロール樹脂: PS)



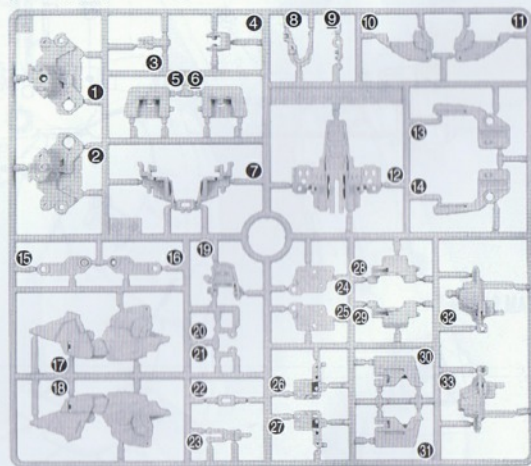
Eパーツ

(スチロール樹脂: PS)



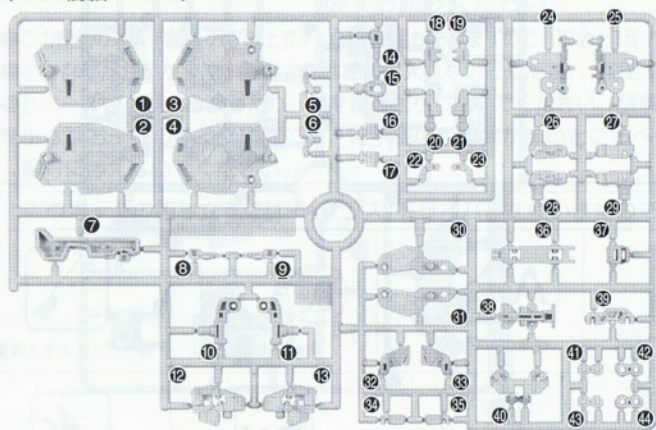
Gパーツ

(ABS樹脂: ABS)



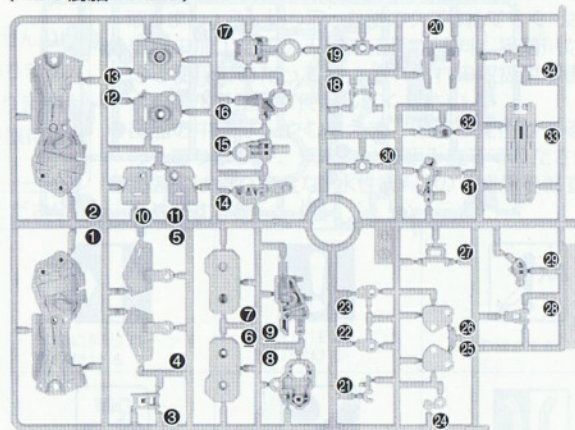
Hパーツ

(ABS樹脂 : ABS)



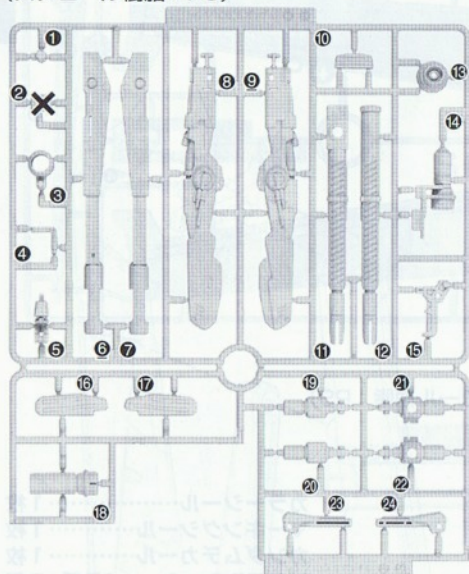
Iパーツ (× 2)

(ABS樹脂 : ABS)



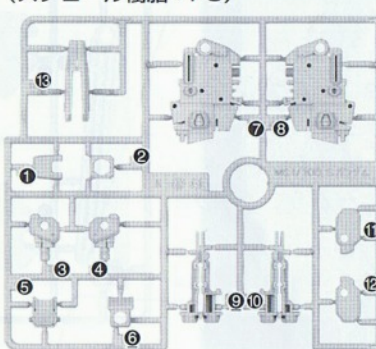
J1・J2パーツ

(スチロール樹脂 : PS)



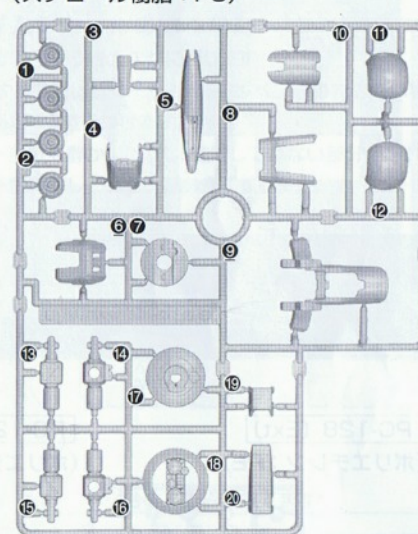
Kパーツ (× 2)

(スチロール樹脂 : PS)



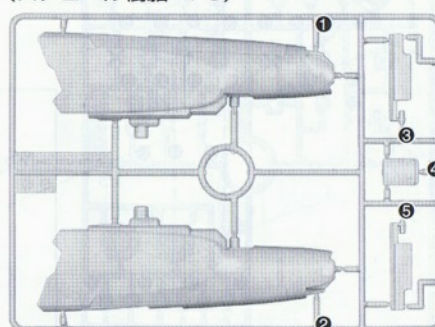
Lパーツ

(スチロール樹脂 : PS)



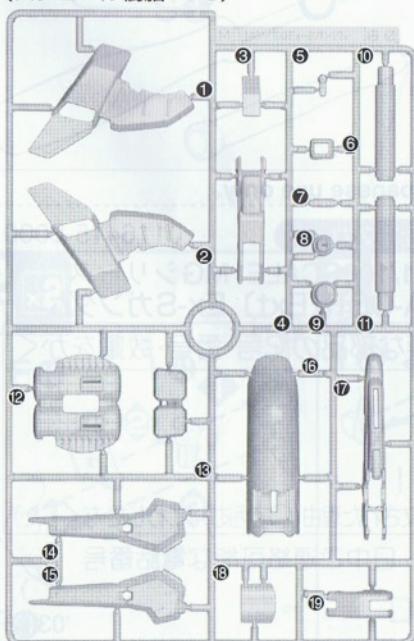
Nパーツ (× 2)

(スチロール樹脂 : PS)



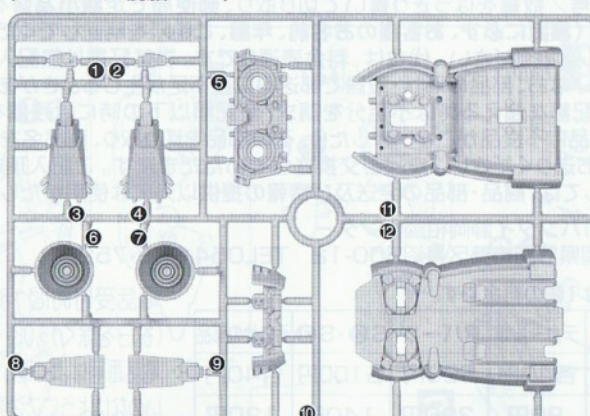
Mパーツ (× 2)

(スチロール樹脂 : PS)

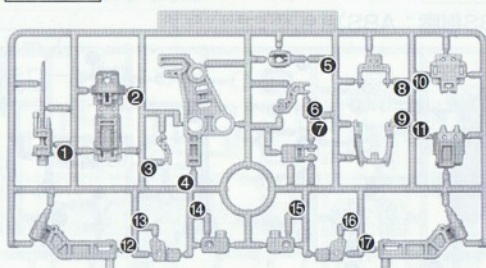


Oパーツ (× 2)

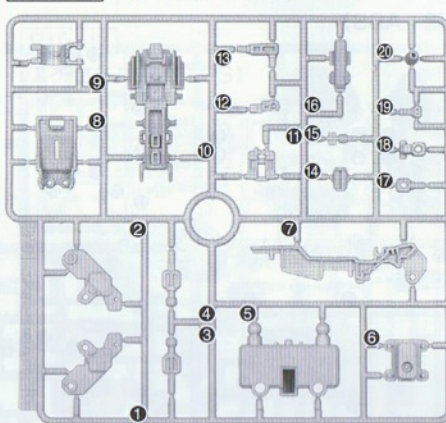
(スチロール樹脂 : PS)



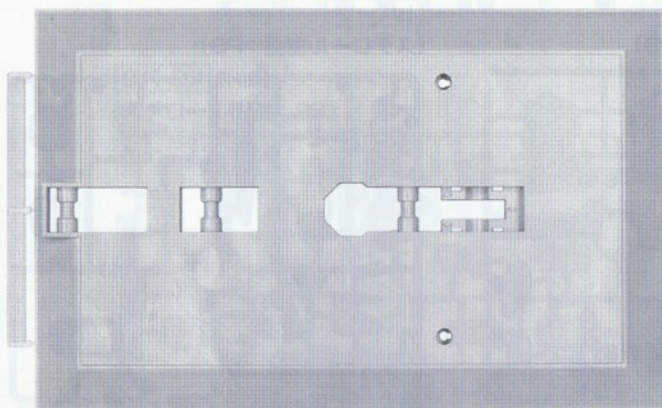
Pパーツ (ABS樹脂: ABS)



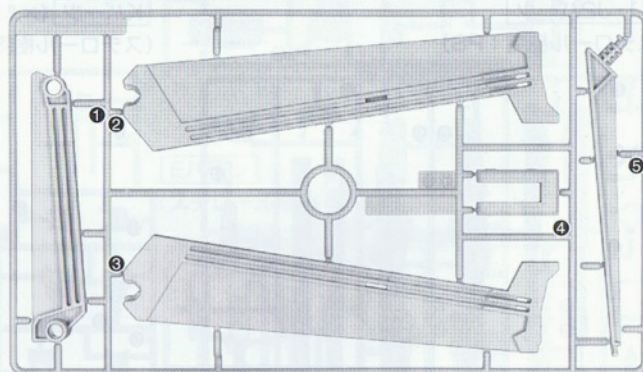
Qパーツ (ABS樹脂: ABS) (× 2)



Rパーツ (ABS樹脂: ABS)

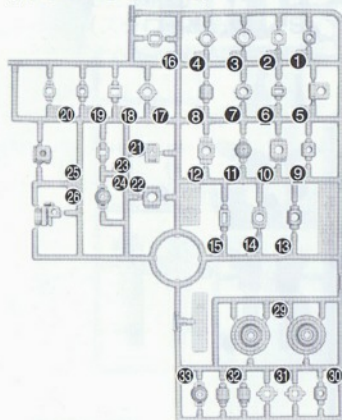


Sパーツ (ABS樹脂: ABS)



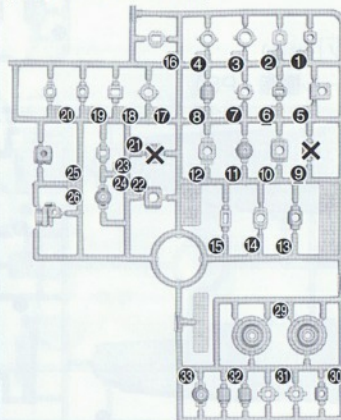
PC-128 [Ext]

(ポリエチレン: PE)

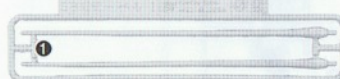


PC-128 [Ext]

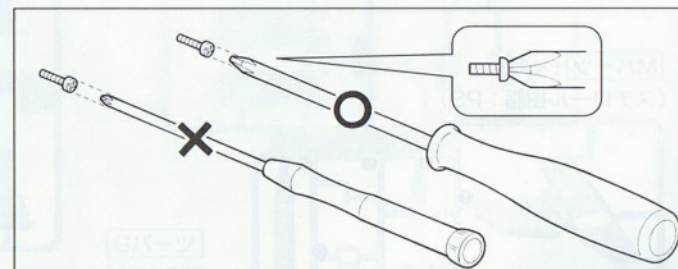
(ポリエチレン: PE)



SB1パーツ (スチロール樹脂: PS)



カラーシール…………… 1枚
マーキングシール…………… 1枚
ガンダムデカール…………… 1枚
ビスTP2×4 …… 15個+2個
ビスTP2×8…………… 8個+1個
ビスTP2.6×8…………… 4個+1個



《お買い上げのお客様へ》部品をこわしたり、なくした時は、「部品注文カード」に必要な部品の記号／番号／数量をはっきり書いて切り取り、郵便局で定額小為替をお買い求めいただき、封書（裏面に必ず、お客様のお名前、年齢、ご住所を明記してください。）にて下記までお申し込みください。代金は、料金表通りです。為替証書は無記入（白紙）で同封してください。なお、部品の形状・重量で郵送料に過不足が生じることがあります。部品発送の際に表記額を超える時は不足分を請求、表記額以下の時には残額をお返しいたします。もし部品に不良品がございましたら、その部品を切り取り、商品名を書いて、下記まで封書にてお送りください。良品と交換させていただきます。ご記入頂きました個人情報につきましては、商品・部品の発送及び情報の提供以外には使用いたしません。

■申し込み先 (株)バンダイ静岡相談センター
〒420-8681 静岡県静岡市葵区長沼500-12 TEL054-208-7520

《料金表》●部品代は1個の料金です。

部品番号	取扱説明書	デカール類	Rパーツ	S2・S3	その他の部品
部品代	150円	各40円	500円	各100円	各40円
郵送料	200円	80円	390円	140円	120円

・電話受付時間 月～金曜日
(祝日を除く) 10時～16時
・電話番号はよく確かめてお間違いのないようにご注意ください。

2003.3/T・ON

For Japanese use only.

部品注文カード

0116415-8000

1/100SCALE MGシリーズ
MSA-0011[Ext] Ex-Sガンダム

必要な部品の記号・番号・数量をかく

●注文された理由(○で囲む) (こわした/なくした)

・日中ご連絡可能な電話番号

(- - -)

'03.03

※コピー使用可

注意

必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

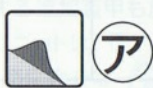
※このキットの組み立てには+（プラス）ドライバーを使いますので別にご用意ください。

〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。



・接着をするところの線



・シールの番号



・デカールの番号



・反対側に取り付けるパーツ



・両側に同じパーツを取り付ける



・向きに注意して取り付ける



・ビスの締めすぎに注意



・切り取る場所



・部品を数値の個数作ります



・先に組み立てます



・後に組み立てます



・数値に合わせて回転させます

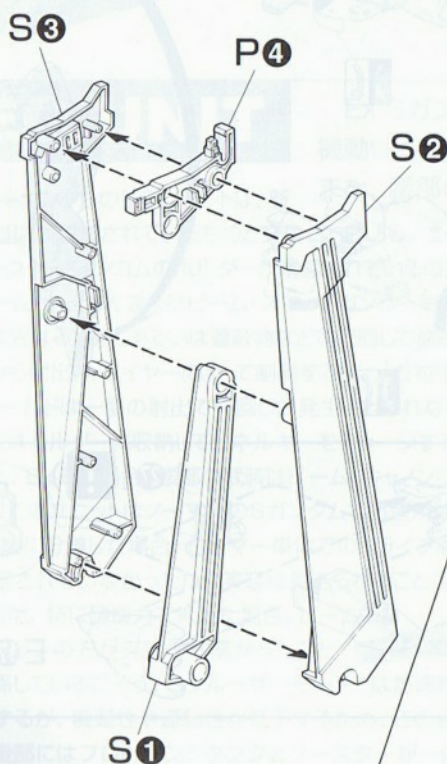


・どちらかを選んで取り付ける



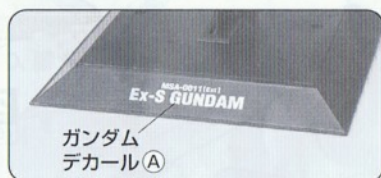
・反対側も同じように動かします

1



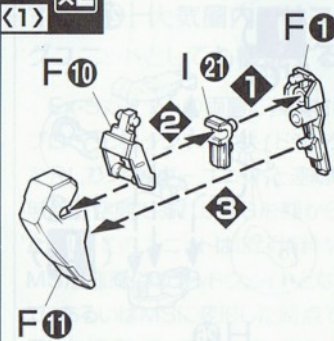
ガンダムデカールのはりかた。

- 1.転写するマークをだまかに切り取ります。
- 2.転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
- 3.シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすりす。

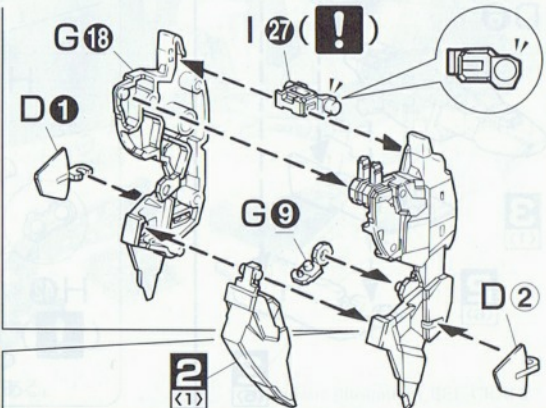
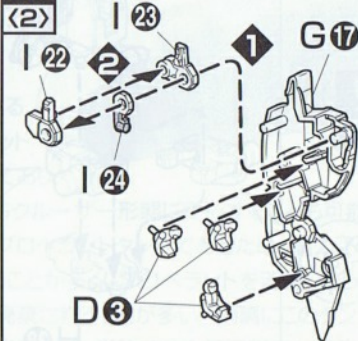


※台の上で組み立てます。

2



2



7

Parts Name

Parts List

Head & Body Unit

Arm Unit

Leg Unit

Booster Pack & Weapons

Final Assembly

Parts Name

Parts List

Head &
Body Unit

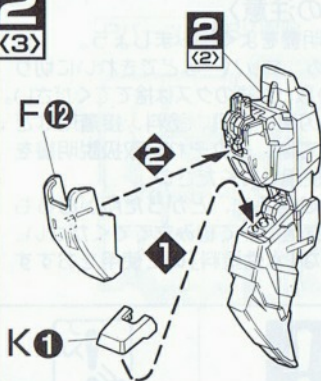
Arm Unit

Leg Unit

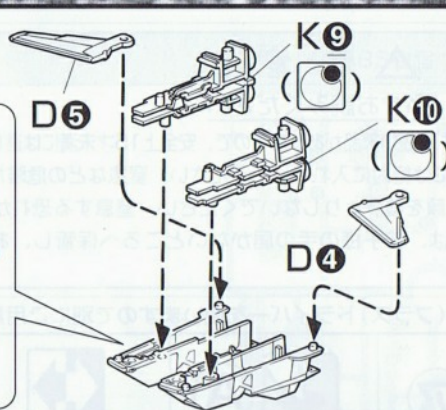
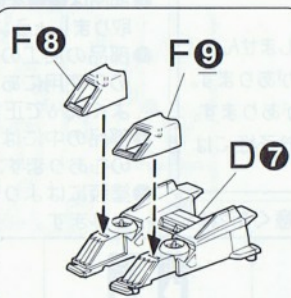
Booster Pack
& Weapons

Final Assemble

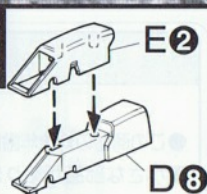
2
(3)



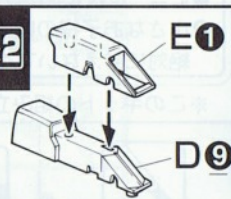
2
(4) x2



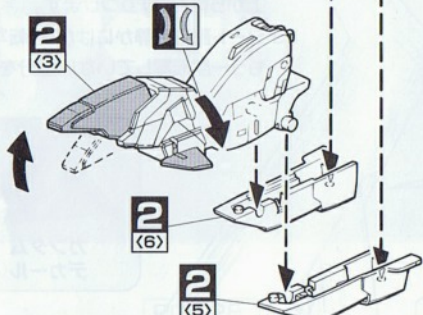
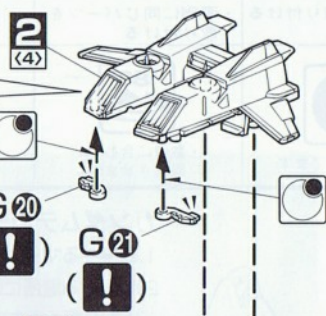
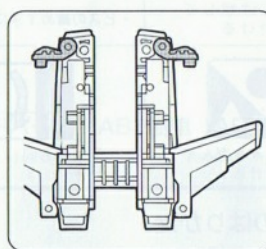
2
(5) x2



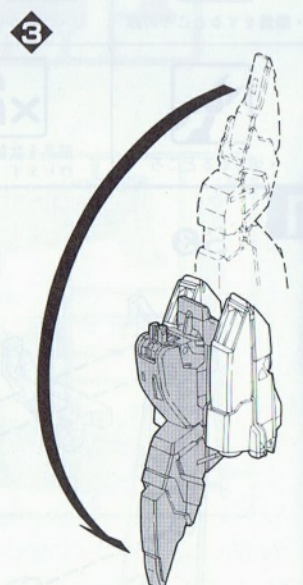
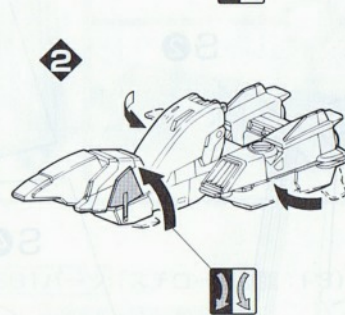
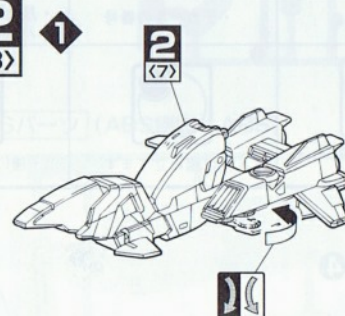
2
(6) x2



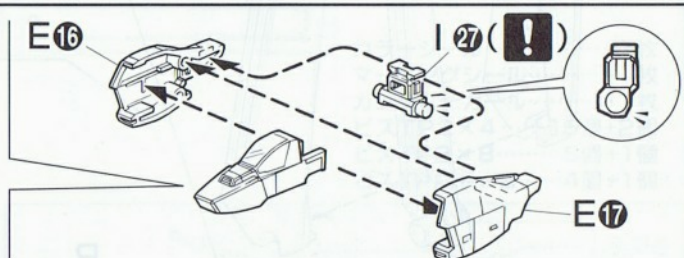
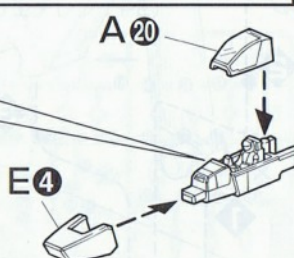
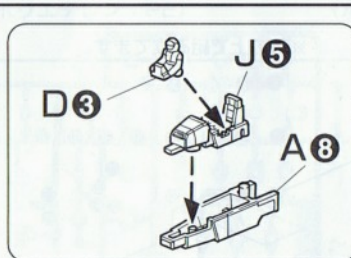
2
(7)



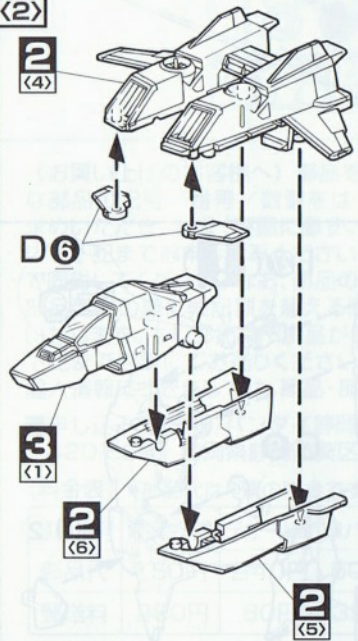
2
(8)



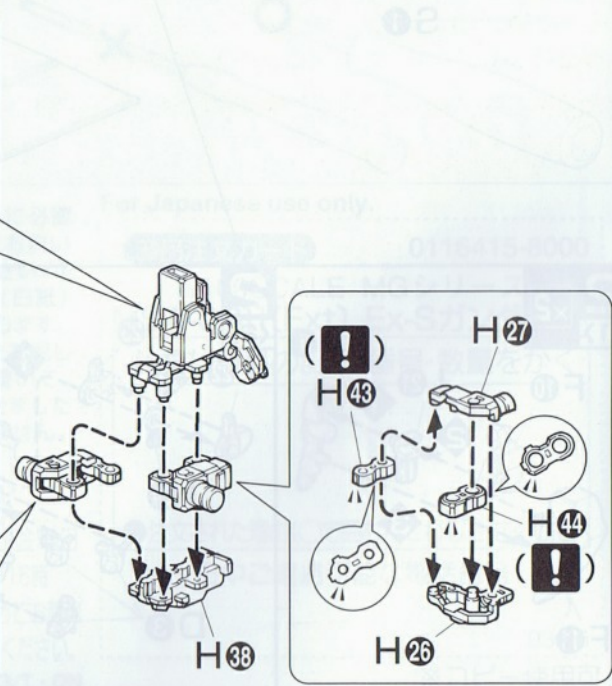
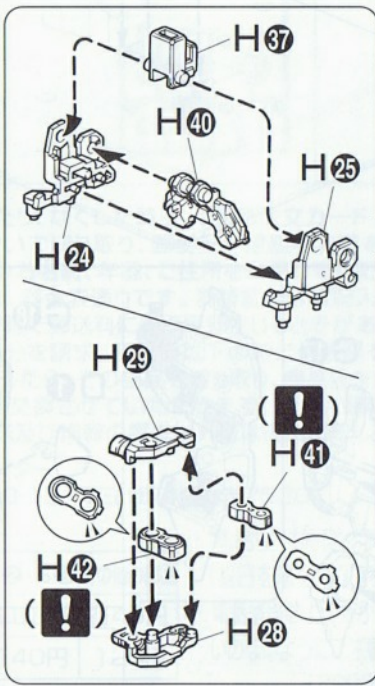
3
(1)



3
(2)



4
(1)

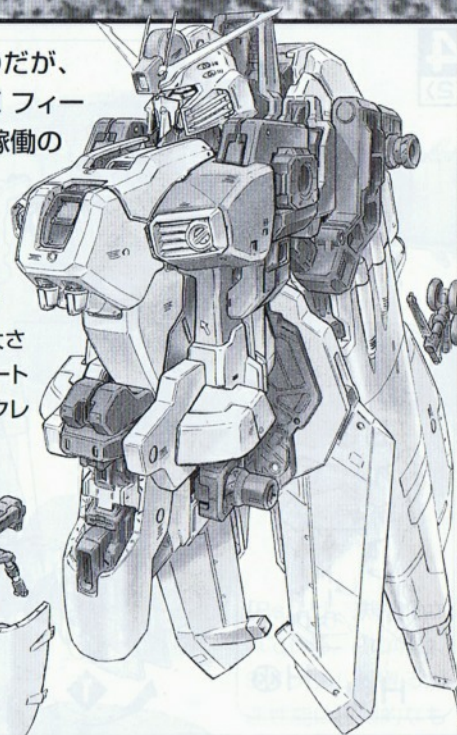
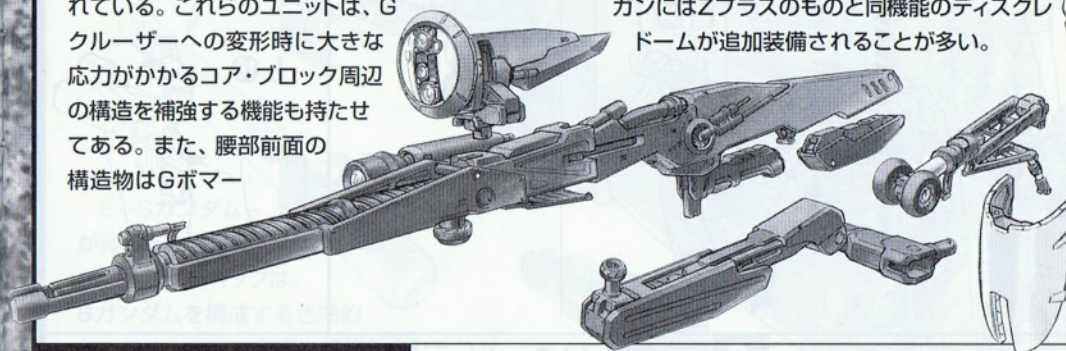


BODY UNIT

MSA-0011 [Ext]のボディユニットは、基本的にノーマルのSガンダムと同等の機能を持つが、追加装備によって各部位の機能は微妙に変更されている。胸部の四角いユニットは、短時間ながらビーム・バリアーとして機能するIフィールド・ジェネレーターであり、その下部には物理的にコクピットを保護する追加装甲も施されている。これらのユニットは、Gクルーザーへの変形時に大きな応力がかかるコア・ブロック周辺の構造を補強する機能も持たせてある。また、腰部前面の構造物はGボマー

Ex-Sガンダムの頭部はSガンダムそのものだが、ボディユニットにはコクピット周辺を防御するIフィールド・ジェネレーターやビーム・スマートガン稼働のためのマウント装備が追加されている。

コクピットの追加装甲兼ムーバブル・フレームの増設ユニットであり、上部にビーム・スマートガンのサポートアームをマウントすることができる。また、Ex-Sガンダムはノーマル時のSガンダムよりも作戦行動半径が拡大されるため、より広範囲の策敵が可能なようビーム・スマートガンにはZプラスのものと同機能のディスクレドームが追加装備されることが多い。

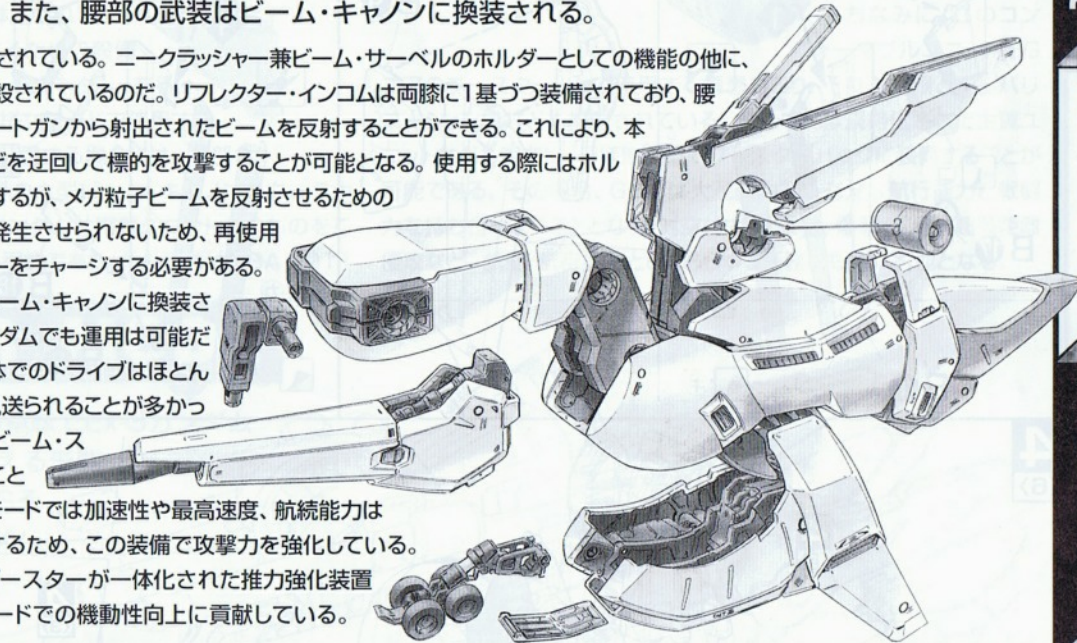


LEG UNIT

Ex-Sガンダムの膝部ユニットは、新たな機能が追加されているものと交換されている。ニークラッシャー兼ビーム・サーベルのホルダーとしての機能の他に、リフレクター・インコムホルダーが増設されているのだ。リフレクター・インコムは両膝に1基ずつ装備されており、腰部ビーム・キャノン、またはビーム・スマートガンから射出されたビームを反射することができる。これにより、本体とは異なる方角、あるいは遮蔽物などを迂回して標的を攻撃することが可能となる。使用する際にはホルダーから射出し、ワイヤーによって制御するが、メガ粒子ビームを反射させるためのIフィールドは一度の射出で一回しか発生させられないため、再使用するにはホルダーに収納してエネルギーをチャージする必要がある。

また、Ex-Sの場合、腰部の武装はビーム・キャノンに換装される。このユニットはノーマルのSガンダムでも運用は可能だが、3機に分離した場合、Gボマー単体でのドライブはほとんど想定されていなかったため実装は見送られることが多かったようだ。特に破壊力で考えた場合、ビーム・スマートガンの方が実効性が高かったことも関係しているだろう。Gクルーザーモードでは加速性や最高速度、航続能力は向上するが、機動性や運動性が低下するため、この装備で攻撃力を強化している。

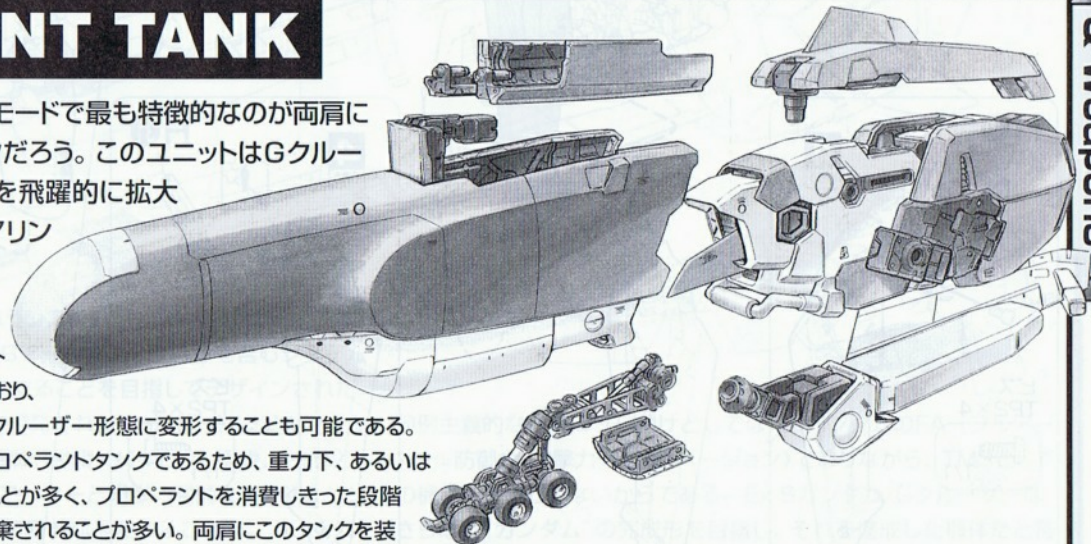
脛後部にはプロペラントタンクとブースターが一体化された推力強化装置が装備され、Gクルーザー、MS両モードでの機動性向上に貢献している。



PROPELLANT TANK

Ex-Sガンダムのクルーザーモードで最も特徴的なのが両肩に装備されるプロペラントタンクだろう。このユニットはGクルーザーモードでの作戦行動半径を飛躍的に拡大するほか、大気圏内ではフェアリングユニットとしても機能する。

Ex-Sガンダムの両肩に装備されるプロペラントタンクは、サイドジャケットを介してショルダーユニットと連結しており、無重量空間であればMS形態からGクルーザー形態に変形することも可能である。ただし、このユニットはほぼ純粋なプロペラントタンクであるため、重力下、あるいはMS形態時にはデッドウェイトとなることが多く、プロペラントを消費しきった段階で、あるいはMSに変形した時点で廃棄されることが多い。両肩にこのタンクを装備した場合、Ex-Sガンダムののべ総推力は、単体での大気圏脱出を可能とするほどのものである。



Mechanism illustration : BEE-CRAFT

Parts Name

Parts List

Head & Body Unit

Arm Unit

Leg Unit

Booster Pack & Weapons

Final Assemble

Parts Name

Parts List

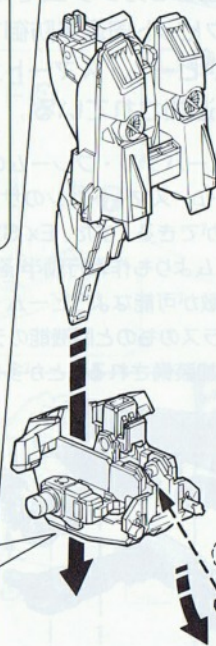
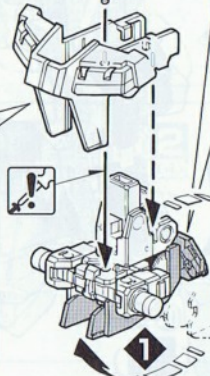
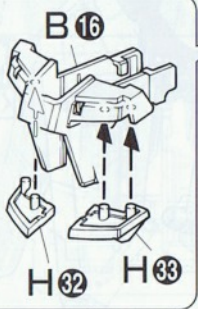
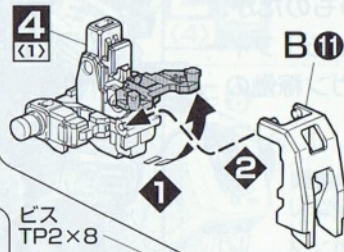
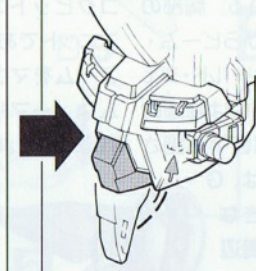
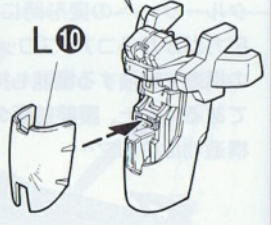
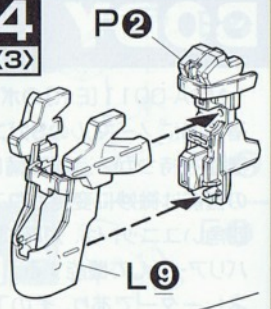
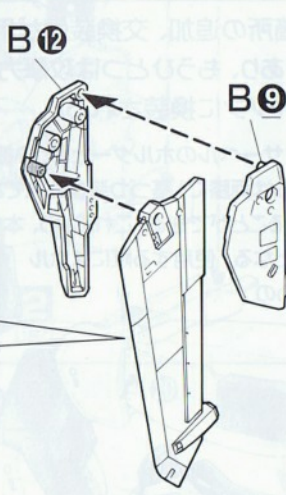
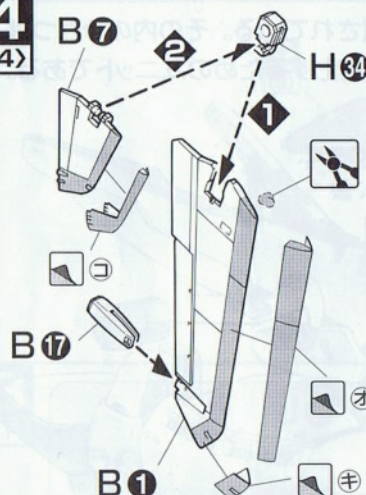
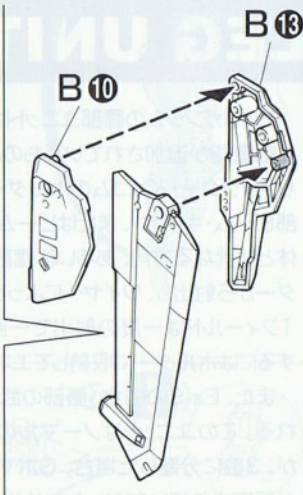
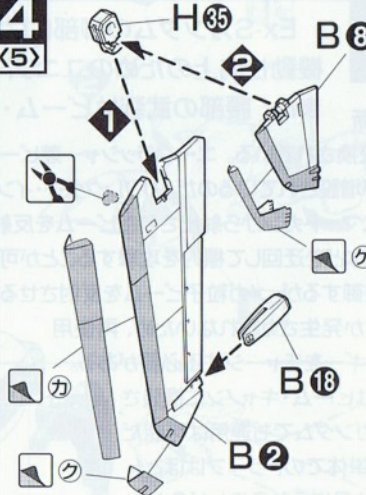
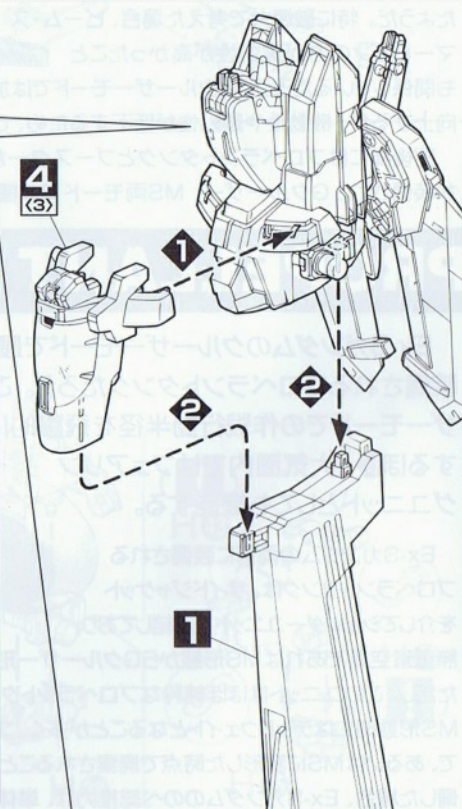
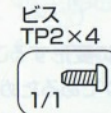
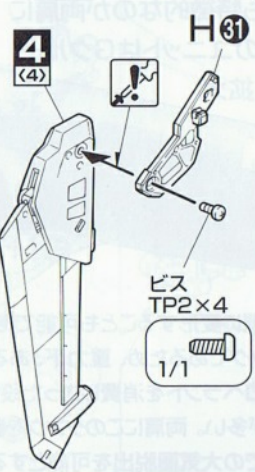
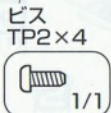
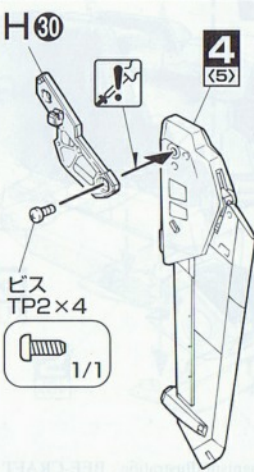
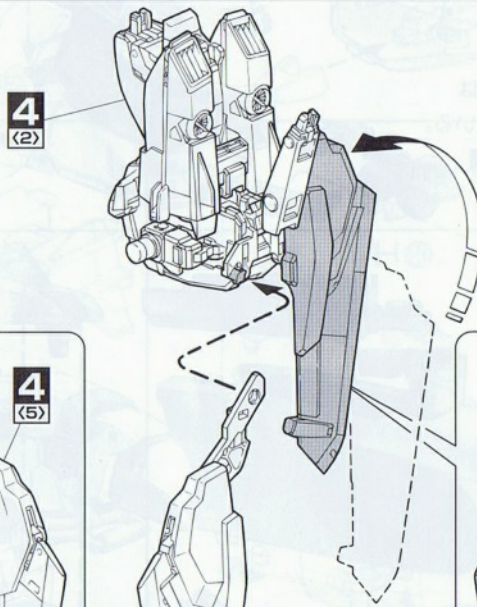
Head &
Body Unit

Arm Unit

Leg Unit

Booster Pack
& Weapons

Final Assemble

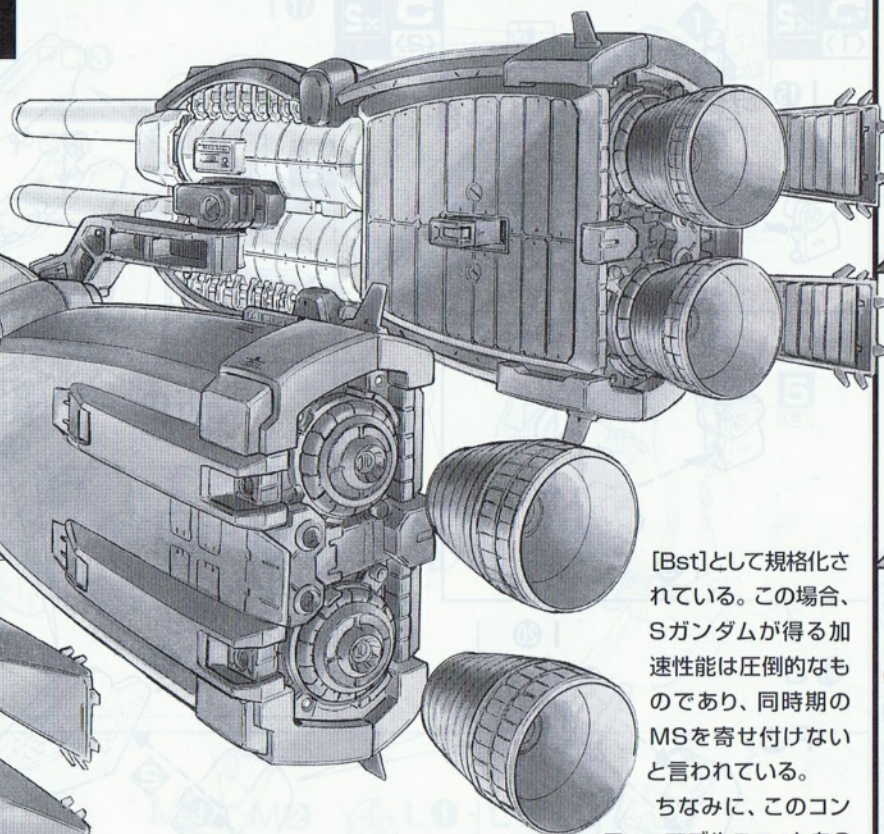
4
(2)2
(8)4
(3)4
(4)4
(5)4
(6)

1

BOOSTER PACK

Ex-Sガンダムが背部に装備するブースターパックは、Sガンダムのシステム全体のうちでも重要度の高いオプションユニットであり、多彩な運用が想定されている。

Ex-Sガンダムが背部に2基装備するブースターパックは、Sガンダムを構成する包括的なシステムとして高度に規格化されたコンフォーマブルユニットであり、プロペラントタンク、コ・ジェネレーター、エネルギーターミナル、大出力ブースターなどが一体化されている。このユニットは、いわば操縦するための設備がないだけの航宙航空ユニットであり、Sガンダム、あるいはGコアとの組み合わせにより、多様なモードで使うことが可能である。Ex-Sガンダムが装備する場合には、背部のスタビレーターにマウントされ、2基の大型ビーム・キャノンのターミナルとしても機能している。また、Sガンダムは脚部ユニットそのものをこのブースターパックと換装することも可能であり、その形態はMSA-0011



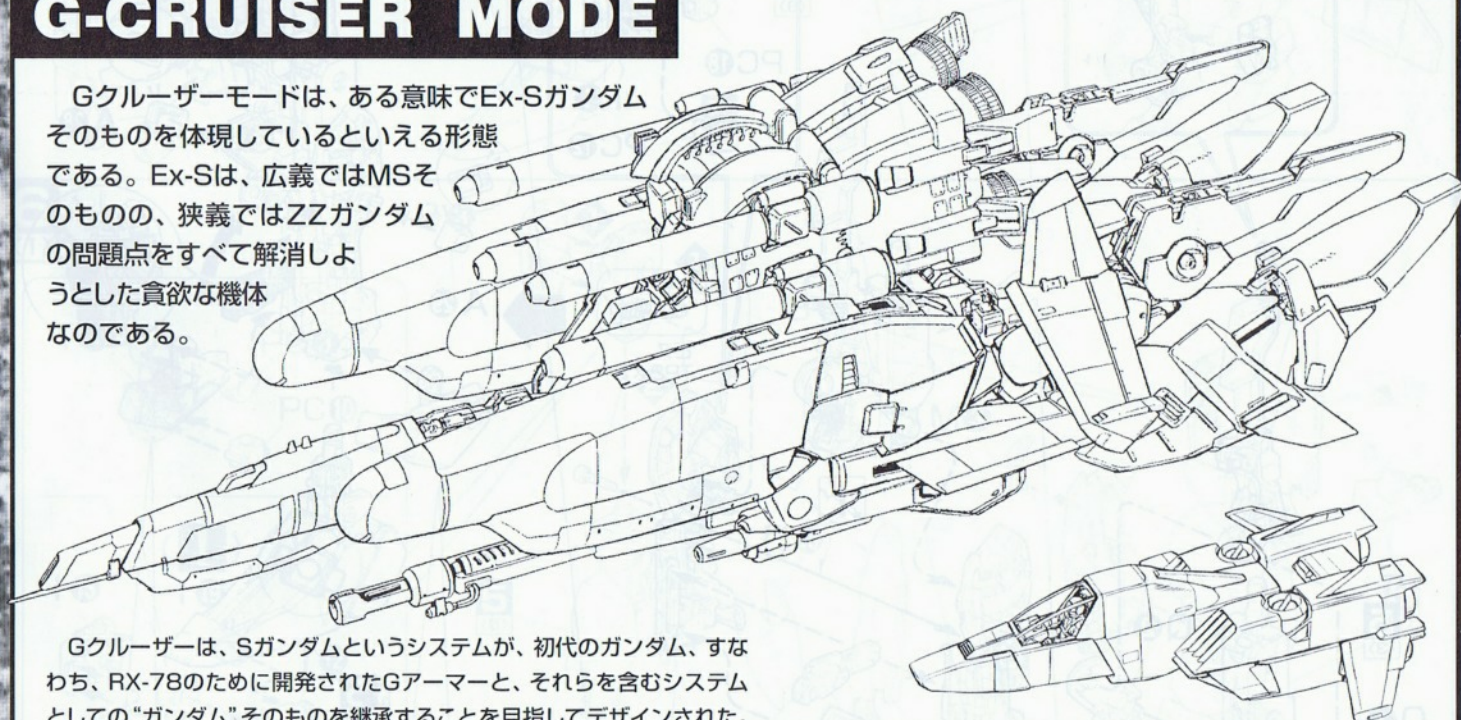
[Bst]として規格化されている。この場合、Sガンダムが得る加速性能は圧倒的なものであり、同時期のMSを寄せ付けないと言われている。

ちなみに、このコンフォーマブルユニットをG

コアのブースターとして使用する構想もあり、それを主眼とするバリエーション機なども検討されている。その中には規格化された主翼ユニットなども存在し、ほぼ無改造でブースターパックに装備することが可能である。その場合、Gコアは大気圏内でも十分な航行能力と戦闘力を持ち合わせることであり、対空、対地、戦闘、爆撃、迎撃、超長距離侵攻など、航空/航宙兵器としてあらゆる任務にも対応可能となる。

G-CRUISER MODE

Gクルーザーモードは、ある意味でEx-Sガンダムそのものを体現しているといえる形態である。Ex-Sは、広義ではMSそのものの、狭義ではZZガンダムの問題点をすべて解消しようとした貪欲な機体なのである。



Gクルーザーは、Sガンダムというシステムが、初代のガンダム、すなわち、RX-78のために開発されたGアーマーと、それらを含むシステムとしての“ガンダム”そのものを継承することを目指してデザインされた。双方の機能を合わせ持つ機体として開発されたMSZ-010 ZZガンダムのGフォートレスは、合体部位の機構や強度、パイロット搭乗、脱出システムなどの点で初代のガンダム/Gアーマーと同様の問題を抱え込んでしまった。Sガンダムは、オプション装備を前提とすることで、“ガンダム”として新たな一歩を踏み出したのである。なぜなら、Ex-Sガンダムは、

前例主義的なカテゴリー分けとしては《SガンダムのFA（フルアーマー=防御力/攻撃力強化型）バージョン》でありながら、TMSとしての機能を失っていないからである。Ex-Sガンダム/Gクルーザーは、さらなる“ガンダム”の完成形を目指し、それを達成した機体だと言えることができるだろう。

Conceptual illustration : Katoki-Hajime

Parts Name

Parts List

Head & Body Unit

Arm Unit

Leg Unit

Booster Pack & Weapons

Final Assembly

Parts Name

Parts List

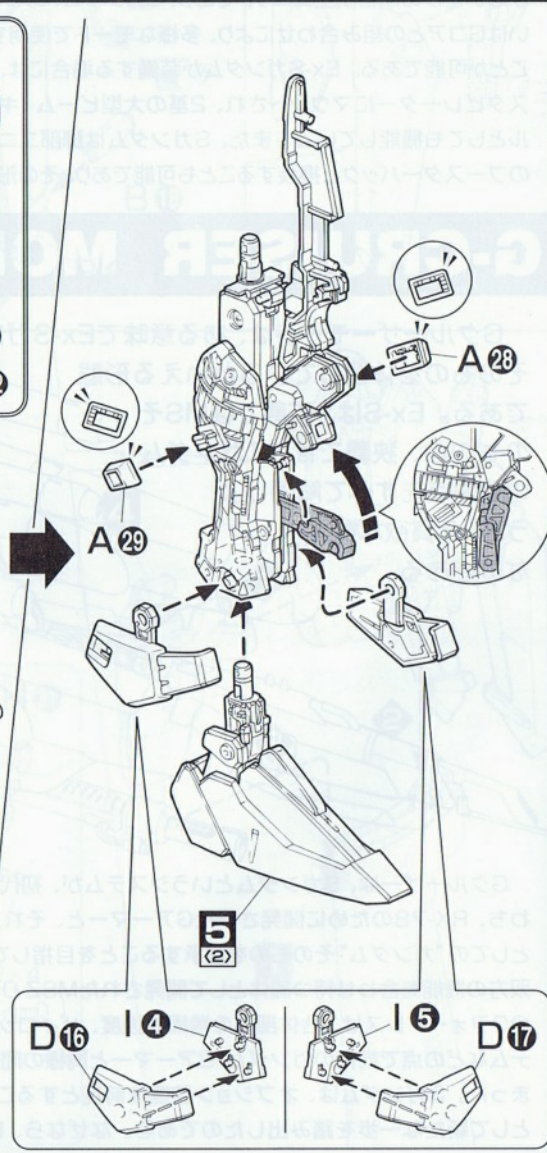
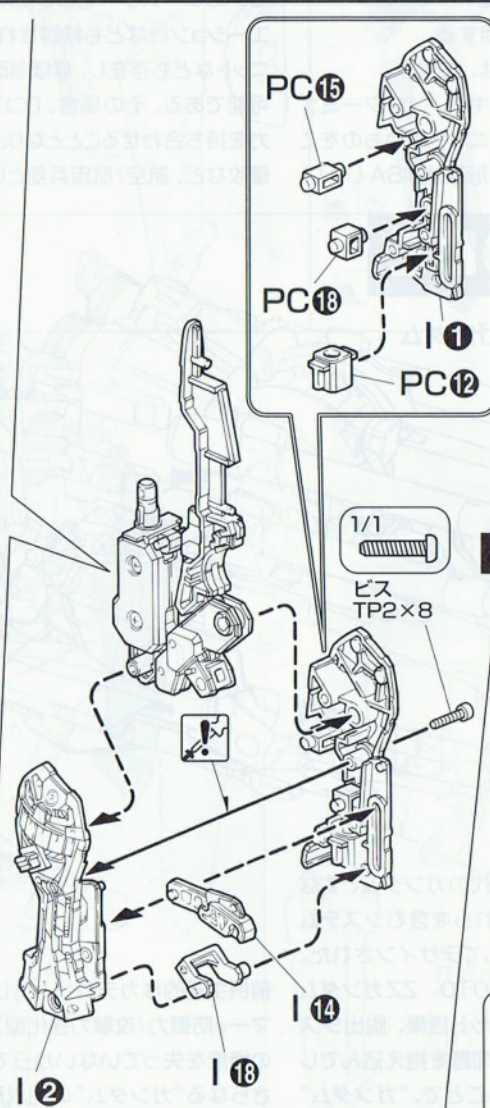
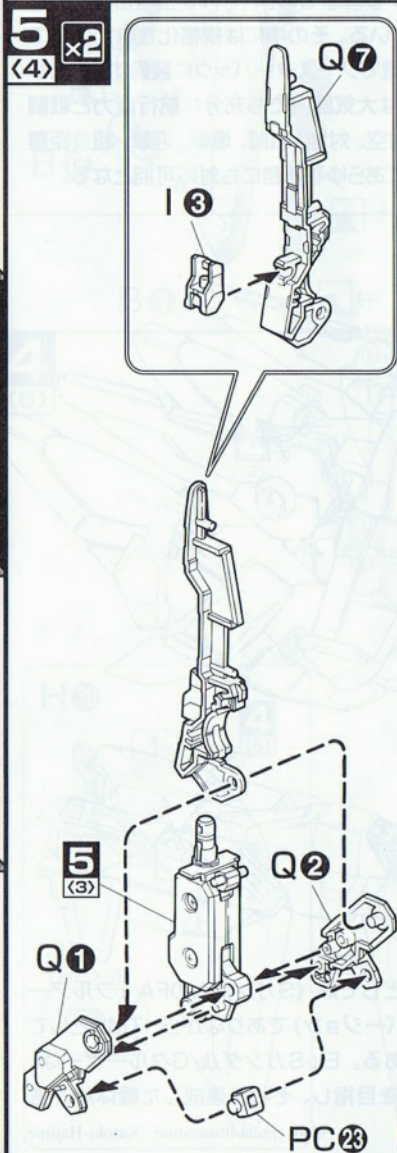
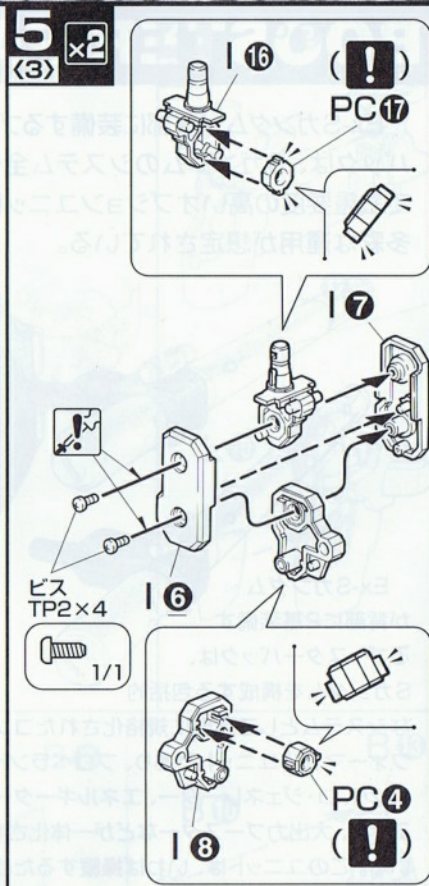
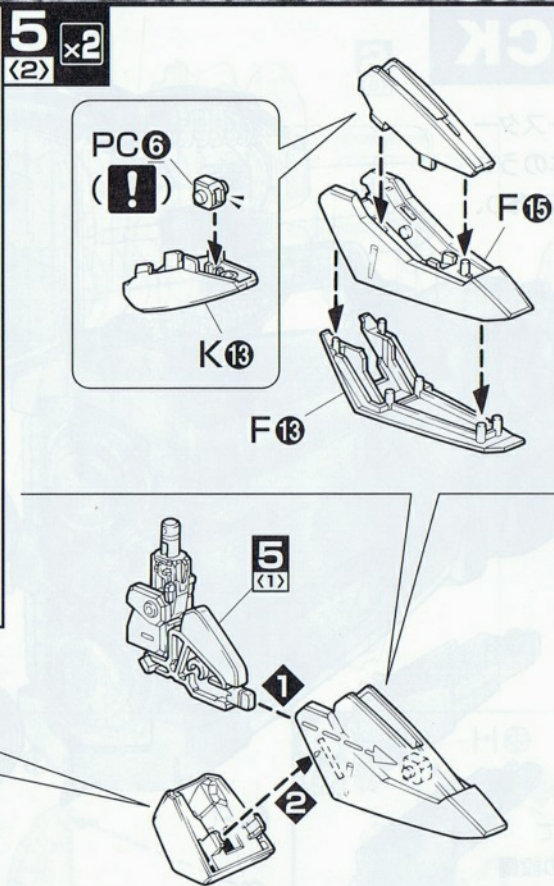
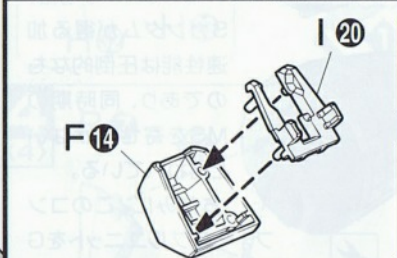
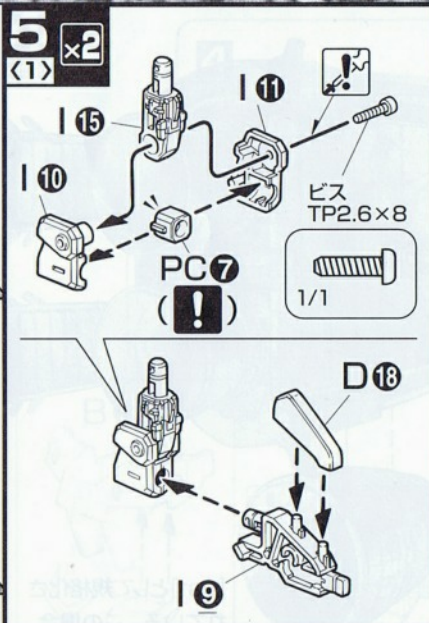
Head &
Body Unit

Arm Unit

Leg Unit

Booster Pack
& Weapons

Final Assemble



Parts Name

Parts List

Head & Body Unit

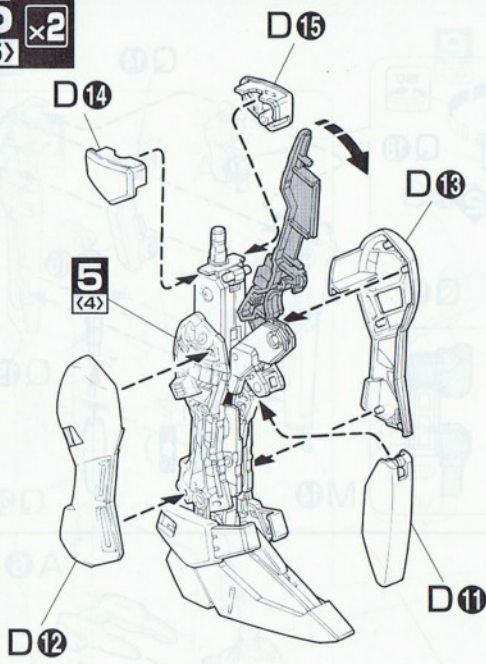
Arm Unit

Leg Unit

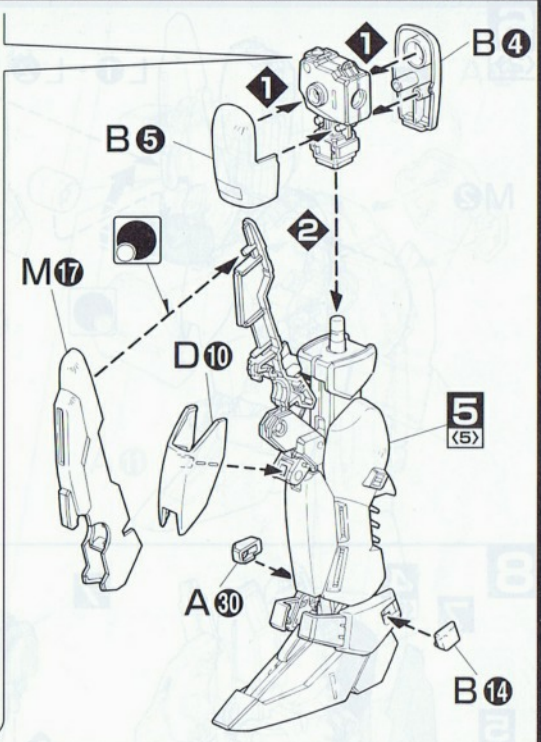
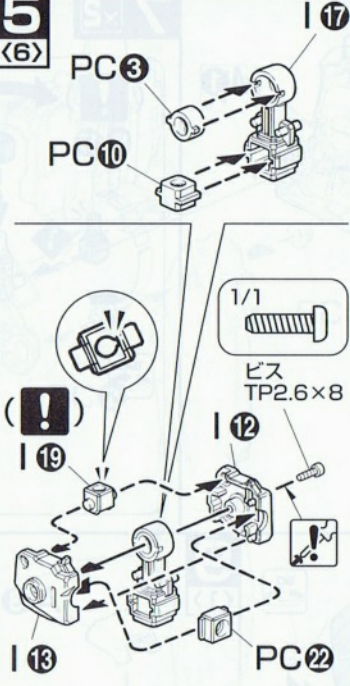
Booster Pack & Weapons

Final Assemble

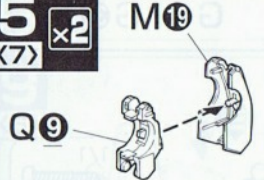
5
(5) x2



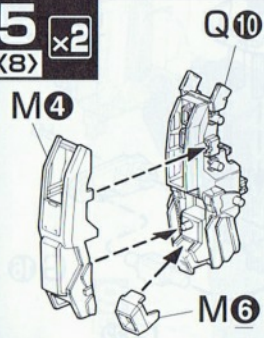
5
(6)



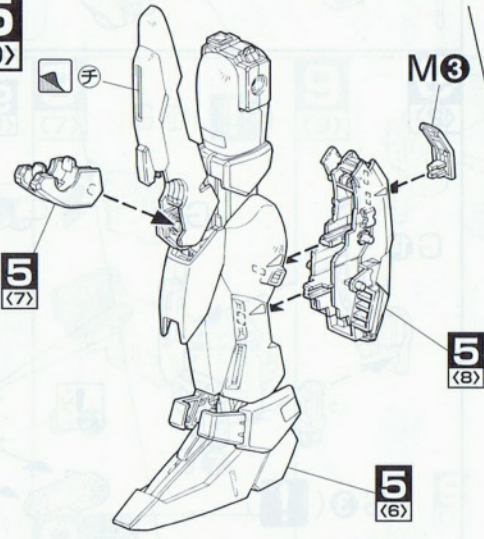
5
(7) x2



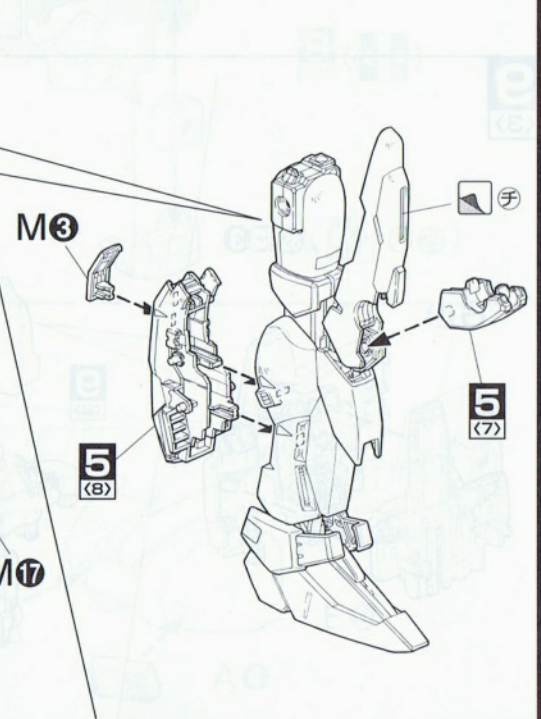
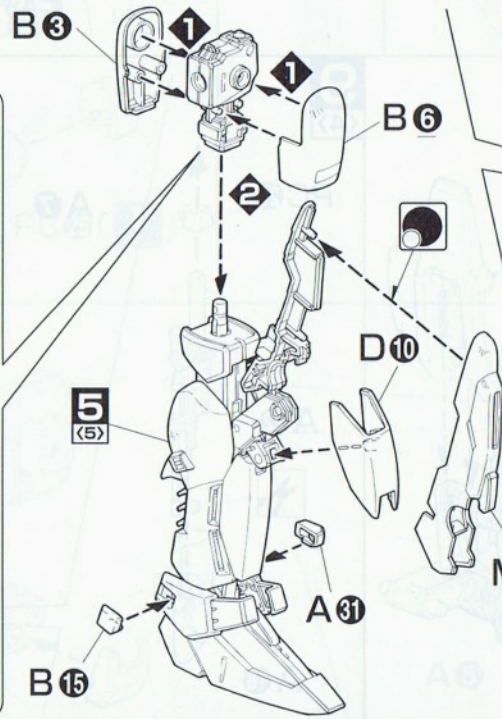
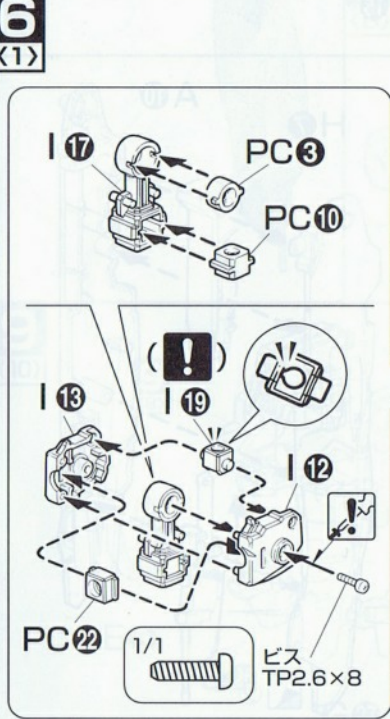
5
(8) x2



5
(9)



6
(1)



Parts Name

Parts List

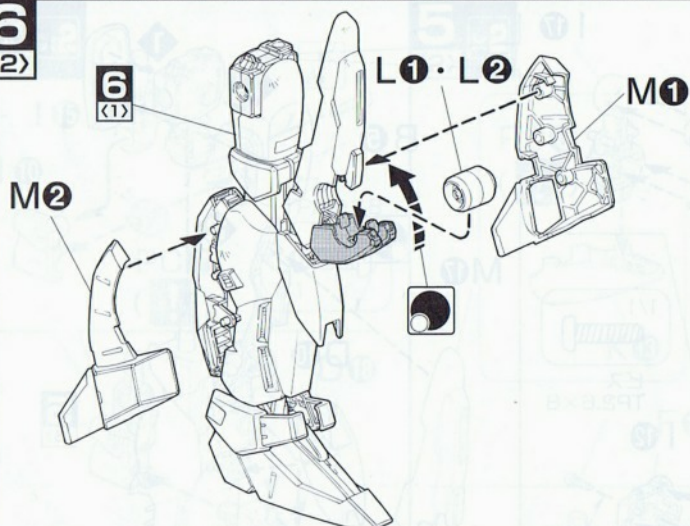
Head &
Body Unit

Arm Unit

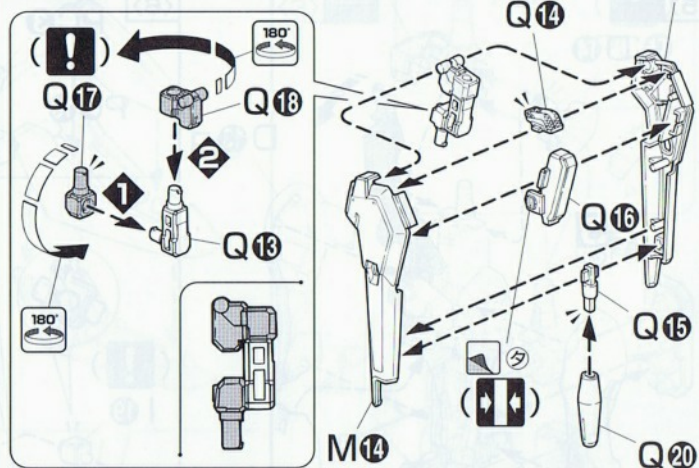
Leg Unit

Booster Pack
& Weapons

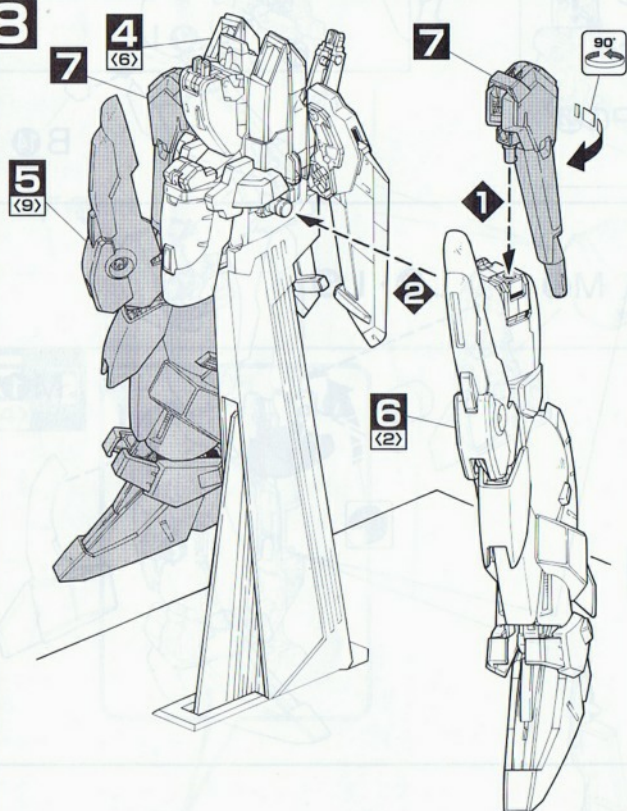
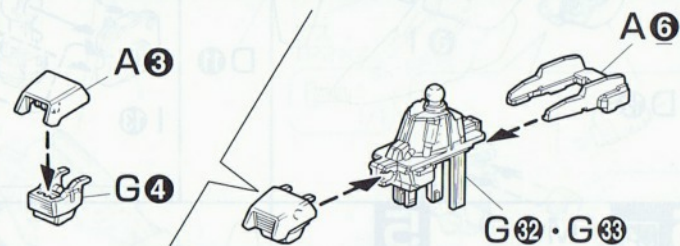
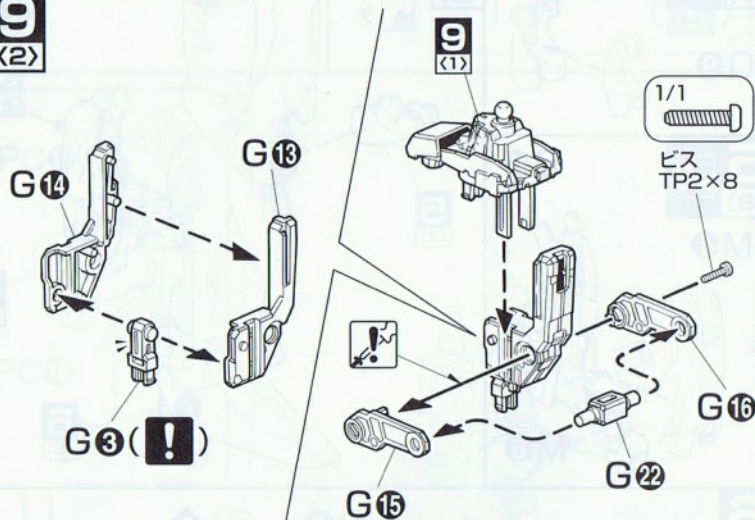
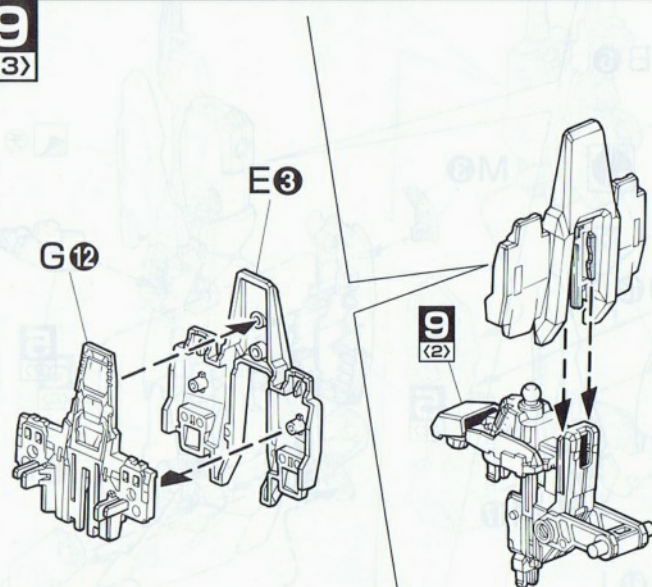
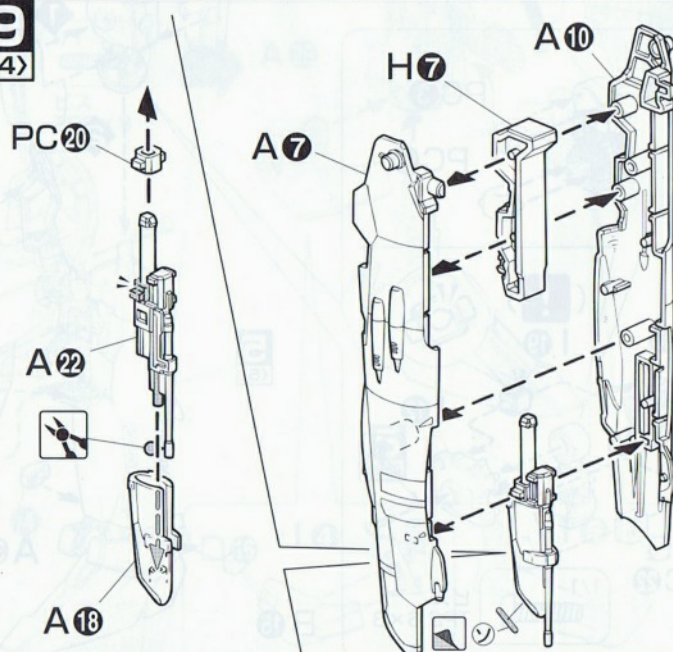
Final Assemble

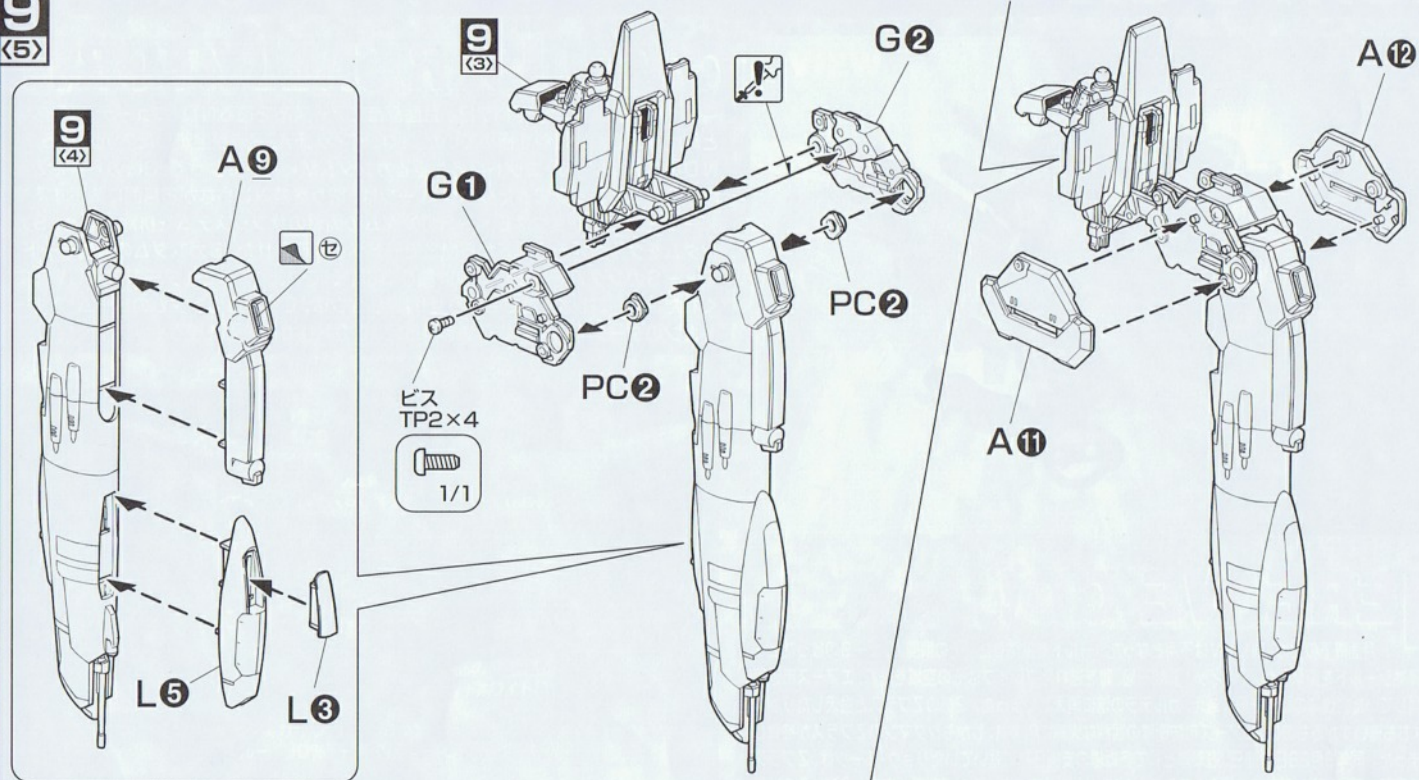
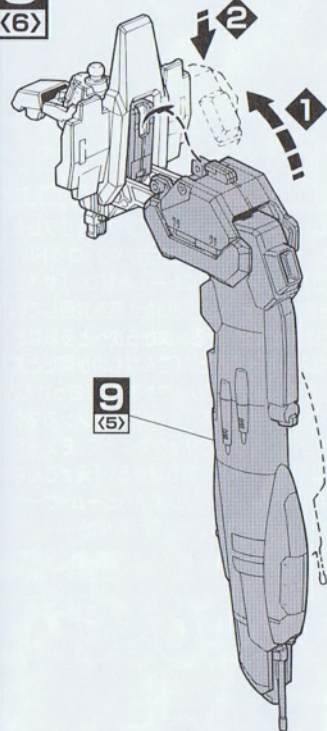
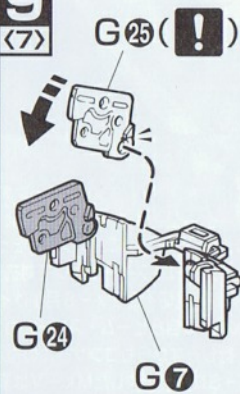
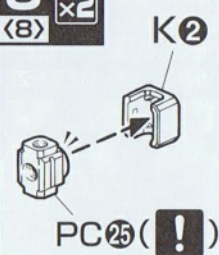
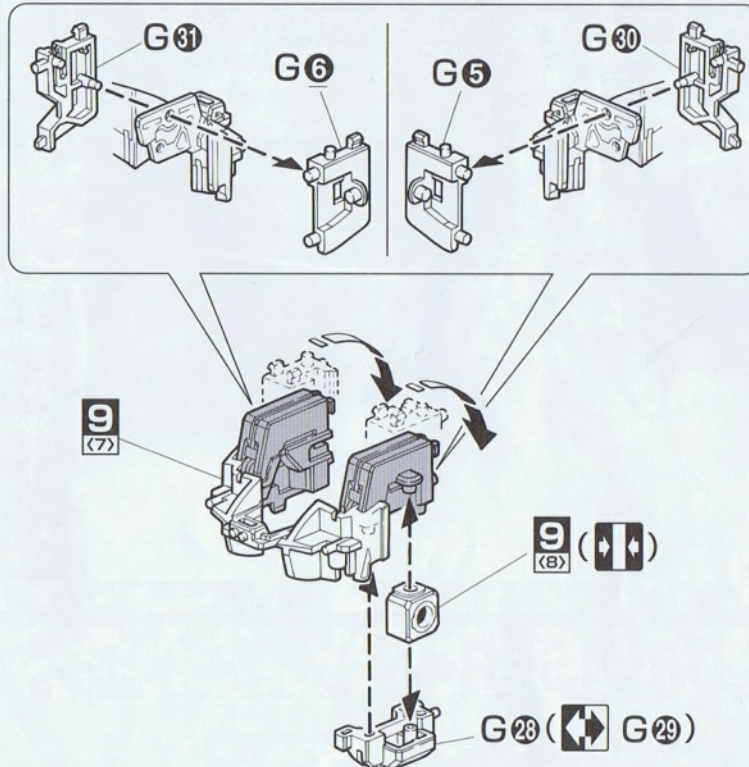
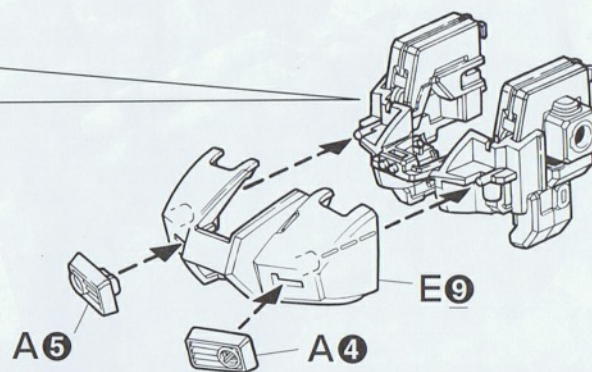
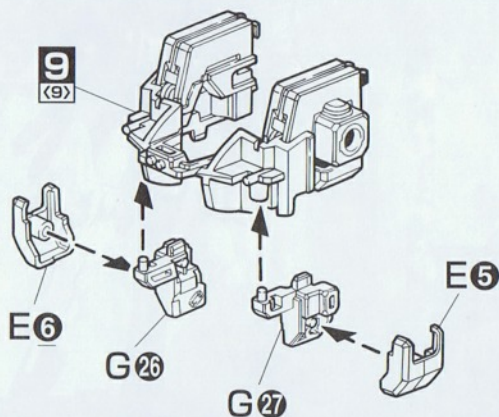
6
(2)

7 x2



8

9
(1)9
(2)9
(3)9
(4)

9
(5)9
(6)9
(7)9
(8) x29
(9)9
(10)



HERE WE GO!

月面降下のため、Mk-Vは不用となったシールドを排除した。その瞬間、Ex-Sの放ったビームが偶然シールドを直撃した。「何ィッ!」間一髪、難を逃れたブレイブはその空域を逃れ、エアーズ市近傍に展開していた討伐隊の頭上を飛び越え、カルデラの陰に消えてしまった。2機のZプラスと合流したリョウは、なおも追いつけるものの、エアーズ市防衛隊の猛烈な火線に阻まれ、しかもシグマンのZプラスが被弾してしまった。同年3月28日。連日、遊撃隊として各戦線の支援任務に就いていたリョウ・ルーツは、Zプラスの修理完了を受けて再び最前線へ投入されることとなった。「中央のドームから新手が出た。今動けるのは貴様らしかおらんのだ。すぐに排除してくれ!」。Ex-Sのコクピットにマニングスの声が響く。「まったく、人使いが荒いよな……、Ex-S、準備よし!」「テックス・ウェスト、準備よし!」「シグマン・シェイド、出撃できます」2機のZプラスの応答を聞くや、リョウはスロットルを全開する。「行くぜッ、野郎共!!」3機のガンダムはそれぞれの背中に青い光球をきらめかせ、いくつもの火線が交差する月の空へ駆け昇っていった。



G-CRUISER SALLY FORTH

U.C.0088年3月17日。月面都市エアーズ市を巡るND(ニューディサイズ)と討伐隊の戦闘は熾烈を極めていた。「な、何ィッ、FAZZ隊が全滅した? 冗談だろ?」NDの首魁ブレイブ・コード自らが駆るガンダムMk-Vによって、3機のFAZZ部隊が全滅したことを知ったリョウ・ルーツは、怒りを噛みしめながら月面に降下するMk-Vを追う。リョウはEx-Sガンダムの両肩のサブシステムを排除すると、SガンダムをクルーザーモードからMSモードへと変形させた。Sガンダムの最強モード、Ex-Sガンダムを駆るリョウは独りつぶやいていた。「よくもダチを二人もやってくれたな……、礼はさせてもらうぜ!!」。リョウは、Ex-Sガンダムのビーム・スマートガンのターゲットにMk-Vを捕らえ、そのトリガーを引き絞る!



SHOWDOWN WITH BEAM SABER

「上等じゃねえか! インコムにはインコムをってな!!」リョウのEx-Sガンダムはリフレクター・インコムを放出しビーム・スマートガンに対抗する。ガンダムMk-Vのブレイブ・コードは、そのトリッキーな射軸を見切るとEx-S目がけインコムから矢継ぎ早にビームを撃つ。「ヤベェッ?」その時、Ex-Sは自らビーム・スマートガンを盾にしてビームを防いだ。死を覚悟していたリョウは、一瞬、訝しみながらもコンソールの指示に従い戦況を続ける。次から次へと多彩な武装を繰り出すEx-Sに業を煮やしたMk-Vは直に掴みかかってきた。「こんなものが何だと言うのさあッ!」Ex-Sの腰部ビーム・キャノンで握り潰しながらブレイブが呻く。「おっさん、いい加減にクタブレよおっ!」リョウは恐怖に駆られながら絶叫する。その時、キャノンのマウントが外れ、Ex-SはMk-Vを蹴り上げていた。あっけにとられるリョウをよそに、Ex-Sはホルダーから飛び出したビーム・サーベルを右手に握るやMk-Vに斬りかかる。「俺アこんな操作してねえぞ!」恐慌に陥るリョウ。「小僧オオ、死ぬエエィ!!」ブレイブもビーム・サーベルを抜きリョウに襲いかかる。凄まじい光音が交錯した瞬間、リョウの意識は弾け飛んだ……。

G-CRUISER




ACTION POSE



PAINTING

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
 ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
 ●このキットをよりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売のガンダムカラー(「Ex-Sガンダム」用、その他カラーセット)をお使いください。

	本体等ホワイト部の塗装色。 ホワイト(100%)＋ネービーブルー少量 ※またはガンダムカラー ホワイト5
	胸部等ブルー部の塗装色。 コバルトブルー(60%)＋インディブルー(40%) ※またはガンダムカラー ブルー17
	インテーク等イエロー部の塗装色。 イエロー(95%)＋オレンジイエロー(5%) ※またはガンダムカラー イエロー1
	足等レッド部の塗装色。 モンザレッド(100%) ※またはガンダムカラー レッド1
	関節等ダークグレー部の塗装色。 ミッドナイトブルー(90%)＋ホワイト(10%)
	肩パイプ等ライトグレー部の塗装色。 エアクラフトグレー(100%)
	目、センサー等グリーン部の塗装色。 イエローグリーン(70%)＋デイトナグリーン(30%)
	プロペラントタンク先端等オレンジ部の塗装色。 オレンジイエロー(60%)＋オレンジ(30%)＋ホワイト(10%)
	センサー等スカイブルー部の塗装色。 スカイブルー(60%)＋ホワイト(40%)

FRONT VIEW



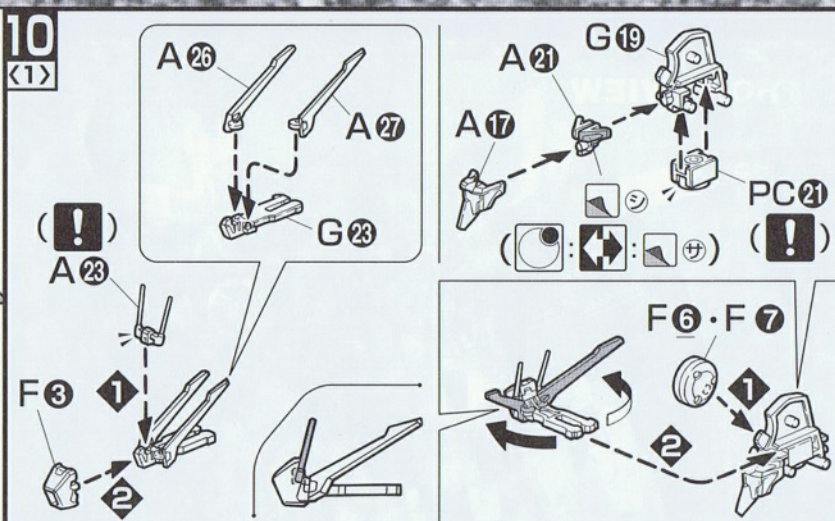
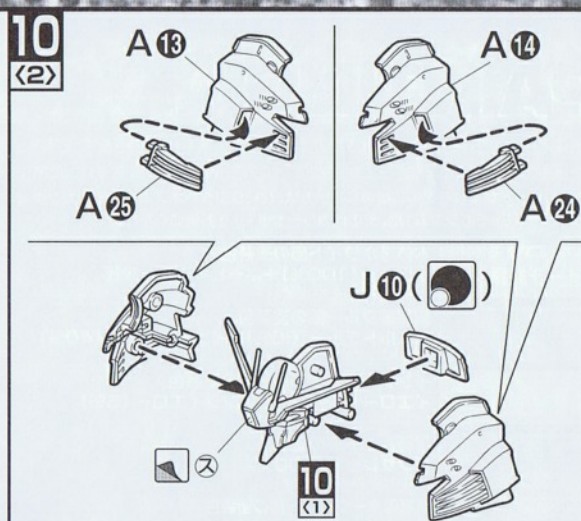
REAR VIEW



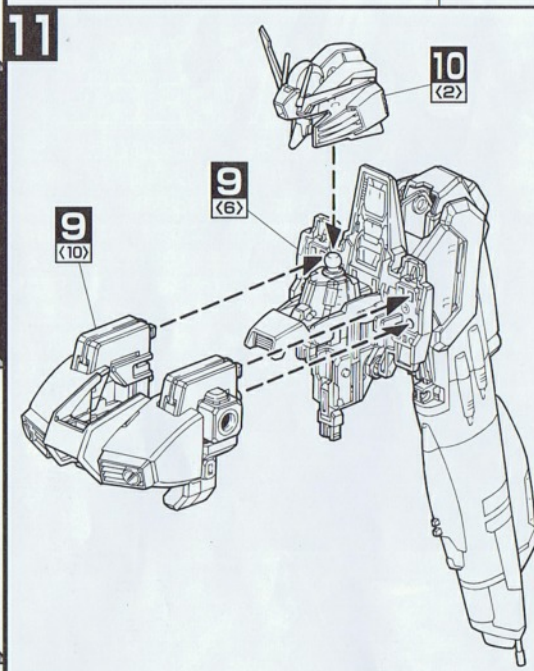
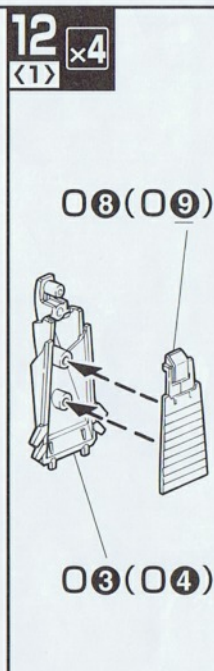
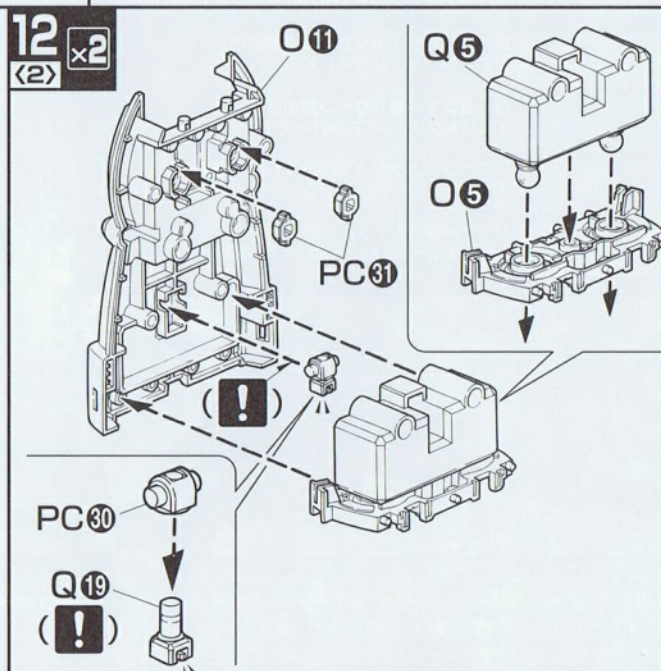
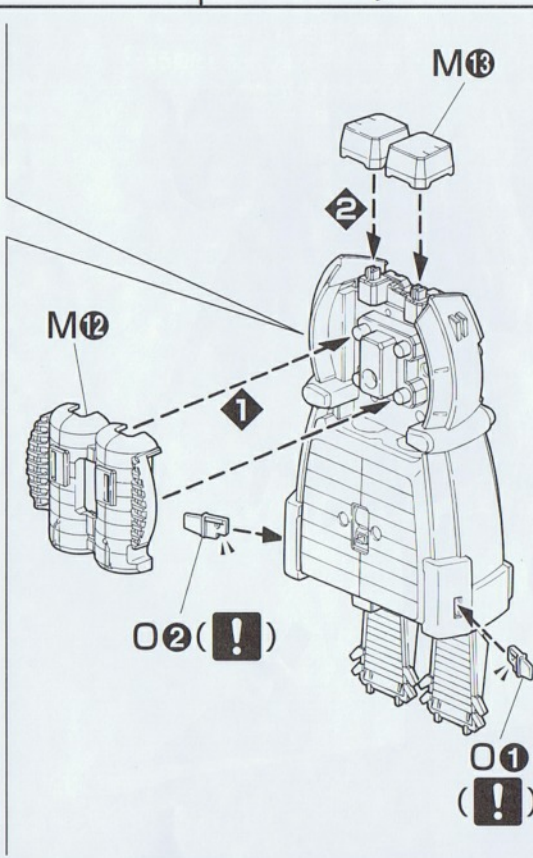
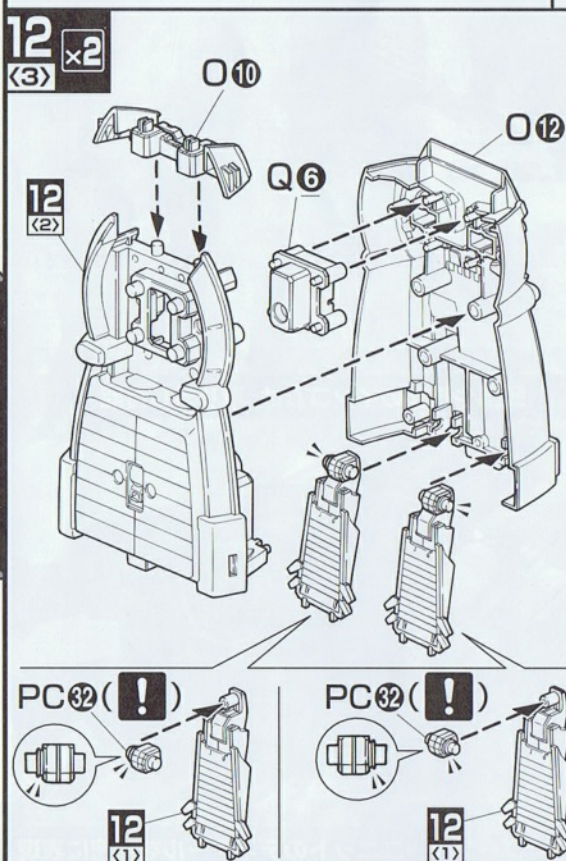
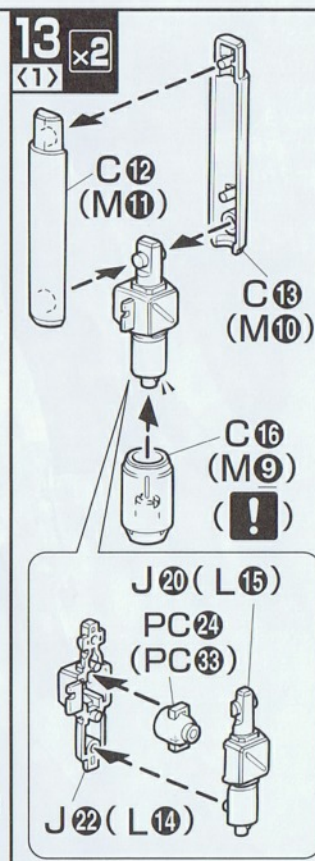
▲ 頭部や脚部のインコムは、取り外し可能。

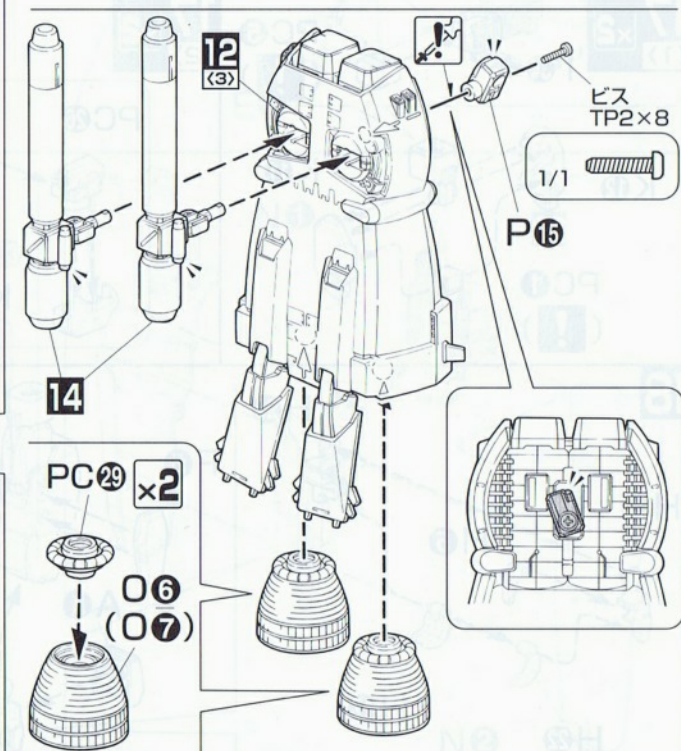
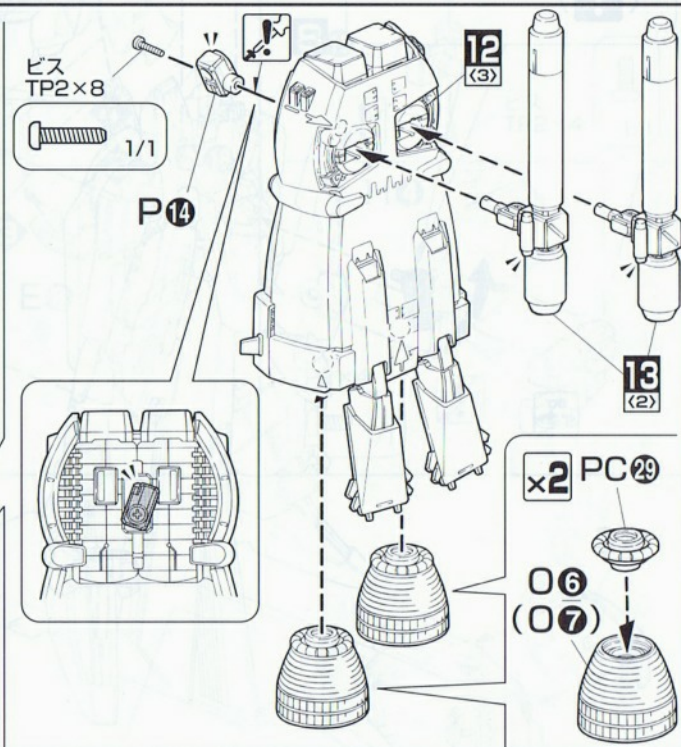
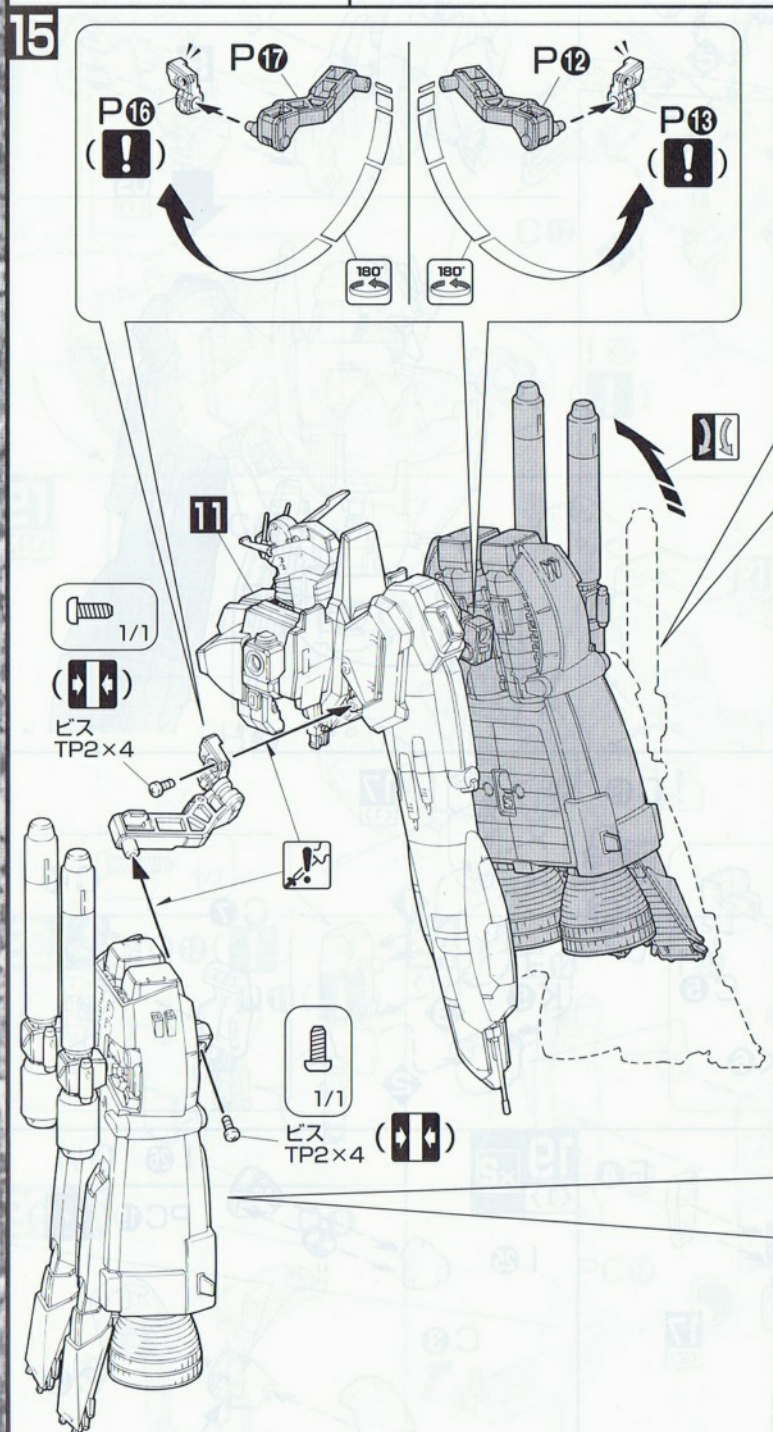
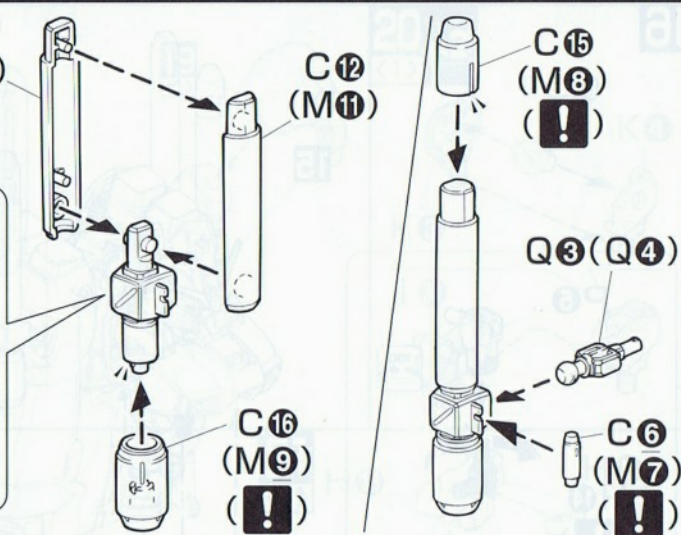
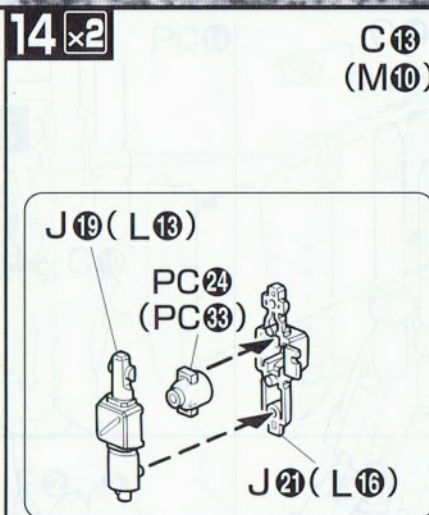
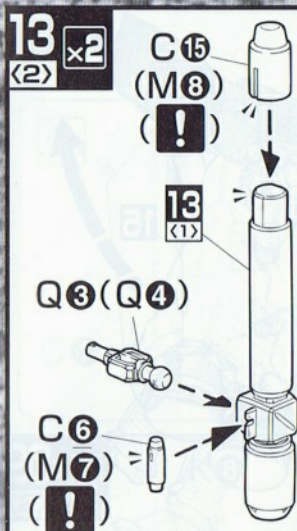


▲ ブースターユニットのディテールを精密に表現。

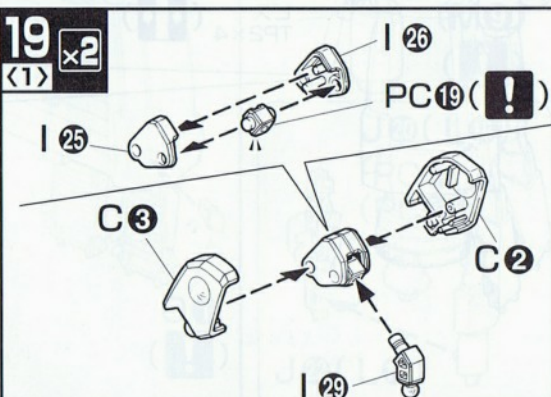
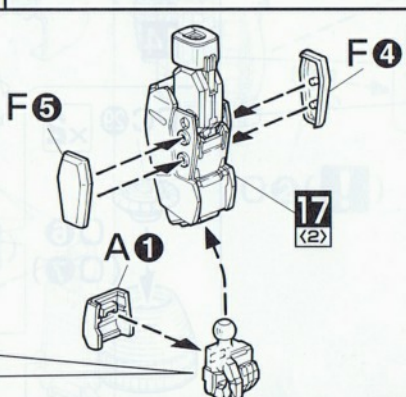
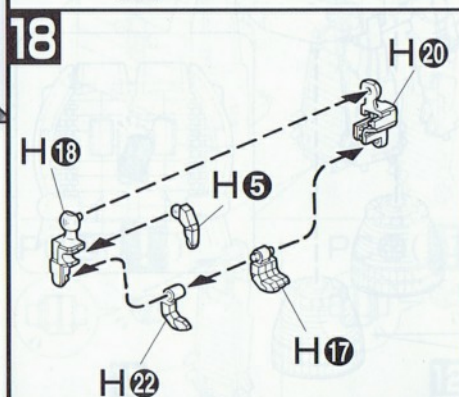
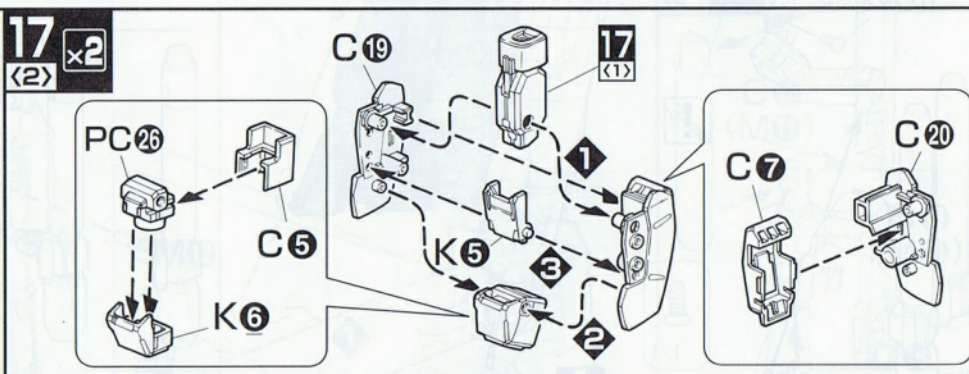
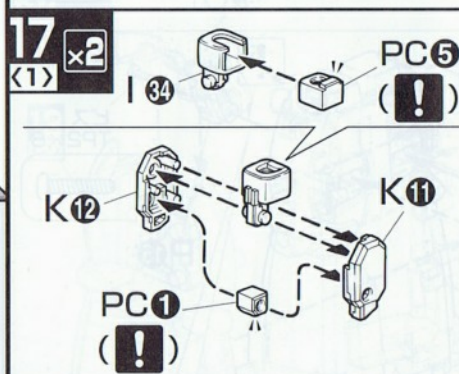
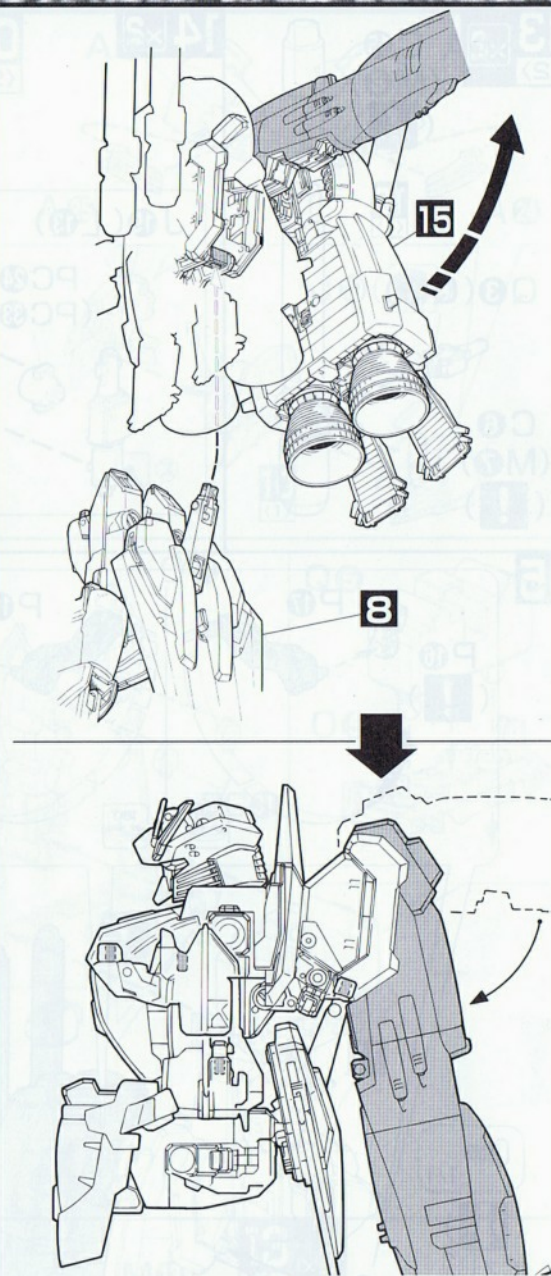
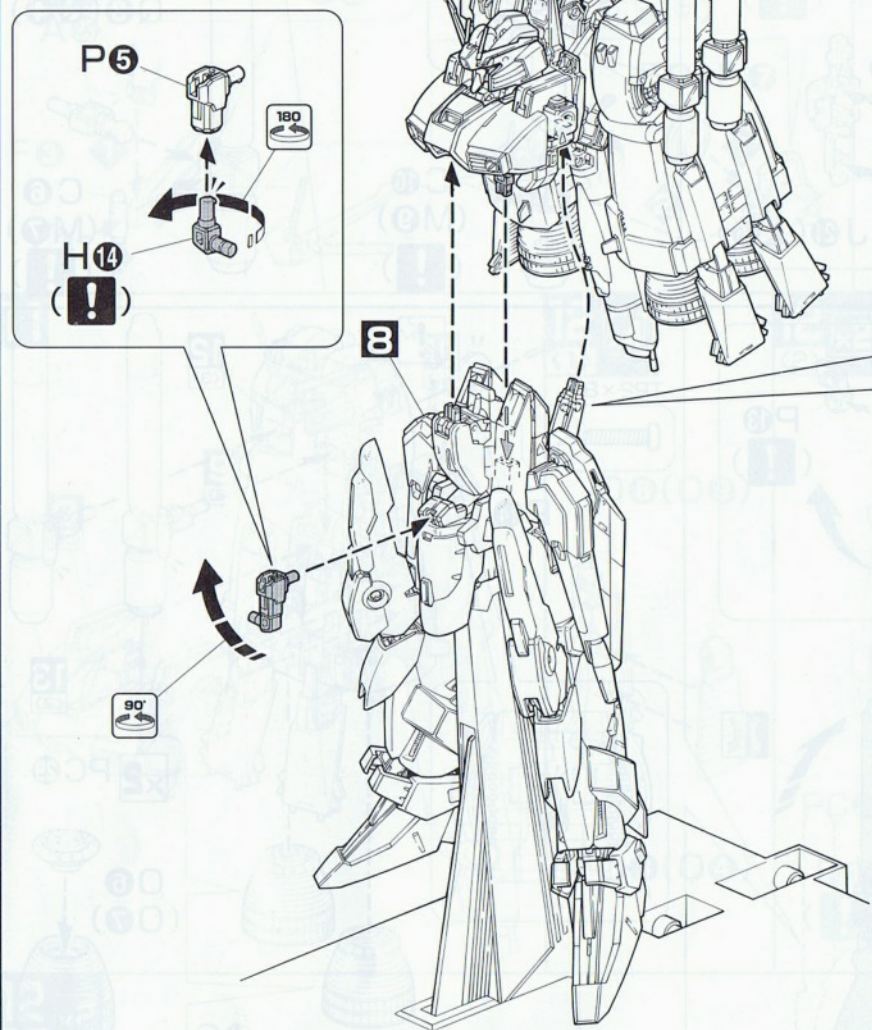
10
(1)10
(2)

11

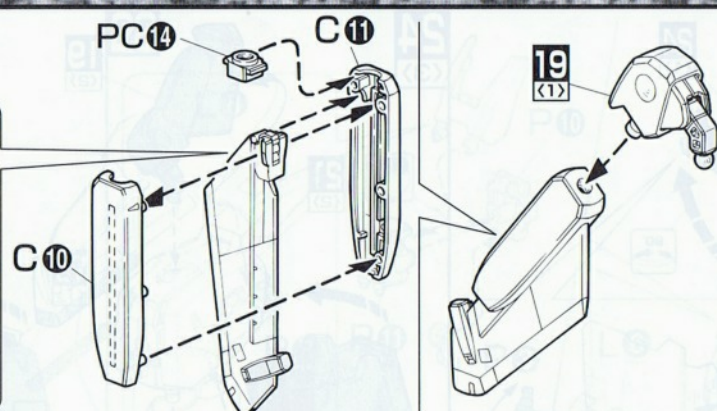
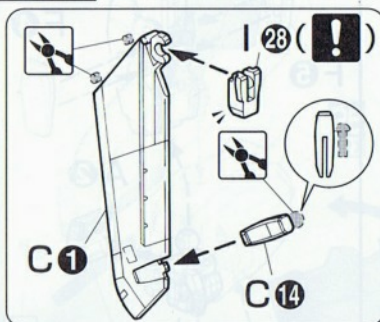
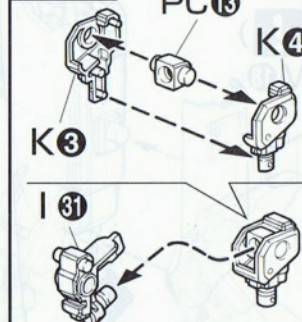
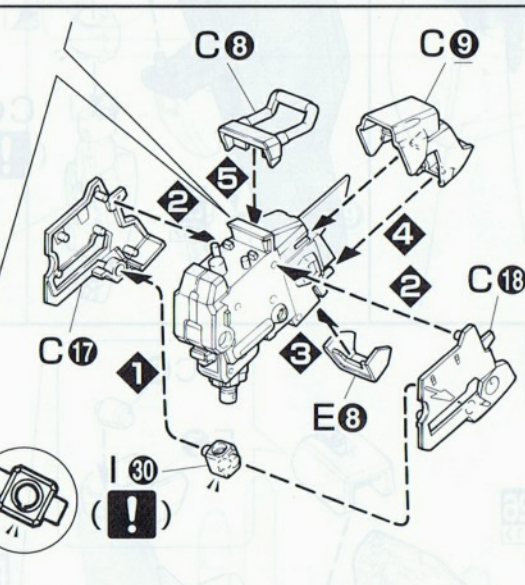
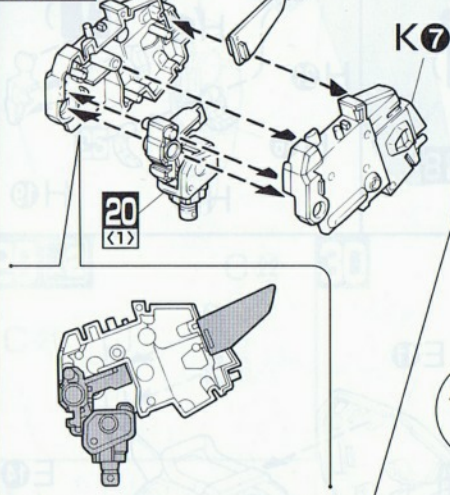
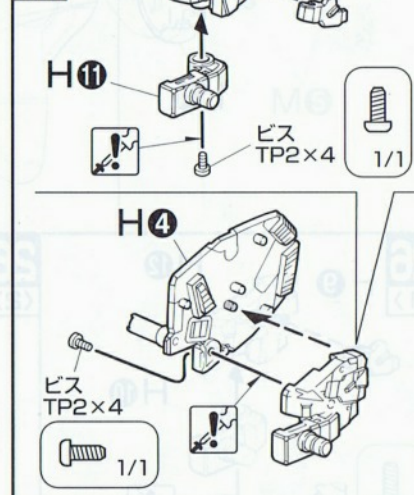
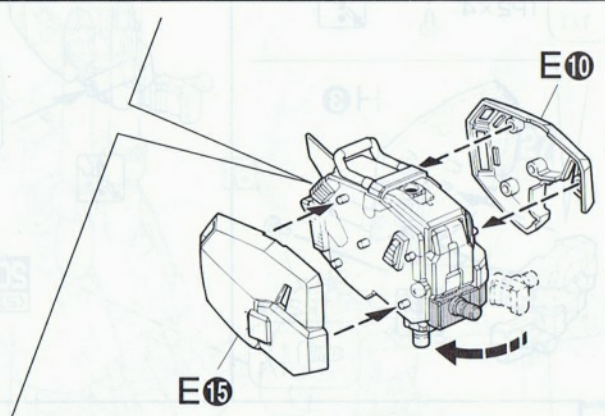
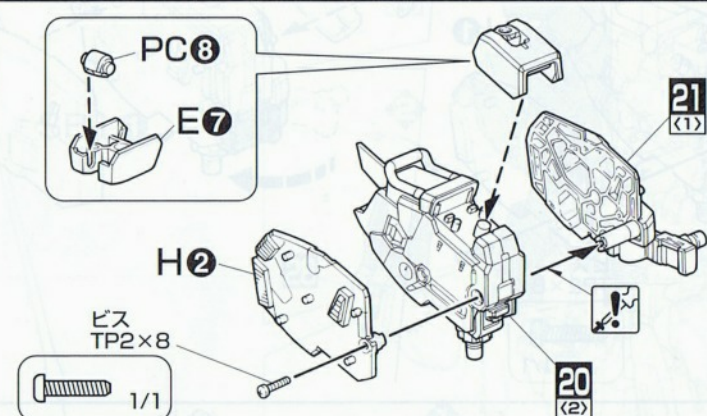
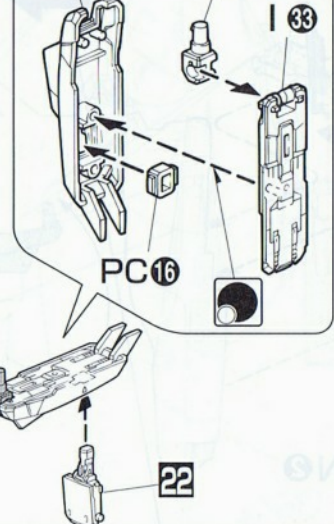
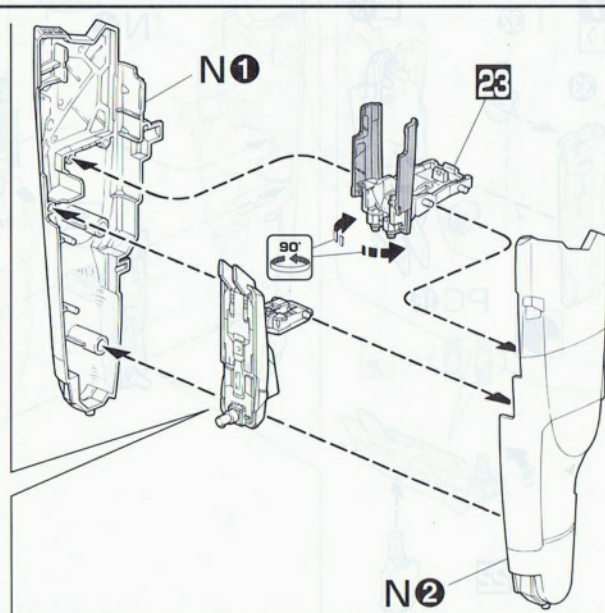
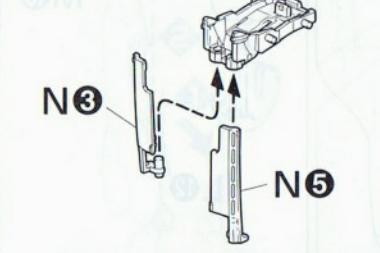
12
(1) x412
(2) x212
(3) x213
(1) x2



16



20

19
(2) x220
(1) x220
(2) x221
(1)21
(2)22
(2) x224
(1)23
(2) x2

Parts Name

Parts List

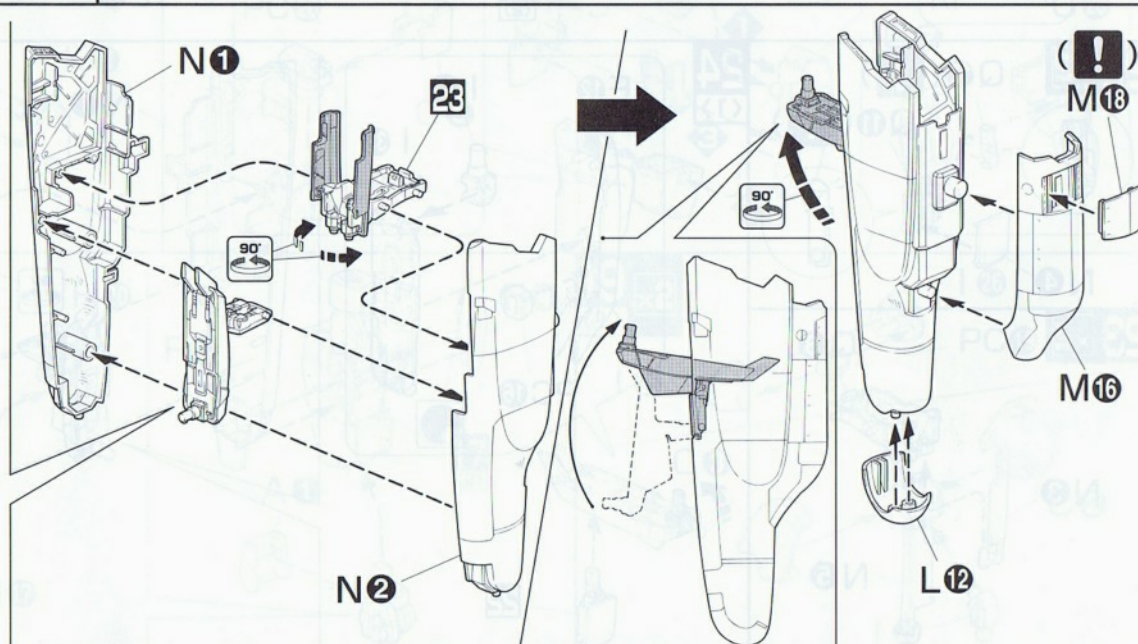
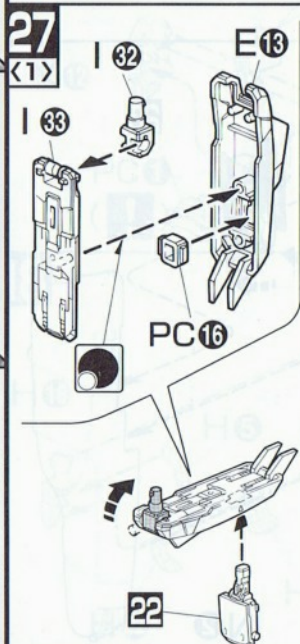
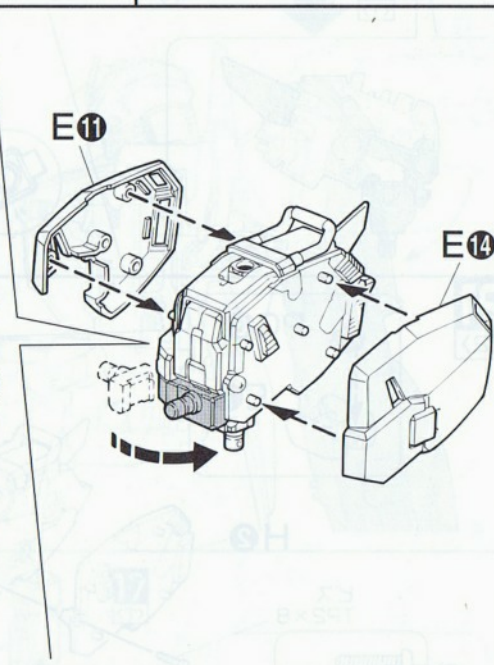
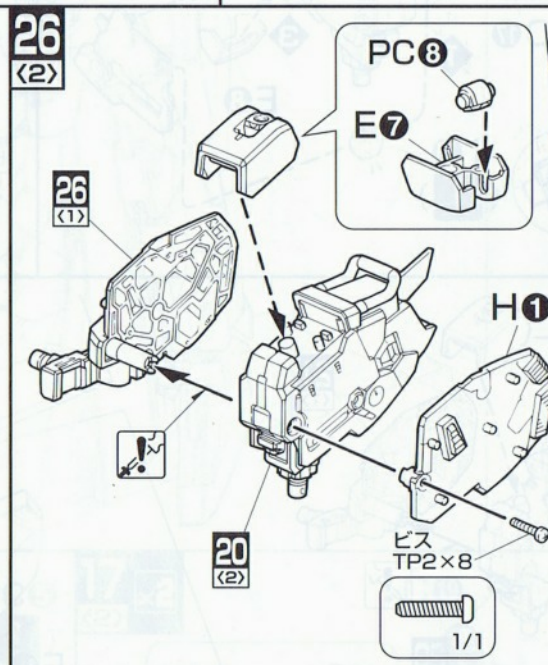
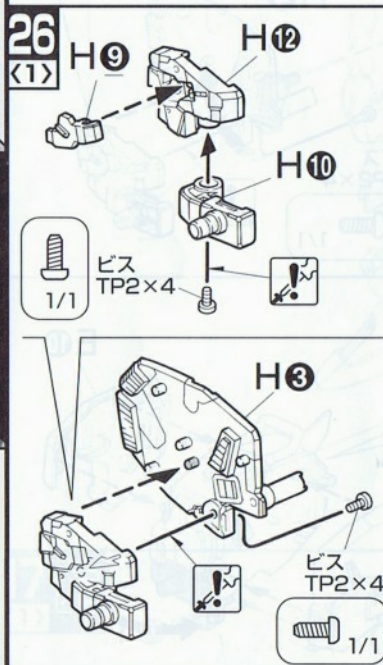
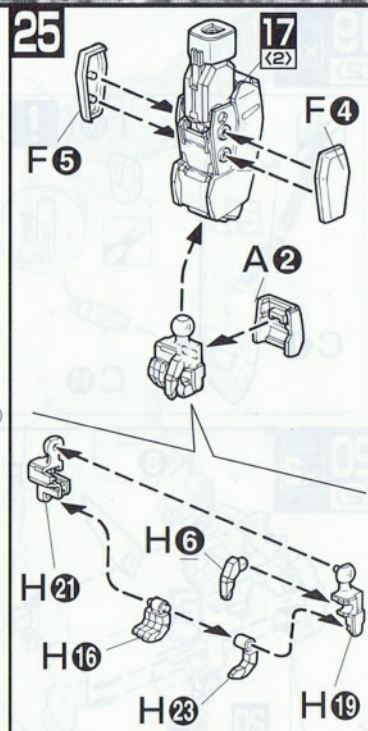
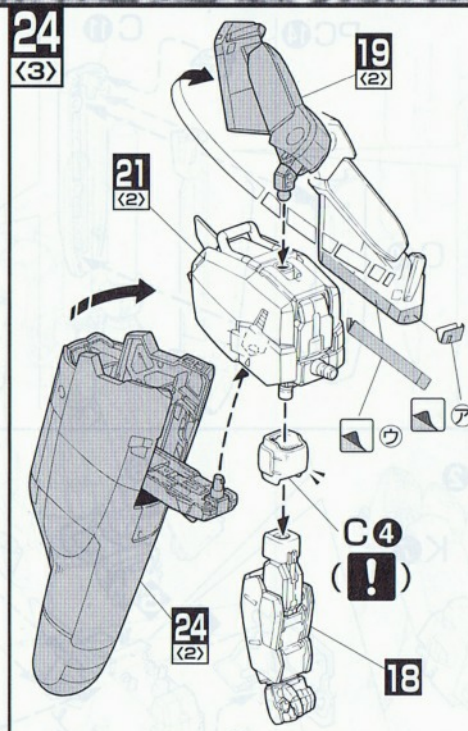
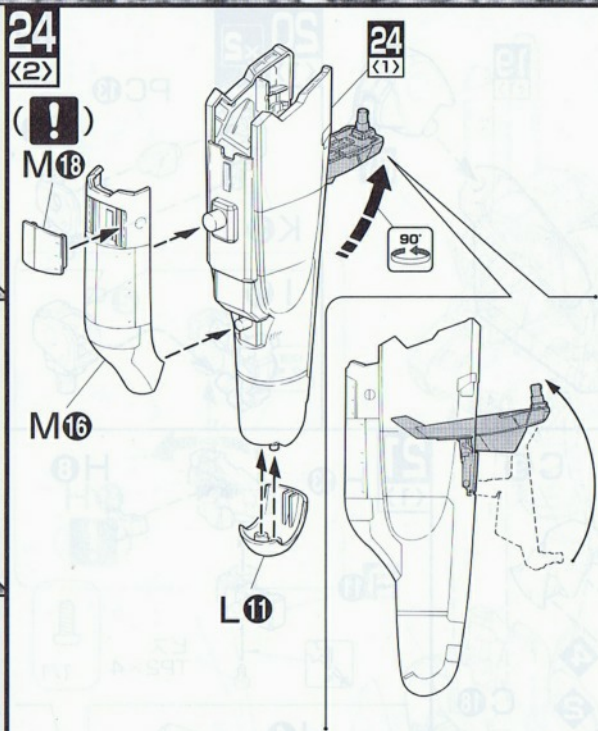
Head &
Body Unit

Arm Unit

Leg Unit

Booster Pack
& Weapons

Final Assembly



Parts Name

Parts List

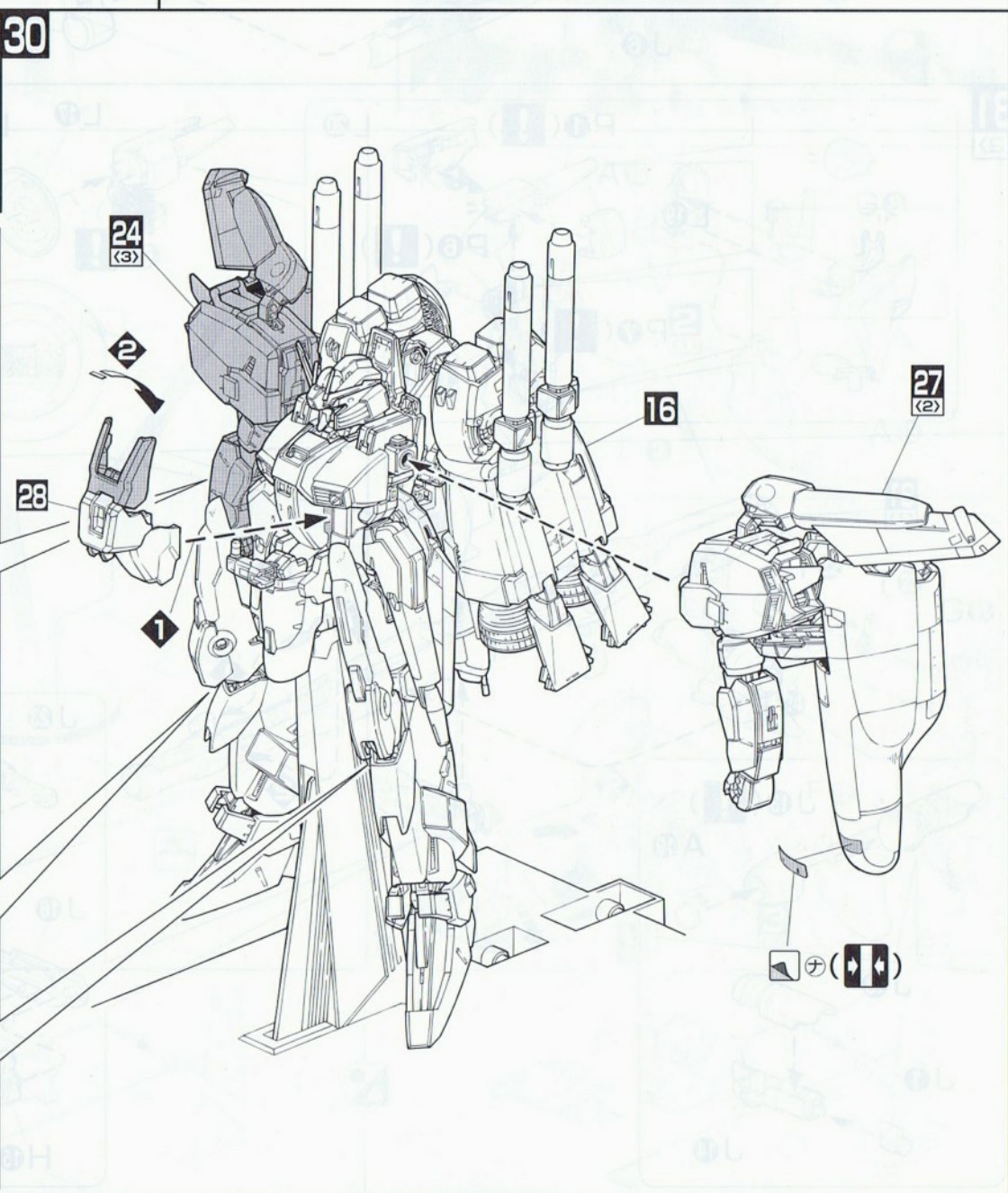
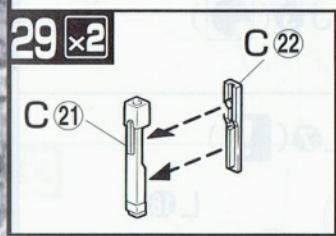
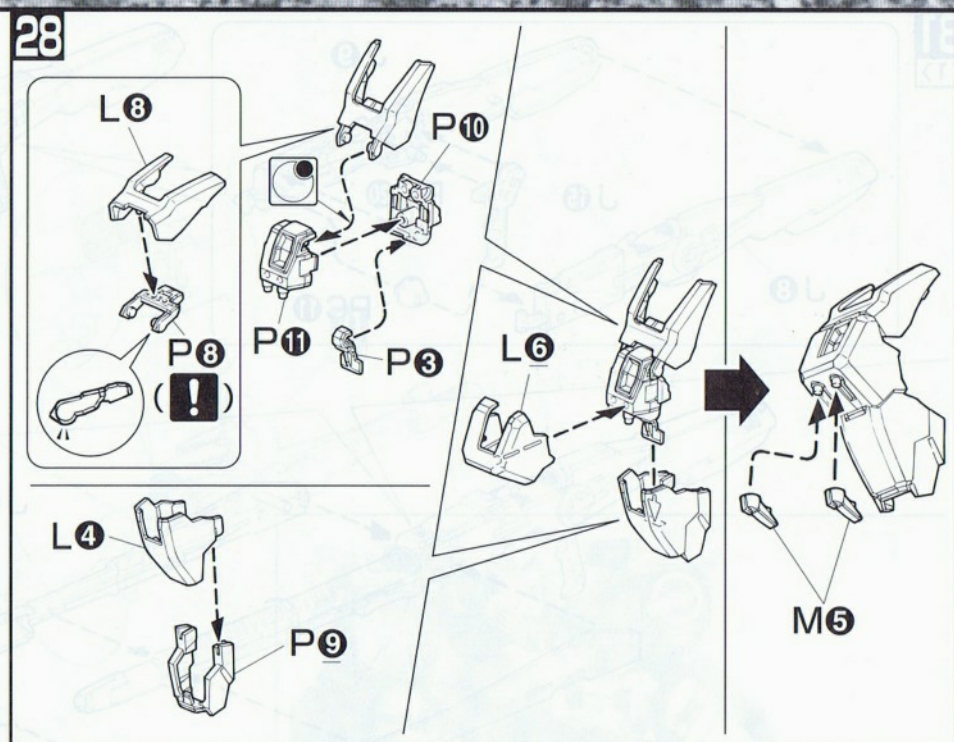
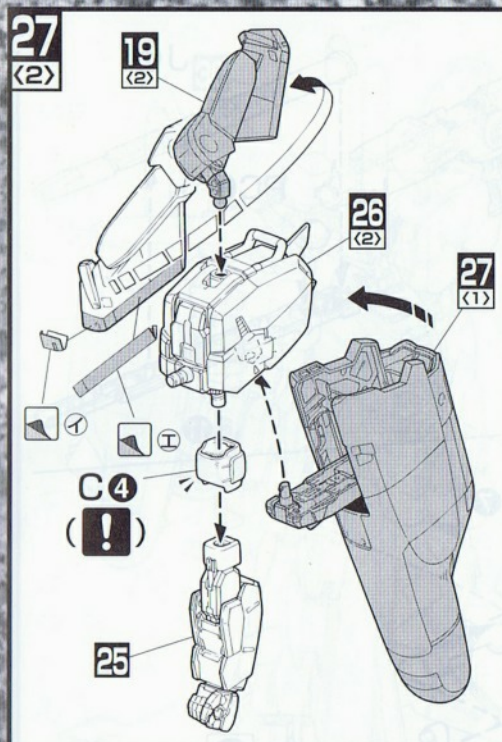
Head &
Body Unit

Arm Unit

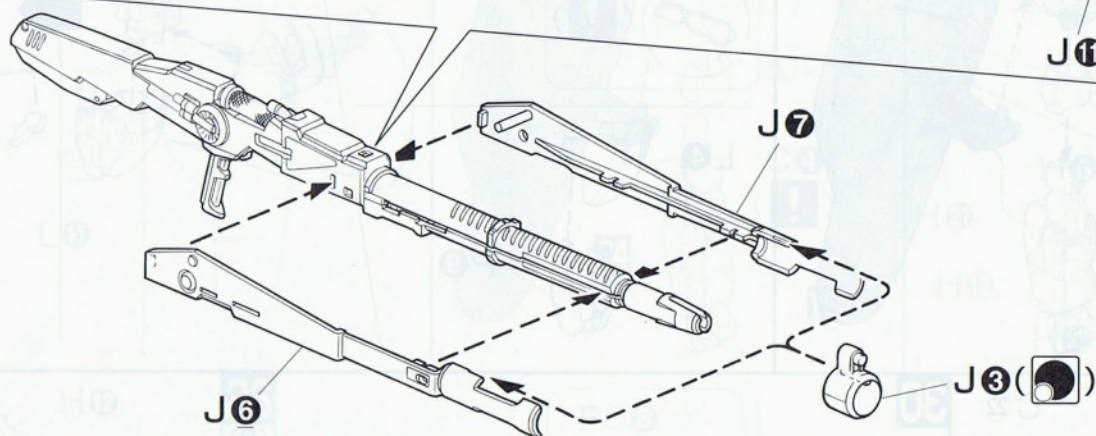
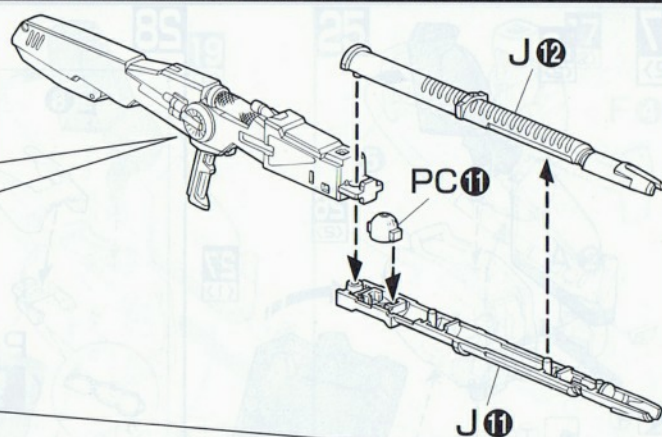
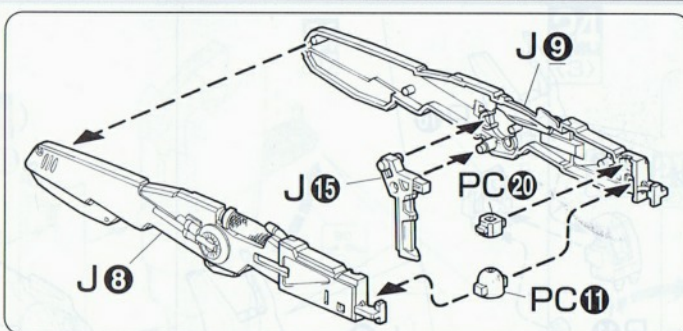
Leg Unit

Booster Pack
& Weapons

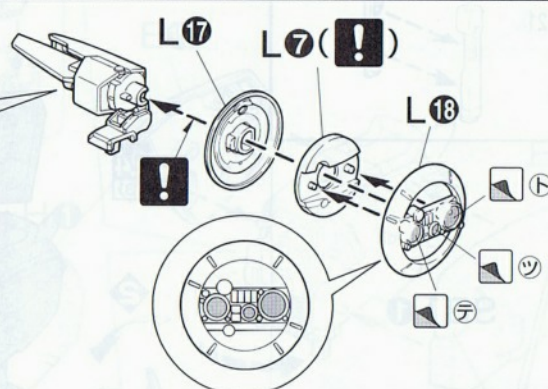
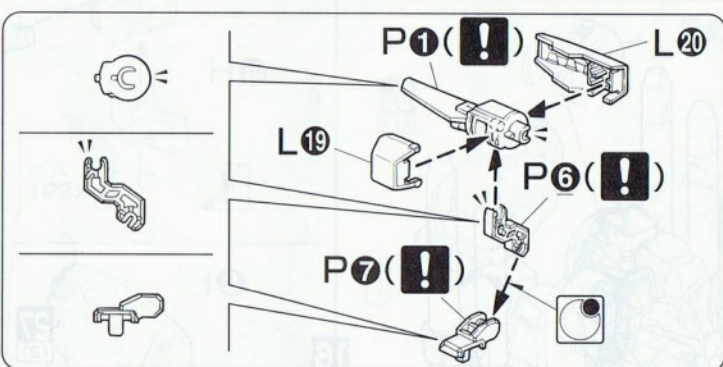
Final Assembly



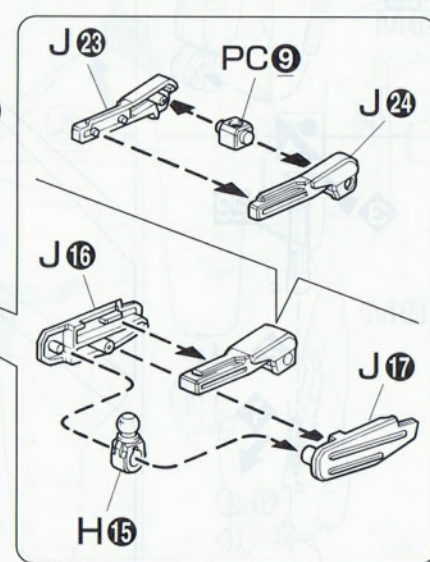
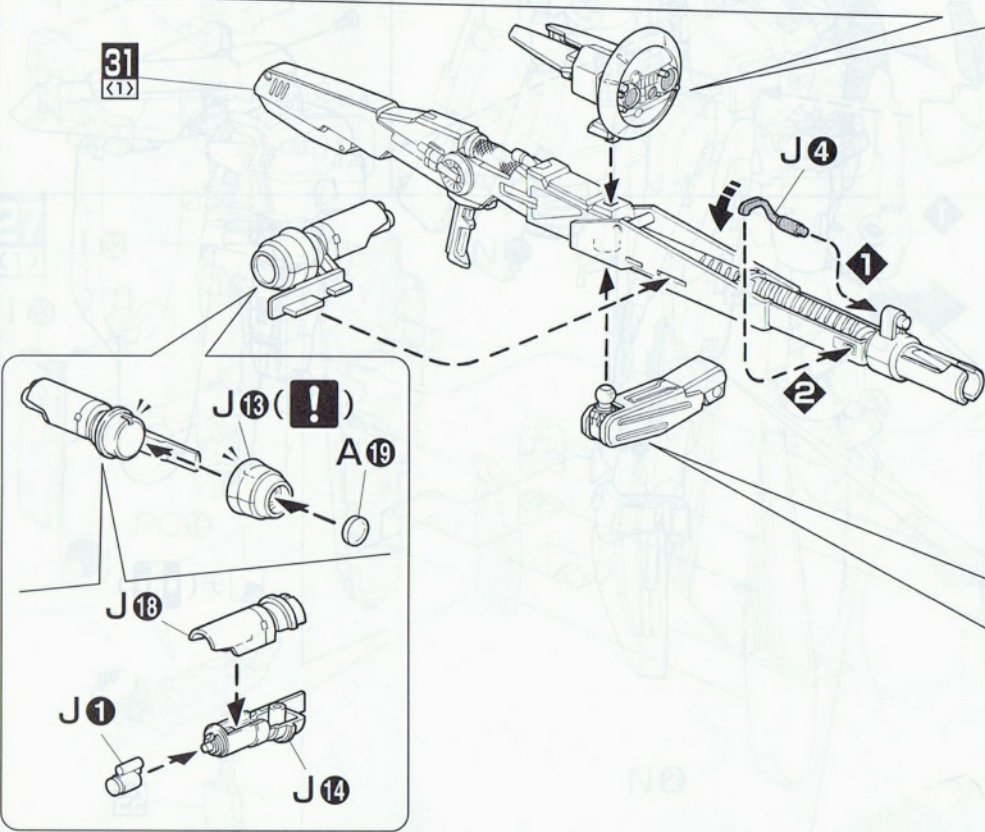
31
(1)



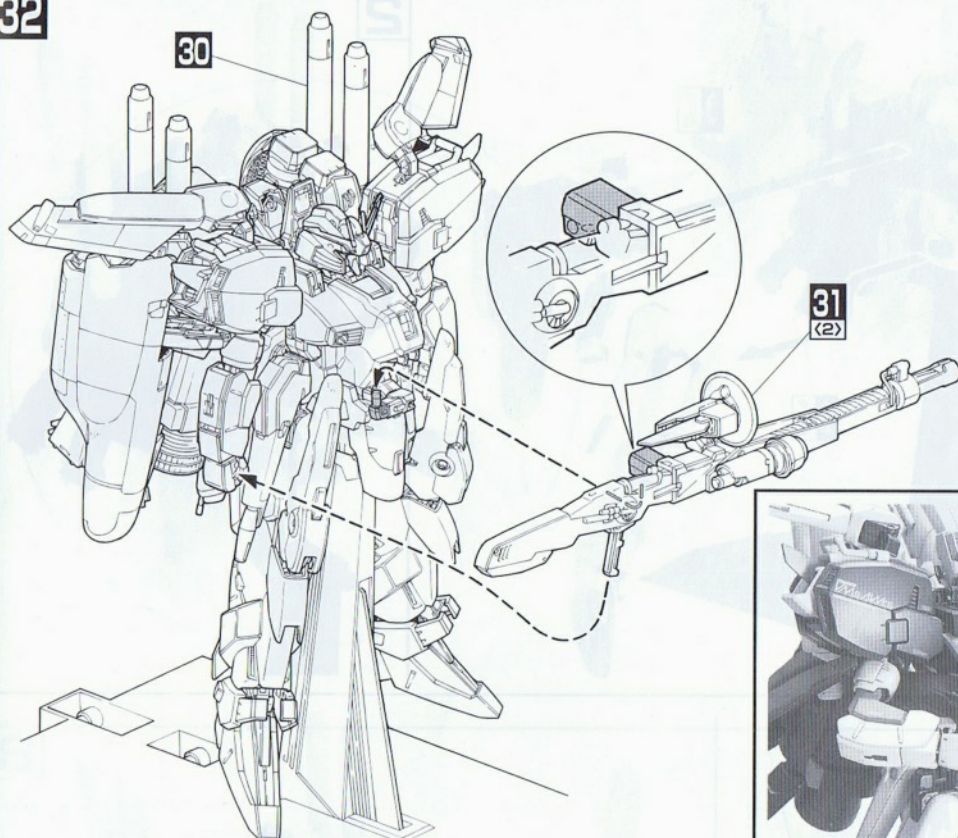
31
(2)



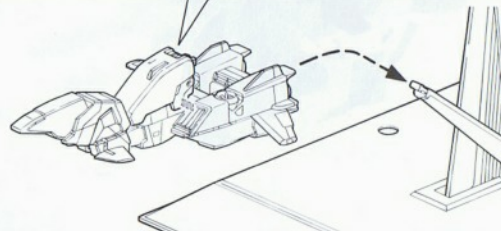
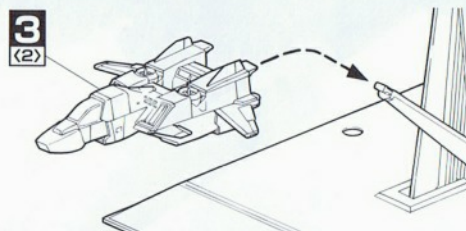
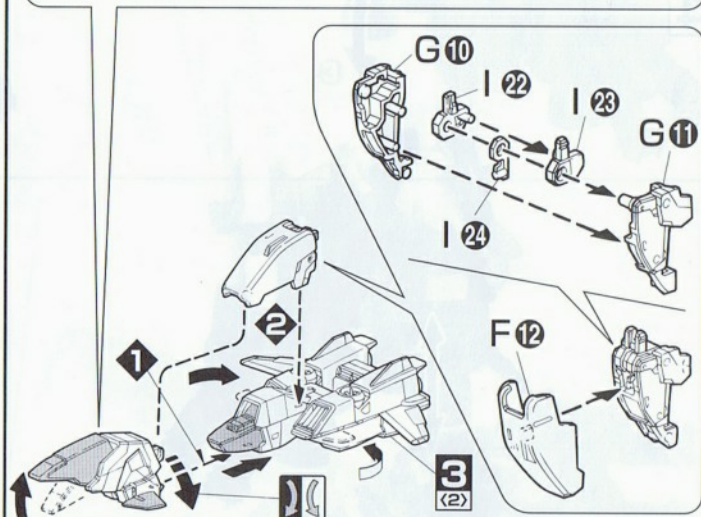
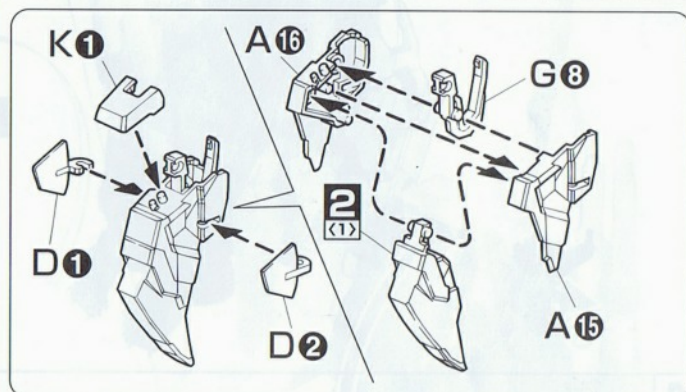
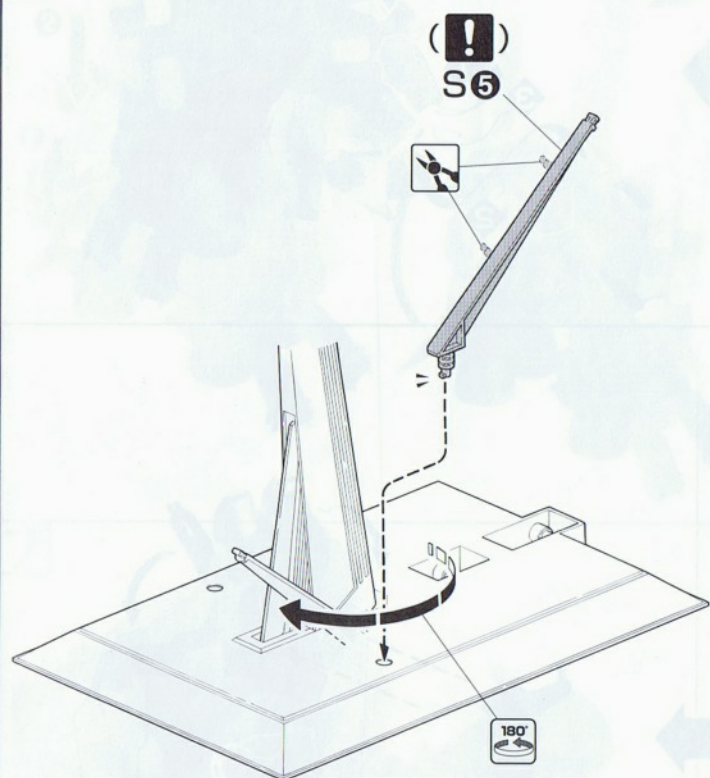
31
(1)



32



33



Parts Name

Parts List

Head &
Body Unit

Arm Unit

Leg Unit

Booster Pack
& Weapons

Final Assemble

TRANSFORMATION SYSTEM

※キットの変形パターンは、設定とは異なります。

Parts Name

Parts List

Head &
Body Unit

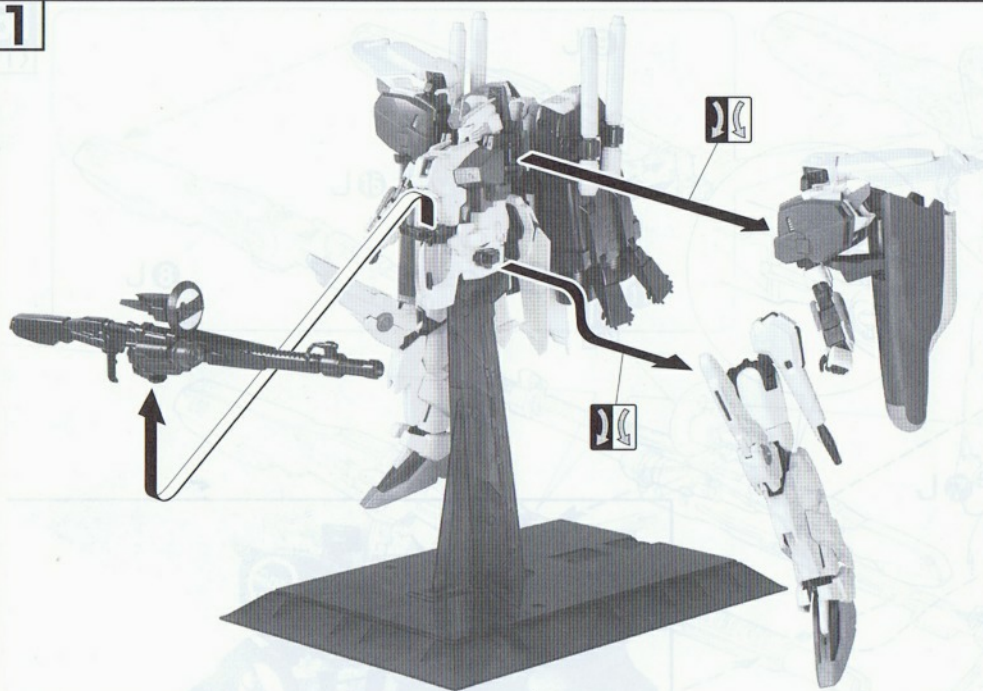
Arm Unit

Leg Unit

Booster Pack
& Weapons

Final Assemble

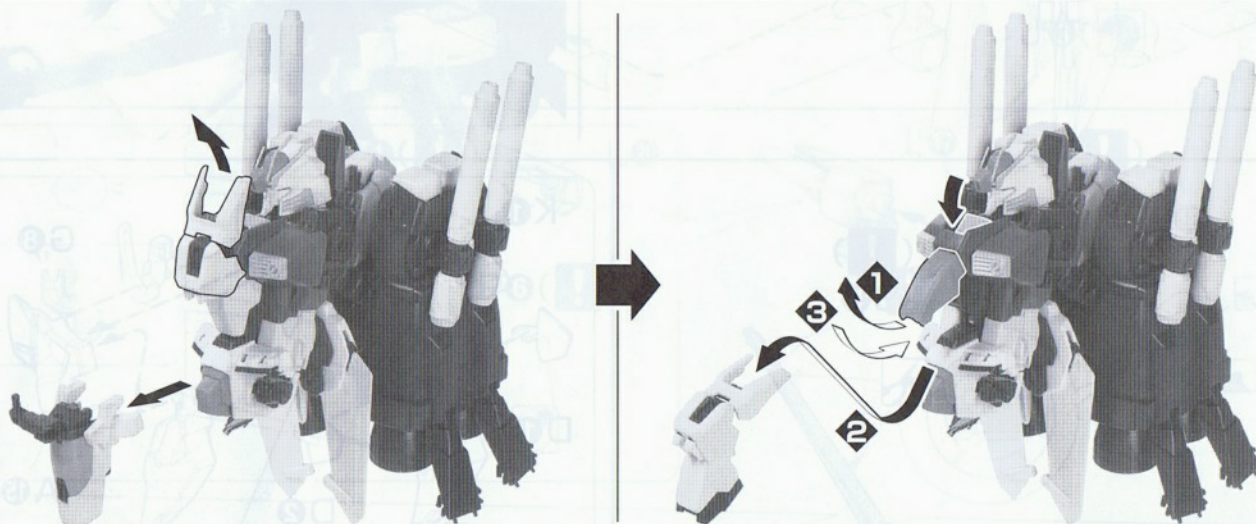
1



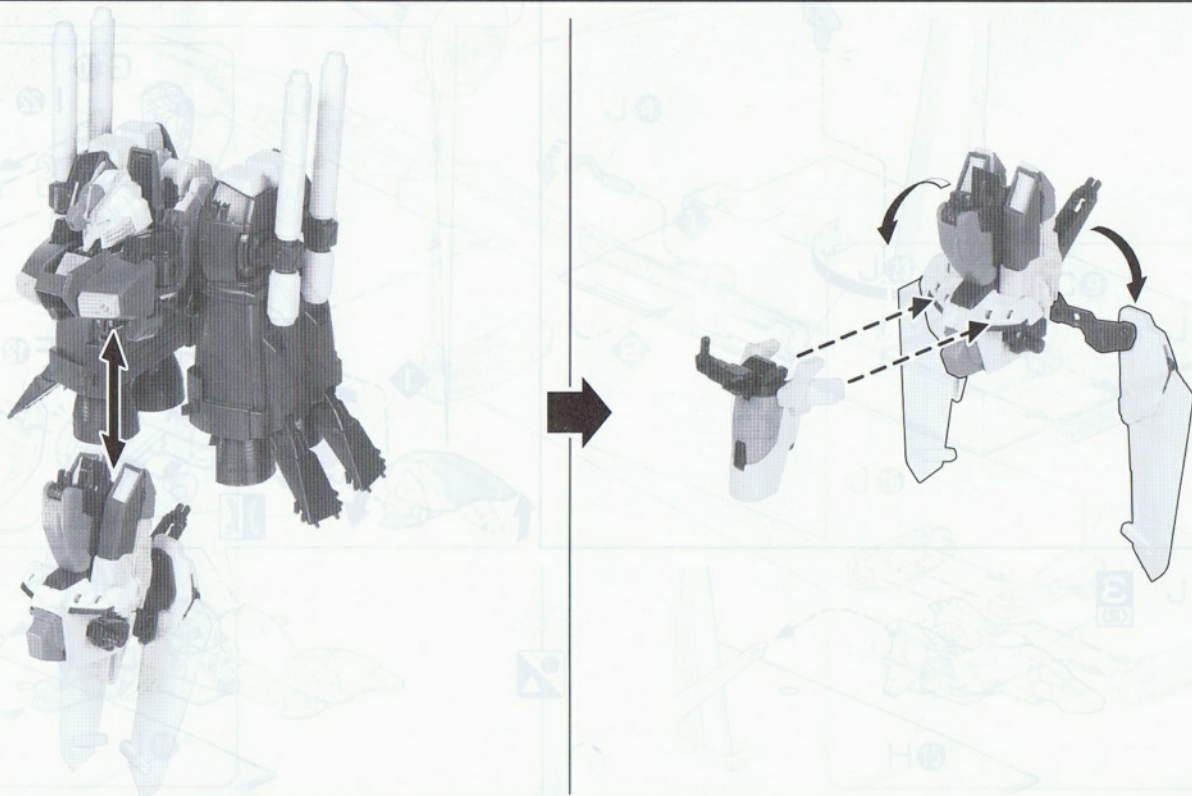
2



3



4



Parts Name

Parts List

Head &
Body Unit

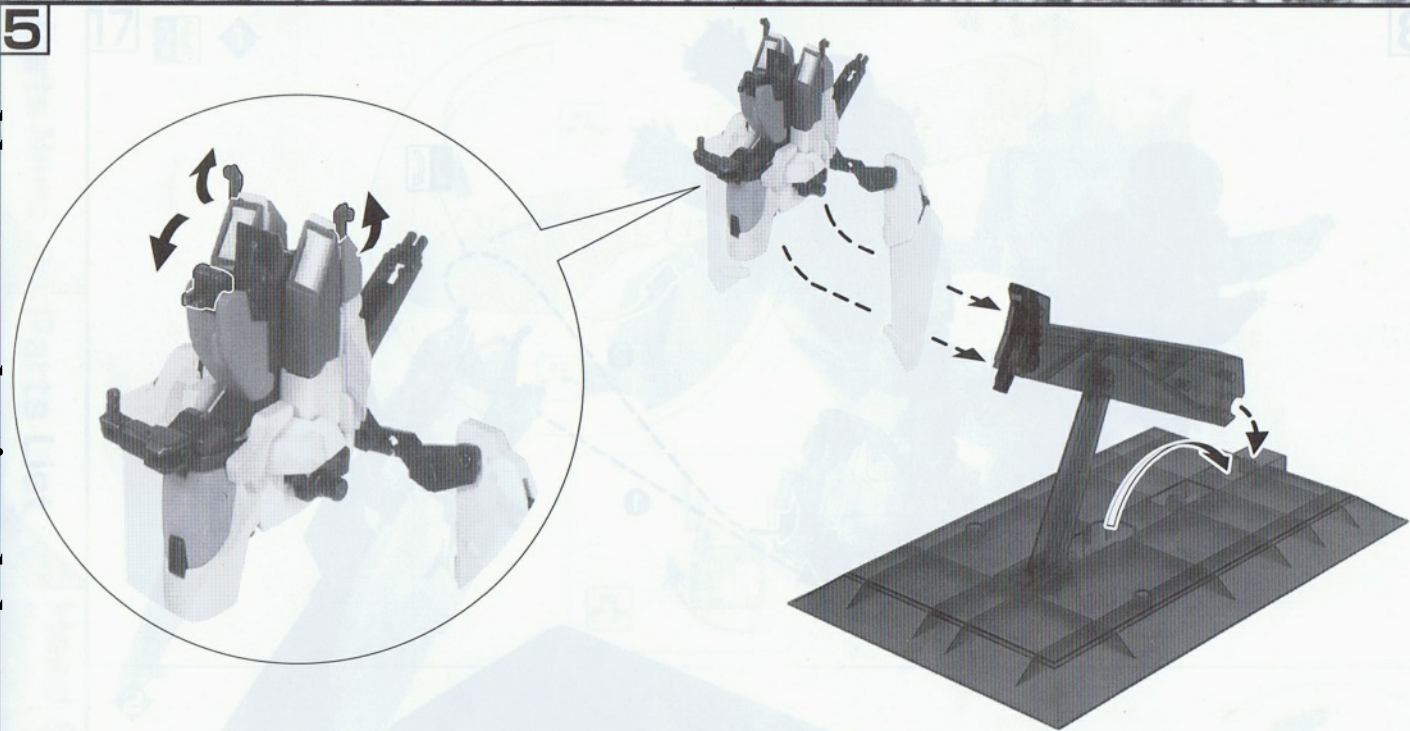
Arm Unit

Leg Unit

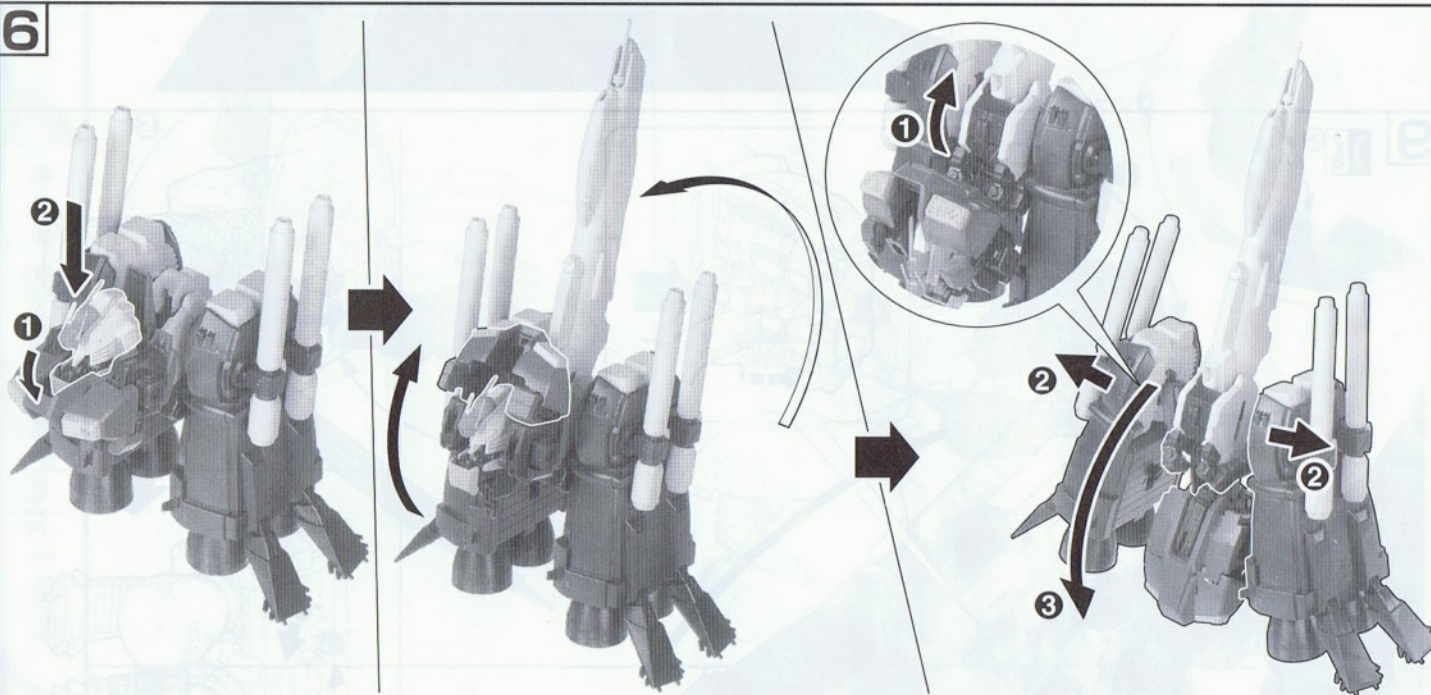
Booster Pack
& Weapons

Final/Assemble

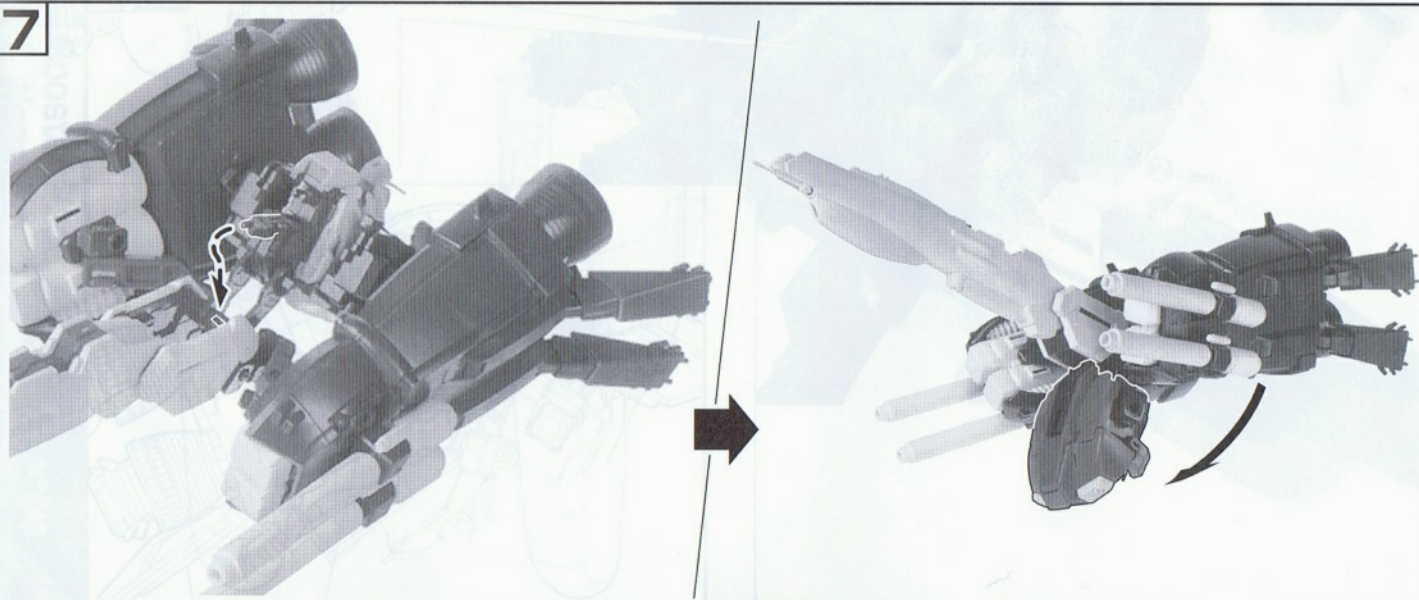
5



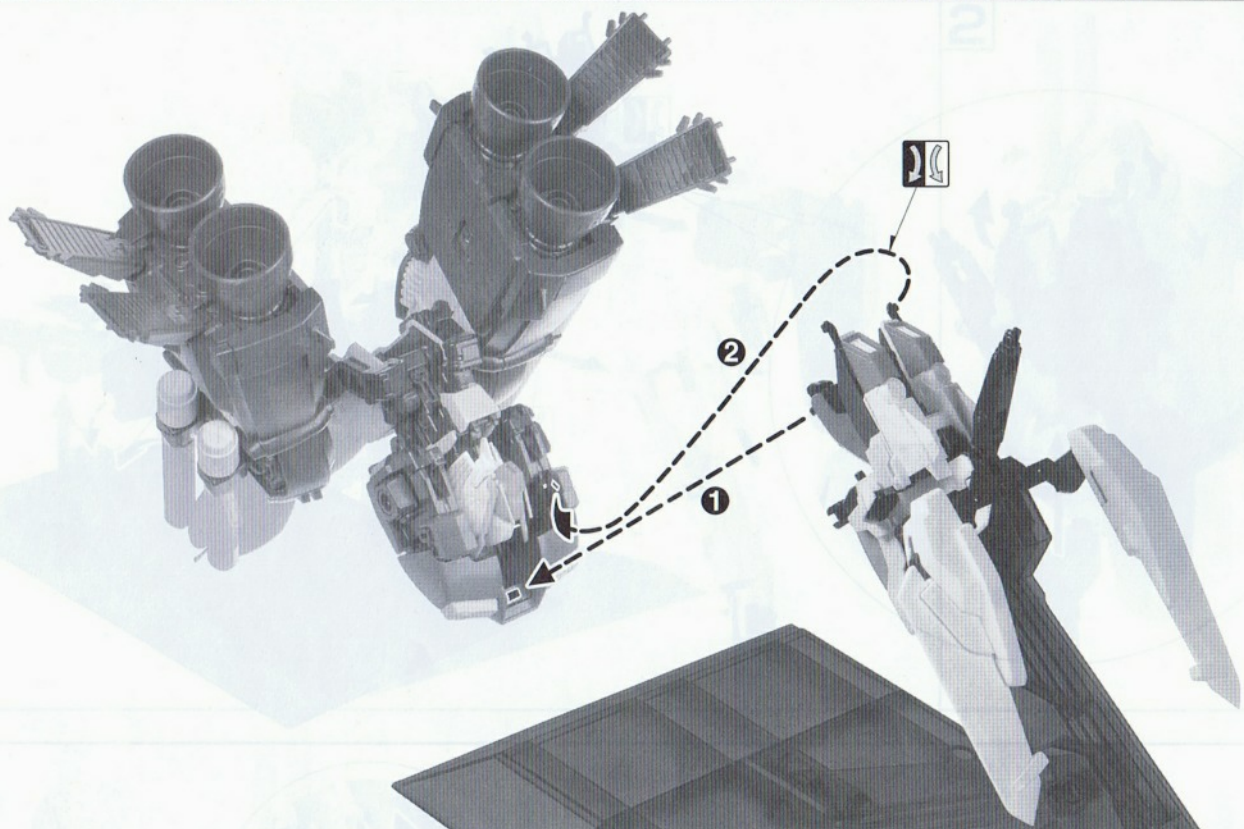
6



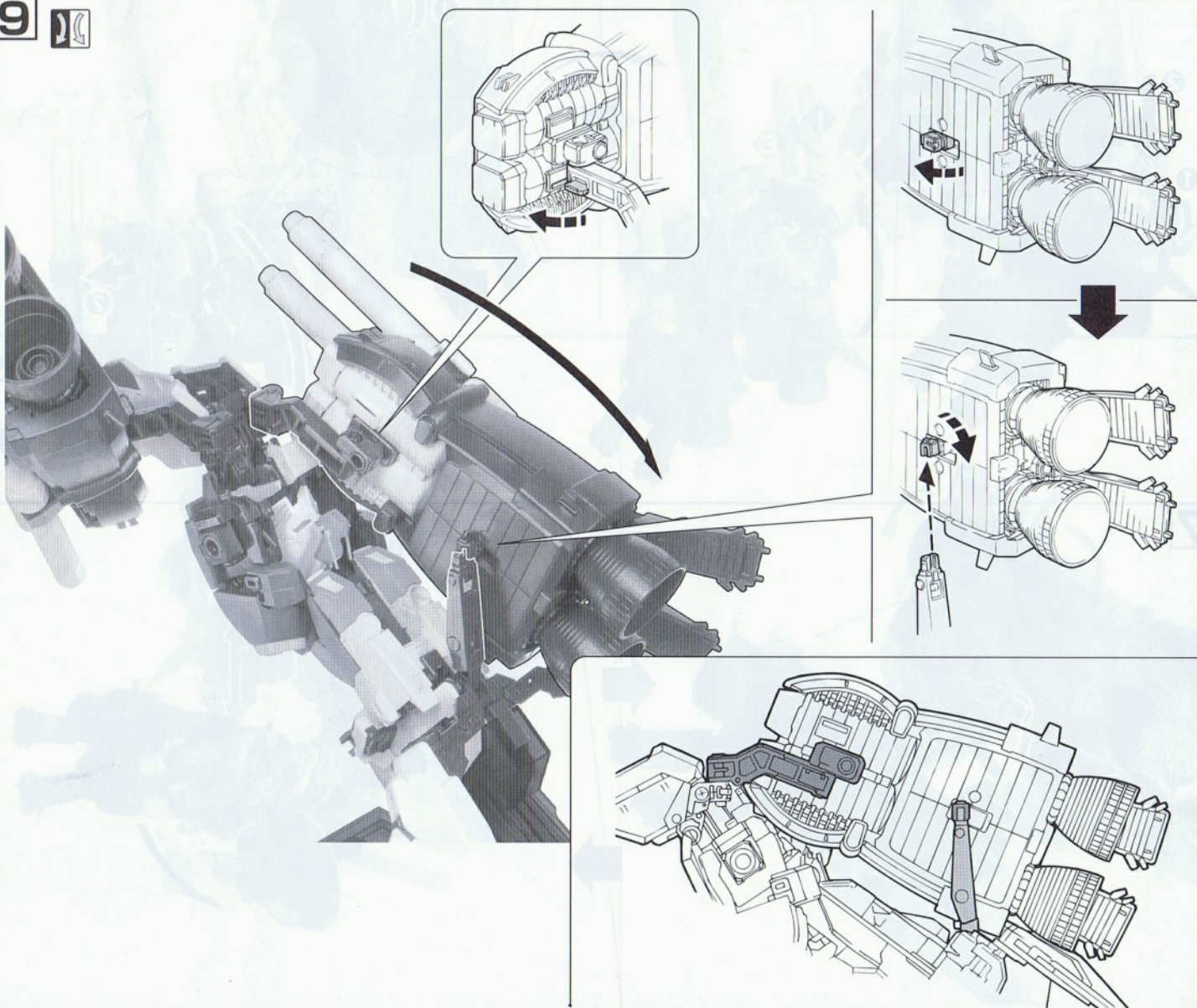
7



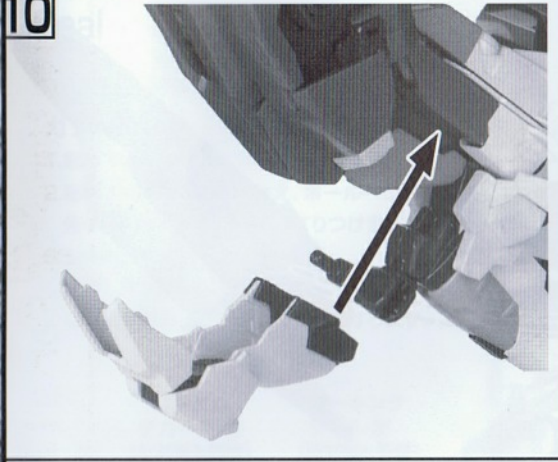
8



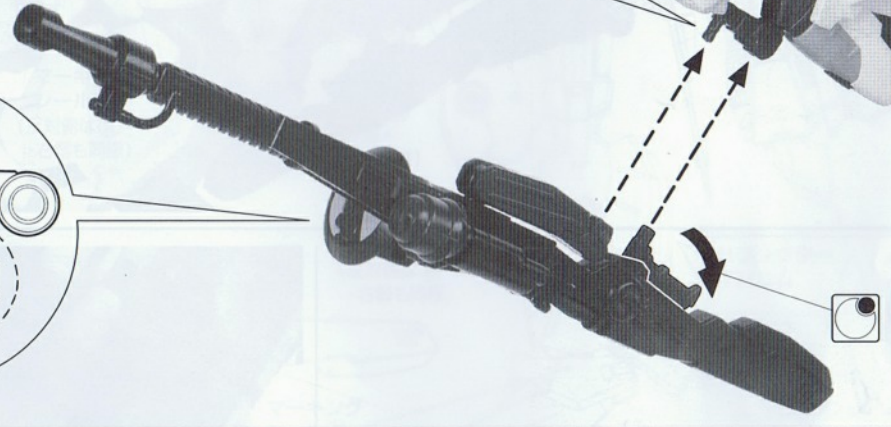
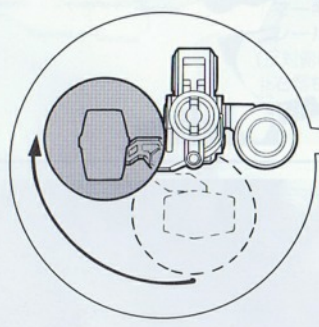
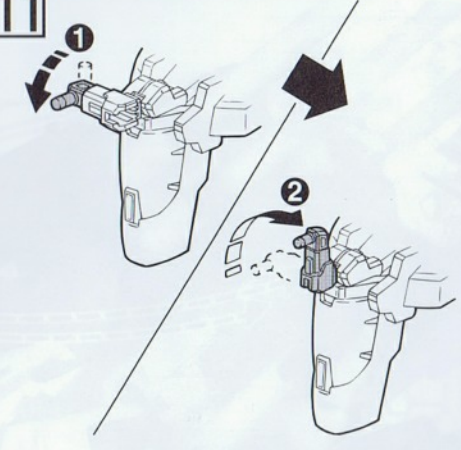
9



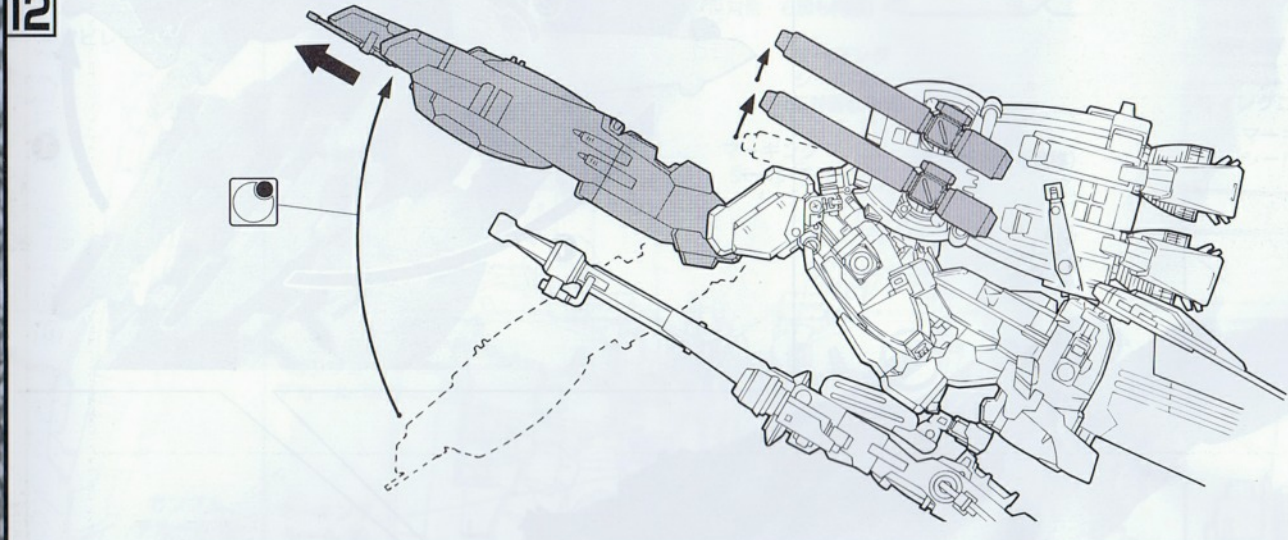
10



11

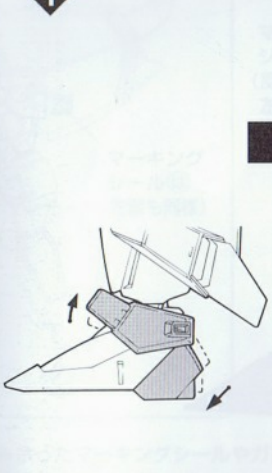


12

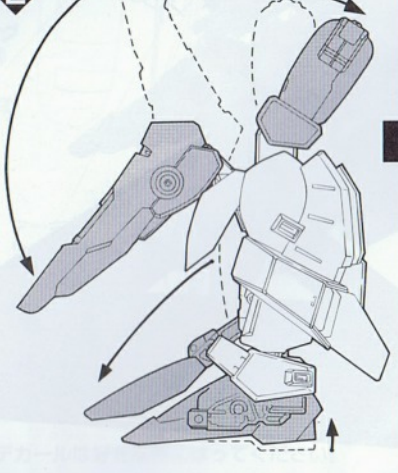


13

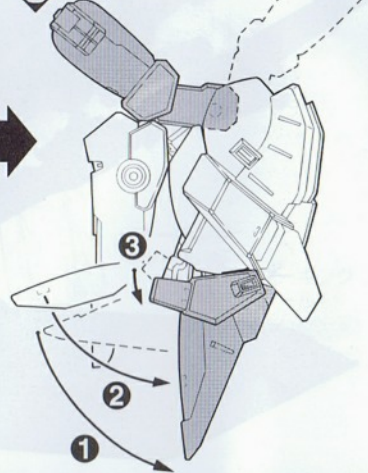
1



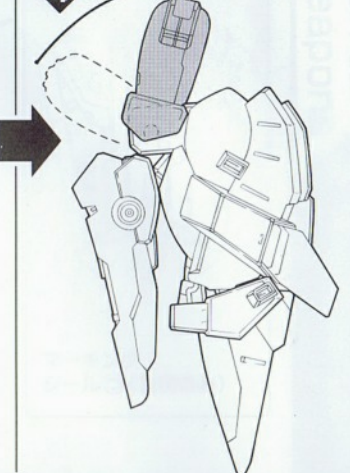
2



3



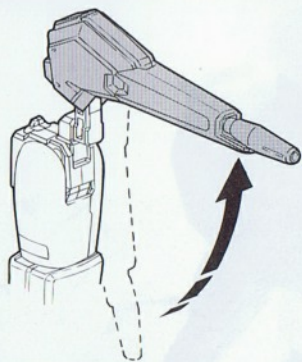
4



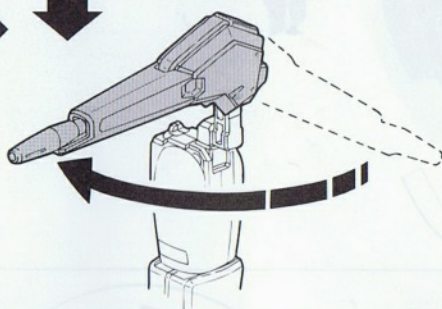
14



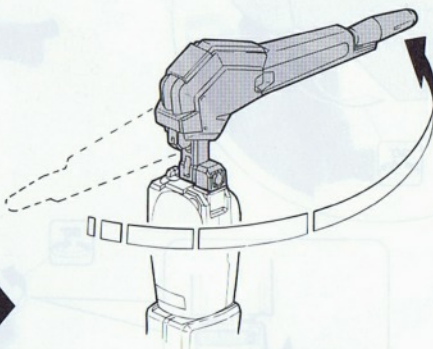
1



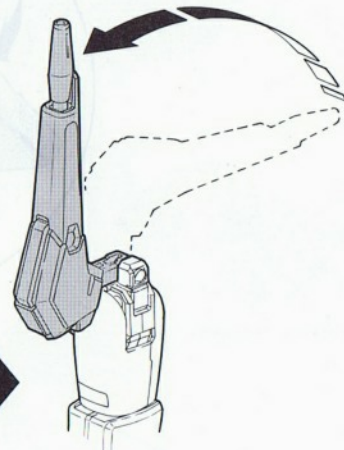
2



3



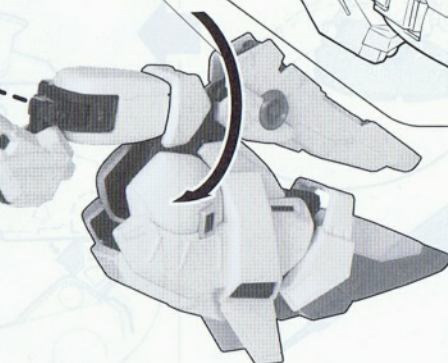
4



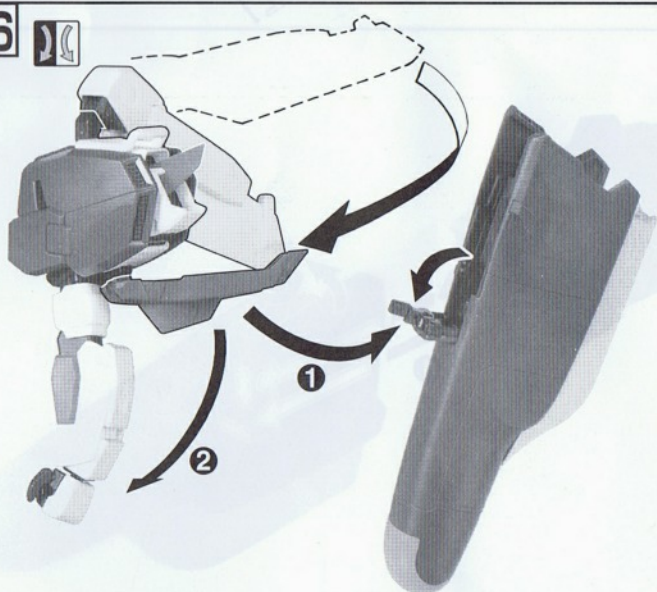
15

1
180°

2

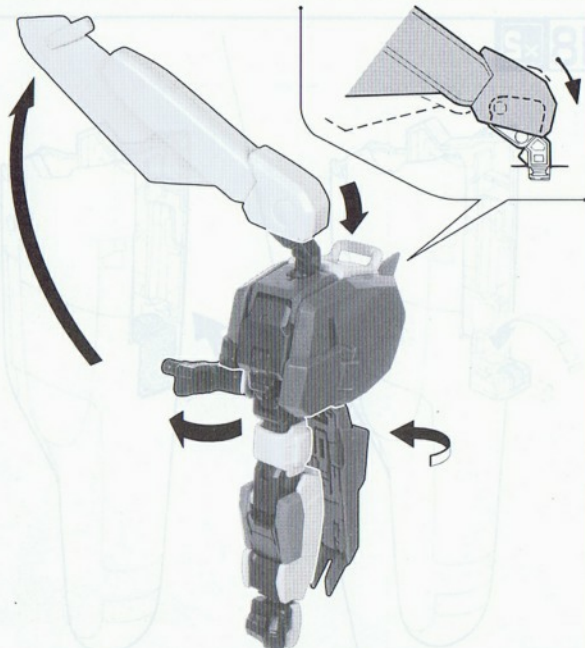


16



1

2



Parts Name

Parts List

Head &
Body Unit

Arm Unit

Leg Unit

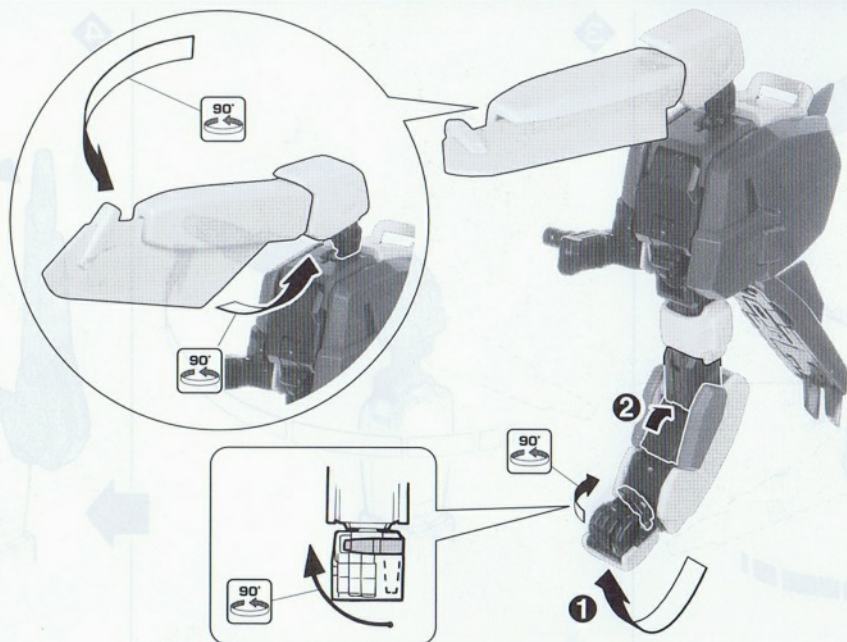
Booster Pack
& Weapons

Final Assemble

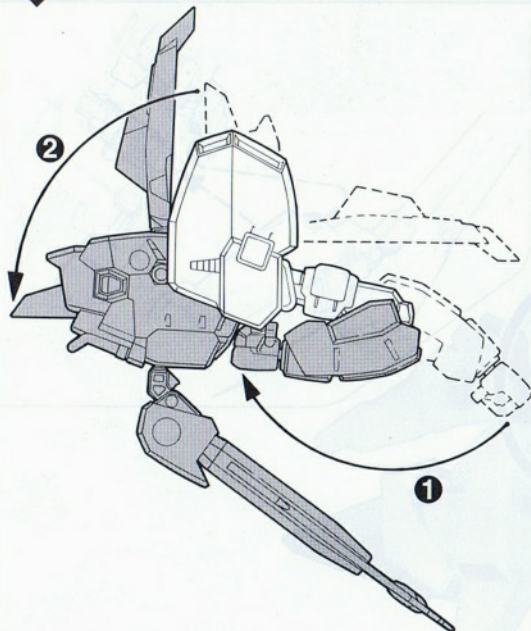
17



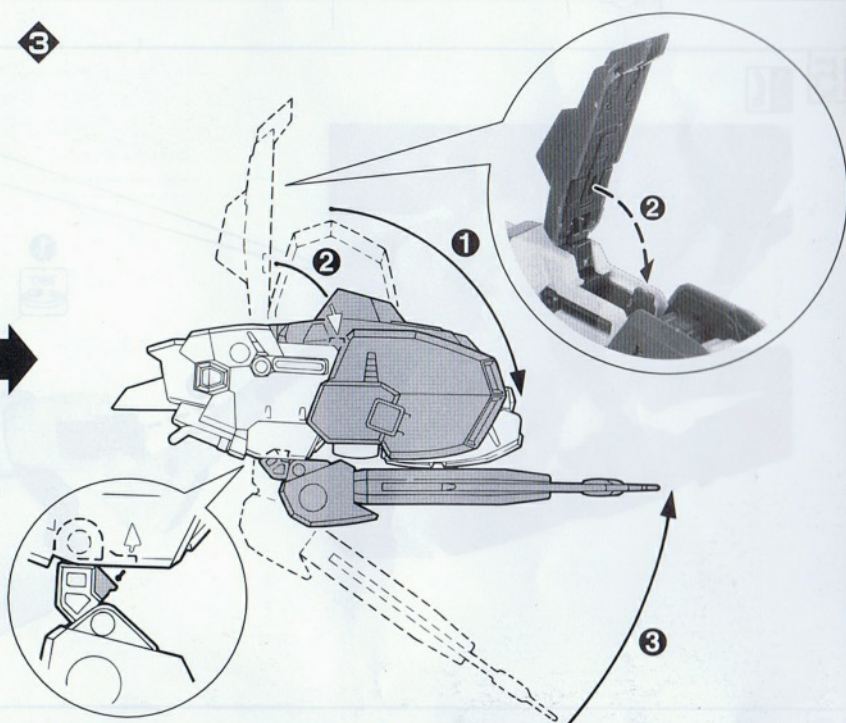
1



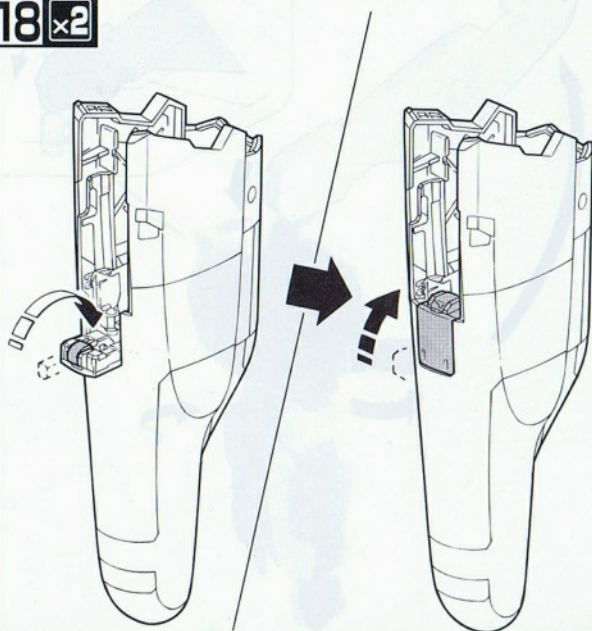
2



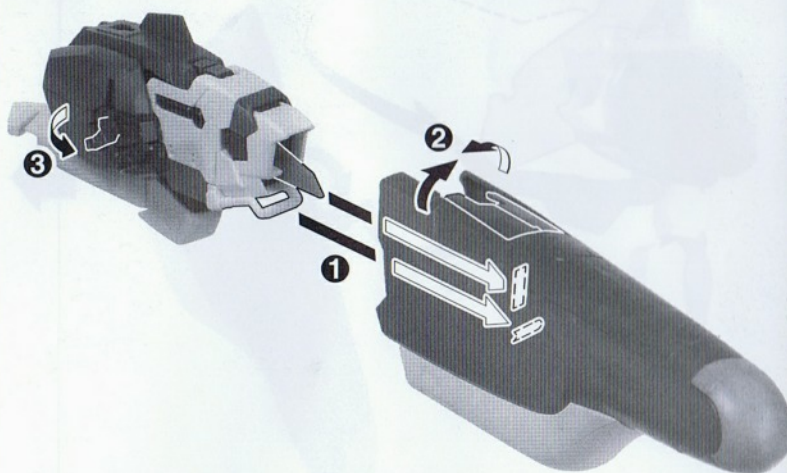
3

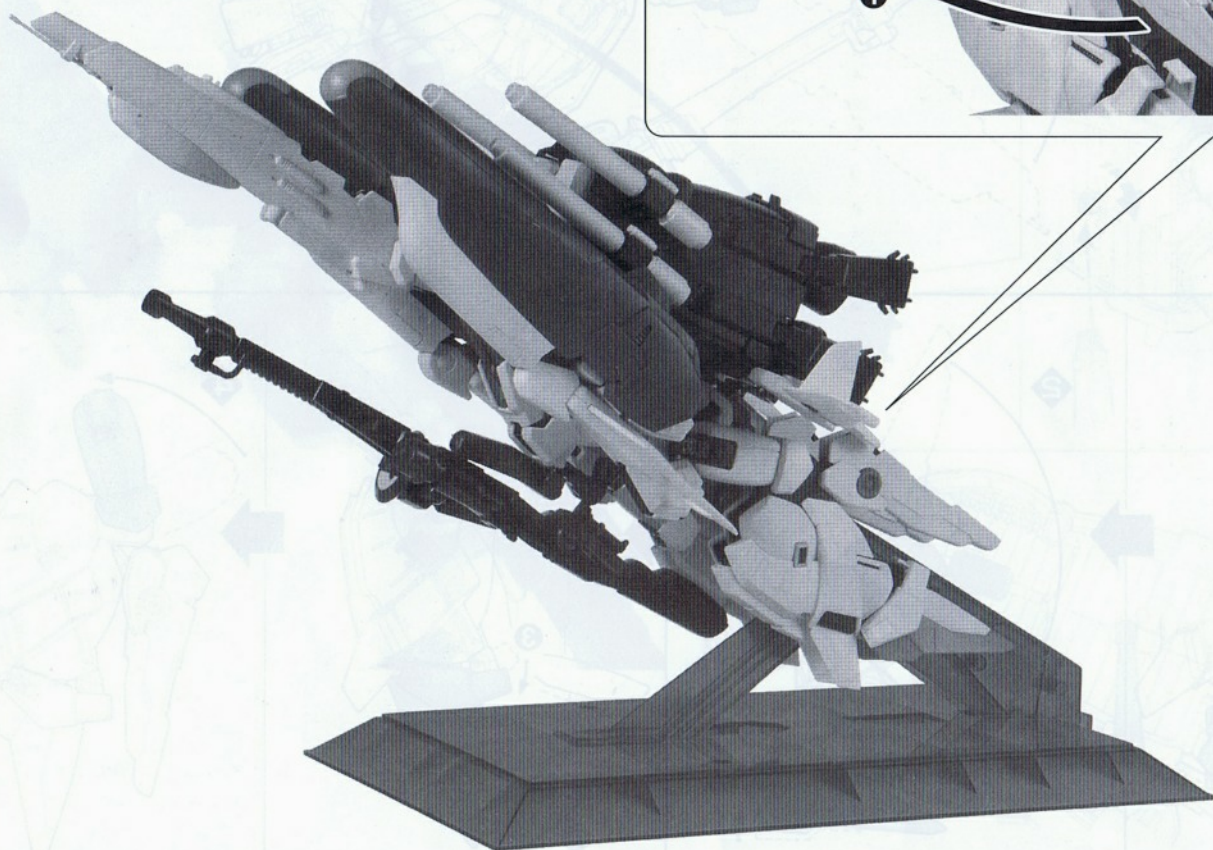


18 x2



19







地球連邦軍 (α任務部隊)
可変型試作モビルスーツ重装仕様
MSA-0011(Ext)「Ex-Sガンダム」
1/100スケール
マスターグレードモデル

MSA-0011(Ext) Ex-S GUNDAM
E.F.S.F. PROTOTYPE TRANSFORMABLE MOBILE SUIT